

平成 25 年度

決算に係る主要な施策の
成果についての報告書

平 戸 市

目 次

主要な施策の成果

(一 般 会 計)

議 会 費	・ ・ ・ ・ ・	1 頁
総 務 費	・ ・ ・ ・ ・	3 頁
民 生 費	・ ・ ・ ・ ・	27 頁
衛 生 費	・ ・ ・ ・ ・	51 頁
労 働 費	・ ・ ・ ・ ・	65 頁
農 林 水 産 業 費	・ ・ ・ ・ ・	67 頁
商 工 費	・ ・ ・ ・ ・	105 頁
土 木 費	・ ・ ・ ・ ・	129 頁
消 防 費	・ ・ ・ ・ ・	151 頁
教 育 費	・ ・ ・ ・ ・	157 頁
災 害 復 旧 費	・ ・ ・ ・ ・	191 頁
公 債 費	・ ・ ・ ・ ・	195 頁

【 1 款 議会費 】

地域住民の代表機関として、地方自治体の最終意思決定機関である地方議会の役割は大幅に増大しており、組織の自己決定権を尊重し、議会の活性化及び公開を図りつつ、住民に理解が得られる議会運営が求められている。

こうした状況の中で、議会の審議能力の向上はもちろんのこと、地方議会の充実強化あるいは議員個々の政策形成能力の高揚に努めた。

特に市民の悲願でもある西九州自動車道の早期建設に向け、長年積極的な取り組みを行った結果、松浦佐々道路の事業化が決定し、全線開通に向け大きな進展がみられた。

また、本市の厳しい財政状況の下、行財政改革特別委員会を開催し、公の施設等の見直しと有効活用について横断的かつ総括的に調査研究を行った。

このような、議会の活動内容を市民に広く知らせるために、議会中継システム、会議録検索システム、議会だよりを活用し開かれた議会の構築に向けて努力を重ねた。

※議会中継システムアクセス件数

H25 生中継	2,051 件	録画中継	1,759 件
H24 生中継	1,349 件	録画中継	1,372 件
H23 生中継	1,635 件	録画中継	1,696 件

(1) 議員研修旅費

各常任委員会では、先進都市のすぐれた施策等を見聞し、市勢浮揚の一助となるよう所管事務調査等を実施した。

- ・総務委員会 …………… 行財政改革及び次世代エネルギーについて
(北海道深川市、苫小牧市、石狩市)
- ・産業建設委員会 …………… 水産振興及び農林行政並びに観光行政について
(島根県隠岐郡海士町、隠岐の島町)
- ・文教厚生委員会 …………… 文化財保護地区におけるバリアフリー整備及び生涯現役社会について
(岡山県倉敷市、兵庫県姫路市)
- ・議会運営委員会 …………… 議会運営及び議会改革の取り組みについて
(青森県三沢市、十和田市)

(2) 特別委員会

【議会広報特別委員会】

市議会だより「とかいせん」は、定例号 4 回及び臨時号 1 回を発行した。各号発行に際し委員会を 3 回開催し、市民に議会の様子がよりわかりやすく伝わるよう記事・レイアウト等の編集に努めた。

また、11 月の改選後から新シリーズ「平戸のチカラ」を連載し、各分野で活躍されている方々取材して魅力を発信した。

※市議会だより 757 千円

発行部数：14,000 部

発行回数：定例号 年 4 回（5 月、8 月、11 月、2 月）、臨時号 年 1 回（12 月）

【西九州自動車道整備促進特別委員会】

平成 25 年度も引き続き、伊万里道路、伊万里松浦道路の事業推進及び松浦佐々道路の早期事業化に向け、佐賀、長崎両県の河川国道事務所、県庁並びに県議会に対し事業促進に向けて要望活動を行った。

【交通網整備対策特別委員会】

交通網の整備は、本市の活性化を図る上で欠くことのできない重要な課題であることから、西九州自動車道の整備及び交通網の整備促進を行うために、改選後から交通網整備対策特別委員会を設置し、改選前の西九州自動車道整備促進特別委員会の活動の幅を広げる形で引き継いだ。

本委員会の活動としては、国土交通省、財務省、自民党本部及び長崎・佐賀選出国會議員、九州地方整備局に対し、西九州自動車道の唐津伊万里道路、伊万里道路、伊万里松浦道路の事業促進と早期完成、松浦佐々間の平成 26 年度事業化及び道路整備予算の安定的な財源確保について要望を行った。

これらの要望活動の結果、3 月に平成 26 年度からの西九州自動車道の松浦佐々道路の事業化が決定した。

【行財政改革特別委員会】

公の施設等の見直しと有効活用について横断的かつ総括的に調査した。改選前は、2 回開催し 9 月定例会において最終報告を行った。新議会においても引き続き調査は必要として委員会を設置し 2 回開催した。

本市の公共施設のあり方を検討するにあたり基礎的資料となる「平戸市公共施設白書」（平成 26 年 3 月）の策定に助力した。

(3) 市議会会議録検索システム

会議録検索システムの活用により、インターネット、庁内のネットワークを通して市民や理事者等が本会議の内容を知ることができるなど、情報化時代に即応した事業の展開を図ることができた。

【 2 款 総務費 】

平成 28 年度から普通交付税が段階的に減額され、平成 33 年度には特例措置が終了することから、平成 25 ～35 年度の 11 年間で計画期間とする「平戸市行政改革推進計画」を定め、平戸市行政改革推進計画前期プラン（平成 25 ～28 年度）を策定した。このことにより、取組年度及び効果額などの具体的な指数目標を設定したことで、当該年度の実績の検証を行うことができ、今後の目標管理や、個別取組の方向性を明確化した。

また、「平戸市総合計画」の基本理念である『ともに支えあっていく協働の精神による市民と行政が一体となったまちづくり』の創造に向け、深刻な財政危機に陥る前に将来を見据えた財政収支の均衡を基本目標とした「財政健全化計画（第 2 次計画）」を策定した。今後は前期プランの目標数値等を達成するため、着実な計画の実行に努め、財源不足を解消し基金に依存しない健全な財政運営を目指す。

また、公共施設の適正化を行っていくにあたって、市内 391 施設の現状を把握した「平戸市公共施設白書」を作成した。本書は各施設の設置状況や老朽化、運営状況など客観的なデータを可視化し、将来のまちづくりを見据えた公共施設のあり方を検討する基礎資料となった。

1 総務管理費

（1）一般管理

個性を活かし自立した地方を作ることを目指した地方分権が推進される中、複雑多様化する行政ニーズに対応できる環境の整備や職員の資質向上が求められている。こうしたことから、開かれた行政、市民総参加のまちづくりを進めるとともに、長崎県市町村職員研修センター主催の研修をはじめとする各種研修への職員の参加等を積極的に行った。また、国家公務員においては平成 21 年 4 月から改正国家公務員法の施行による人事評価制度が実施されており、今後、地方公務員においても同制度が義務化される。このため昨年度から着手した人事評価制度構築について、班長職以上を対象とした試行を行い、評価結果を分析し、現段階における主な課題を整理することができた。

また、平戸市市民表彰式を行い、各般にわたって市政の振興に寄与した者や、市民の模範と認められる行為があった 48 人及び 1 団体に市民表彰を授与し、個々の業績を称え本市の自治振興を促進した。

また、市長自らが各地区に赴き、地域の実情や課題等を把握し、市民の声をより市政に反映させるため、移動市長室及び市政懇談会を開催した。

（2）ふるさと振興

地方分権、自治体財政の悪化、少子化・高齢化、環境保全や産業の空洞化等、多様化高度化する地域社会の課題に対して、法令等に基づく画一的な行政サービスでは十分な対応が困難となる中、本市では、新たなまちづくりのシステムとして、「市民と行政が対等・平等な立場で、お互いを理解し尊重しながら協力してまちづくりを行う」協働によるまちづくりを進めている。

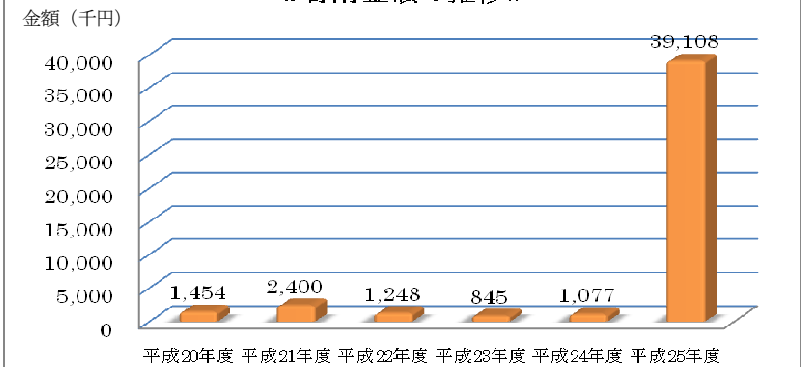
平成 25 年度は、新たなまちづくりのシステムとして全市における「新しいコミュニティ」の形成を図るため、度島地区をモデル地区に選定し、まちづくり運営協議会の発足、全 7 回にわたる地元住民との協議を経て、度島地区まちづくり計画の策定を行うなど住民自治の確立に向けた取り組みを実施した。

また、定住対策については、これまでのホームページ等による情報提供や定住希望者への相談対応、「田舎暮らし体験ツアー」の開催に加え、平成 25 年度から「平戸いなか暮らしお試ステイブプログラム」を実施し、個別の定住希望者への対応を行うとともに、田舎暮らしサポーター（先輩定住者）の認定を行い、定住希望者へのサポート体制を構築するなど、本市への定住の促進を図った。

さらに、農林、水産、商工関係団体及び市で組織する協議会において、独身男女のめぐりあいの場を提供するイベントを開催した。

また、ふるさと寄附金制度「やらんば！平戸」応援寄附金については、寄附額に応じてポイントを付与し特産品を選べるカタログ制度を導入した。また、民間企業が運営するふるさと納税ポータルサイトに掲載、PR 等を行い、寄附者に対してふるさとの特産品を贈り、地場産品の消費拡大と顧客獲得を図った。

《 寄附金額の推移 》



（3）国際交流

平成23年9月18日に姉妹都市締結を行ったオランダ王国ノールトワイケルハウト市との姉妹都市交流事業として、市内高校生12名を両市の間で相互に受入・派遣する短期留学事業を行い、両市の友好交流を深めるとともに、参加者の国際的な視野を広げることができた。

さらに、友好都市である中国福建省南安市との交流では、南安市友好訪問団15名が7月13日に鄭成功生誕祭前夜祭、7月14日に鄭成功生誕祭・鄭成功記念館開館記念式典に参列し友好を深めた。

また平成 25 年は、平戸英国商館が設置されて 400 周年の記念の年になることから、市民と行政が一体となり実行委員会を組織し「市民主役によるまちづくり」を合言葉に 24 の記念事業を行った。この他に、国際交流につながる活動を行う団体の交流活動に対し助成を行い、市民団体レベルでの国際交流を推進することができた。

（4）国土調査

国土調査は、土地の保全及びその利活用的高度化に資するとともに、地籍の明確化を図ることにより、土地に関する紛争の未然防止や早期解決、土地取引や公共工事の円滑化などの効果があり、市民生活並びに土地行政にとって有益な事業として実施した。

（5）交通政策

度島、高島地区の生活航路を維持・確保するため、離島航路の運航補助や運航委託を行った。加えて、平成 25 年度からは、離島住民旅客運賃割引を実施する航路事業者に対し補助を行った。また、地域住民の福祉の向上に資するため、バス待合施設の整備や、これまでの路線バスの運行補助に加えて、生月－平戸高校間の補助対象区間を拡大し、地方バス路線の維持を図った。さらに、鉄道交通の安全性の確保と利便性の向上のため、松浦鉄道(株)が行う施設整備に対し支援を行った。

【 2 款 総務費 】

2 徴 税 費

賦課事務については、地方税法、市税条例等を基に公平・公正な課税に努めるとともに、「eLTAX システム」の活用により納税者の利便性向上と事務の軽減化及び経費削減を図ってきたところである。

また、固定資産税課税の適正及び公平化ならびに課税業務の円滑な遂行を図るため土地評価システムを導入しているが、平成 27 年度評価替えに向けて課税客体の基礎資料の整備及び宅地評価鑑定事業を行った。

徴収事務については、「納税推進行動計画」に基づき、滞納整理スケジュールを作成し、滞納整理の促進に努めた。

特に平成 20 年度から実施している「搜索」等により滞納者の生活実態を把握し、納税相談を行う中で多重債務等の解消についても指導を行うなど、納税者の生活再建にも寄与するとともに、税に対する納税意識の高揚にも繋がっている。このような取り組みの結果、過払い金の還付による自主納付の増加や差押えによる不動産の公売会、また、平成 25 年度には近隣自治体と合同で不動産公売会を実施するなど、より効果的な滞納整理の方法を模索することで、県下でも収納率は上位を維持している。

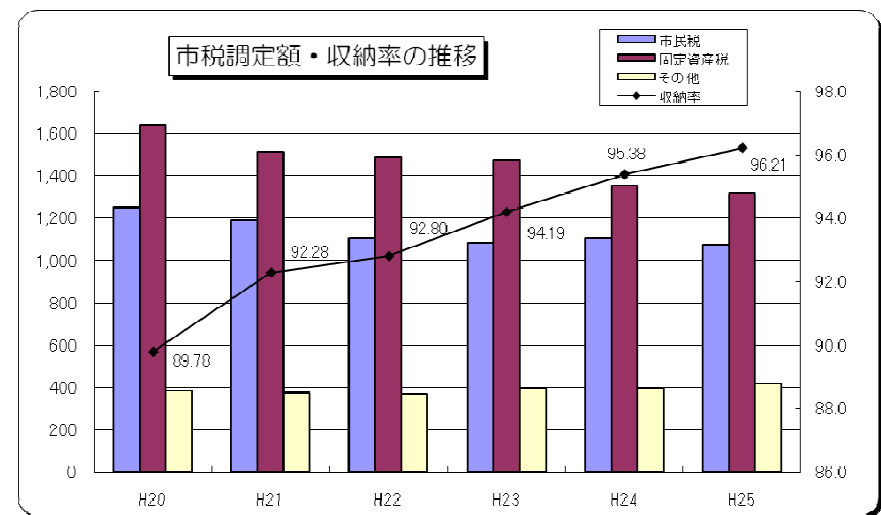
しかしながら、過払い金の請求等については効果が限定的なこともあり、今後も研修等による滞納整理担当職員の資質向上に努めるとともに、引き続き、搜索や合同公売会、不動産公売を実施するなど、さらなる徴収事務の推進に努めていきたい。

調定額、収入額及び収納率の推移 (単位：千円、%)

年度 税目	平成 24 年度			平成 25 年度		
	調定額	収入額	収納率	調定額	収入額	収納率
市 民 税	1,103,186	1,076,192	97.55	1,073,326	1,053,727	98.18
固定資産税	1,351,937	1,256,190	92.92	1,316,684	1,236,925	93.94
軽自動車税	94,787	90,755	95.75	97,188	93,579	96.29
市たばこ税	215,207	215,207	100.0	238,555	238,555	100.0
入 湯 税	27,721	27,721	100.0	27,936	27,936	100.0
都市計画税	55,463	50,786	91.57	54,597	51,205	93.79
計	2,848,301	2,716,851	95.38	2,808,286	2,701,927	96.21
うち滞納繰越	158,927	78,856	49.62	126,654	57,306	45.25

※滞納繰越分を含む。

事業名	事業内容	事業費
人事評価制度構築事業 (総務課) 【事項別明細書 90 頁】	班長職以上を対象として制度の試行を行い、人事評価制度における組織目標や職員個々の職務目標の設定、評価の手法・手順等を理解させるとともに、平戸市に合った人事評価制度とするための検証を行った。 ・試行期間：平成25年4月から平成26年3月まで ・対象者：班長職以上の職員 ・目標管理研修：平成25年6月【4回実施】 ・評価者能力評価研修：平成25年11月【4回実施】 ・分析結果説明会：平成26年2月【3回実施】	4,104



3 選 挙 費

次の選挙を執行した。

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| ① 参議院議員通常選挙 | (投票日：平成 25 年 7 月 21 日) |
| ② 長崎県知事選挙 | (投票日：平成 26 年 2 月 2 日) |
| ③ 平戸市長選挙・市議会議員一般選挙 | (投票日：平成 25 年 10 月 20 日) |

4 統計調査費

平成 25 年度において、統計法に基づく以下の統計調査を実施した。

- | | |
|---------------|-------------|
| ① 経済センサス調査区設定 | ② 住宅・土地統計調査 |
| ③ 漁業センサス | ④ 工業統計調査 |

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
			4,104	人事評価の試行結果を分析したことにより、現段階における課題を整理することができた。 また、目標管理研修、評価者能力評価研修及び分析結果の説明会の実施により、人事評価制度に対する職員の理解が深まった。

事業名	事業内容	事業費
本庁舎施設整備事業 (総務課) 【事項別明細書 92 頁】 【事項別明細書 94 頁】	老朽化したエレベーターの改修、耐震補強及び改修工事に係る設計を行った。 ・エレベーター改修 19,425千円 ・設計業務委託 385千円	19,810
	【平成 24 年度繰越明許費】 耐震補強及び改修工事に係る設計を行った。 ・設計業務委託 6,600千円	6,600
公有財産売却事業 (企画財政課) 【事項別明細書 98 頁】	公有財産のうち普通財産について、利活用されていない遊休地や貸付地の測量及び鑑定評価を行い売却した。また、将来土地の売却につながるよう、老朽化した家屋の解体や、不用となった車両等のインターネット公売を行った。 測量業務委託費 994 千円 不動産鑑定業務委託費 354 千円 解体工事費 594 千円 看板作成委託費 94 千円 公売返還費 770 千円 事務費 34 千円	2,840
情報格差等対策事業 (行革推進課) 【事項別明細書 102 頁】	平戸市地域情報化推進協議会を開催し、地域情報化の指針となる「平戸市地域情報化推進指針」を策定した。 委員 12 名 協議会開催 5回	119
高齢者交通安全対策事業 (市民課) 【事項別明細書 108 頁】 【事項別明細書 110 頁】	運転免許保有者数に占める高齢者の割合が年々増加傾向にあり、交通死亡事故の当事者となる高齢者の比率も増加している。 このようなことから、高齢者を対象とした体験型の運転講習会を開催し、正しい運転マナーと交通安全への意識の高揚を図るため研修を行った。	225

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
	18,800		1,010	既存のエレベーターを現行建築基準法に則した仕様にリニューアルすることにより、設備の長寿命化及び利用者の安全確保に寄与した。
718	5,500		382	本庁舎耐震補強及び改修工事に係る実施設計ができた。
			2,840	積極的に市有地等の売却を行ったことにより、財源の確保と維持費の削減ができた。
				土 地 6 件 8,708,860 円 車両等（インターネット公売） 5 件 1,026,788 円
			119	指針の策定により、地域情報化の現状と課題を把握することができた。また、今後、取り組むべき地域情報化の方向性が明確化された。
			225	講習会を受講することで、自分自身の運動能力、判断力等の低下を体験することにより、安全運転の意識の向上に寄与した。 【参加人数】 1 日目：15 人（平戸北部・中部地区） 2 日目：14 人（生月・田平地区） 3 日目：10 人（平戸南部地区）

事業名	事業内容	事業費																																	
地域間交流推進事業 (文化交流課) 【事項別明細書 110 頁】 【事項別明細書 112 頁】	【枝幸町・平戸市いきいき交流事業】 8 月 5 日～9 日 平成14年度から始まった北海道枝幸町（旧歌登町）との交流事業は、枝幸町中学生 6 名を受け入れて、ホームステイや海遊び・漁師体験等を通して、平戸市の中学生や地域住民と親睦を図った。 【普通寺市市民号訪問】 11 月 2 日～4 日 昭和 60 年に弘法大師が取り持つ縁で姉妹都市締結を行って、隔年ごとに相互訪問を実施している。25 年度は、市民号使節訪問団 20 名が友好親善として普通寺市を訪問し、空海まつりに参加し交流を図った。	666																																	
地域めぐりあい創出事業 (地域協働課) 【事項別明細書 112 頁】	農林、水産、商工関係団体及び市で組織する協議会において、独身男女のめぐりあいの場を提供するイベントを開催した。 ○イベント開催数 3 回 <table border="1"> <thead> <tr> <th>イベント名</th><th>参加実績 (男女)</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平戸婚活のすすめ Vol. 11 「津吉茶市街コン」</td><td>男： 10 名 女： 16 名</td><td>26 名</td></tr> <tr> <td>平戸婚活のすすめ Vol. 12 平戸街コン「平戸城下コン」</td><td>男：114 名 女：112 名</td><td>226 名</td></tr> <tr> <td>平戸婚活のすすめ Vol. 13 「平戸恋活パーティーin 旗松亭」</td><td>男： 10 名 女： 20 名</td><td>30 名</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>男：134 名 女：148 名</td><td>282 名</td></tr> </tbody> </table>	イベント名	参加実績 (男女)	合計	平戸婚活のすすめ Vol. 11 「津吉茶市街コン」	男： 10 名 女： 16 名	26 名	平戸婚活のすすめ Vol. 12 平戸街コン「平戸城下コン」	男：114 名 女：112 名	226 名	平戸婚活のすすめ Vol. 13 「平戸恋活パーティーin 旗松亭」	男： 10 名 女： 20 名	30 名	合 計	男：134 名 女：148 名	282 名	522																		
イベント名	参加実績 (男女)	合計																																	
平戸婚活のすすめ Vol. 11 「津吉茶市街コン」	男： 10 名 女： 16 名	26 名																																	
平戸婚活のすすめ Vol. 12 平戸街コン「平戸城下コン」	男：114 名 女：112 名	226 名																																	
平戸婚活のすすめ Vol. 13 「平戸恋活パーティーin 旗松亭」	男： 10 名 女： 20 名	30 名																																	
合 計	男：134 名 女：148 名	282 名																																	
協働によるまちづくり推進事業 (地域協働課) 【事項別明細書 112 頁】	本市が目指す協働によるまちづくりは、市民が「自ら考え」「自らの力で」実行することを基本におき、市民と行政がお互いを理解し、尊重しながら、それぞれの役割を担い、ともに地域を支えあうことを目的としてまちづくりを進めた。 また、委託事業、補助金及び交付金を交付し、市民活動団体の育成及び強化、市民が主体となったまちづくりの推進を図った。 <table> <tbody> <tr> <td>・やらんば市民活動モデル事業委託料</td><td>3 件</td><td>2,697 千円</td></tr> <tr> <td>・やらんば市民活動サポート事業補助金</td><td>10 件</td><td>2,593 千円</td></tr> <tr> <td>①はじめの一步部門</td><td>2 件</td><td>200 千円</td></tr> <tr> <td>②活動ステップアップ部門</td><td>1 件</td><td>100 千円</td></tr> <tr> <td>③新規事業チャレンジ部門</td><td>7 件</td><td>2,293 千円</td></tr> <tr> <td>・市民力アップ支援事業補助金</td><td>2 件</td><td>9,711 千円</td></tr> <tr> <td>・まちづくり活性化交付金</td><td>12 件</td><td>13,946 千円</td></tr> <tr> <td>①生月地区</td><td>4 件</td><td>6,375 千円</td></tr> <tr> <td>②田平地区</td><td>5 件</td><td>4,103 千円</td></tr> <tr> <td>③大島地区</td><td>3 件</td><td>3,468 千円</td></tr> <tr> <td>・まちづくり大会経費他</td><td></td><td>675 千円</td></tr> </tbody> </table>	・やらんば市民活動モデル事業委託料	3 件	2,697 千円	・やらんば市民活動サポート事業補助金	10 件	2,593 千円	①はじめの一步部門	2 件	200 千円	②活動ステップアップ部門	1 件	100 千円	③新規事業チャレンジ部門	7 件	2,293 千円	・市民力アップ支援事業補助金	2 件	9,711 千円	・まちづくり活性化交付金	12 件	13,946 千円	①生月地区	4 件	6,375 千円	②田平地区	5 件	4,103 千円	③大島地区	3 件	3,468 千円	・まちづくり大会経費他		675 千円	29,622
・やらんば市民活動モデル事業委託料	3 件	2,697 千円																																	
・やらんば市民活動サポート事業補助金	10 件	2,593 千円																																	
①はじめの一步部門	2 件	200 千円																																	
②活動ステップアップ部門	1 件	100 千円																																	
③新規事業チャレンジ部門	7 件	2,293 千円																																	
・市民力アップ支援事業補助金	2 件	9,711 千円																																	
・まちづくり活性化交付金	12 件	13,946 千円																																	
①生月地区	4 件	6,375 千円																																	
②田平地区	5 件	4,103 千円																																	
③大島地区	3 件	3,468 千円																																	
・まちづくり大会経費他		675 千円																																	

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
			666	交流都市である枝幸町から 6 名の中学生を受け入れ、ホームステイなどを通して親睦を深めるとともに、平戸市をアピールすることができた。 また、姉妹都市である普通寺市を訪問することにより、異なる文化・歴史・産業等を知ることができ、市民レベルでの親睦と交流を深めることができた。 さらに、「平戸くんち城下秋まつり」に特産品が出品されるなど、今後においても人的交流とともに物産交流などが期待される。
150			372	本市の観光資源を活かしたイベントの開催など行うとともに、参加者が参加しやすく近年ニーズが高まっている街コンを開催するなど、多くの男女に出会いの場を提供することができた。
	15,300	7,768	6,554	委託事業、各種補助金及び交付金の交付により、市民活動団体の組織強化や活動支援を行った。今後とも市民活動団体をはじめ各地域に情報提供を行い、市民の意識改革や機運づくりを行っていききたい。 また、まちづくり活性化交付金を生月・田平・大島に交付し、地域の特性を活かしたまちづくりに寄与した。

事業名	事業内容	事業費				
自治会公園整備事業 (地域協働課) 【事項別明細書 112 頁】 【事項別明細書 114 頁】	地域子どもたちが安心・安全に遊べる場所の提供と、子育て世代の意見交換や高齢者と子どもたちの交流の場として、自治会が行う公園整備に係る費用の一部を、(財)自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用して助成した。 実施自治会 宮の浦地区 総事業費 2,621,498円 補助率 10/10 (上限2,500,000円) 設置設備 パネルコンビ 1基、2連ブランコ 1基、 ジャングルジム 1基、リサイクルベンチ 2基 2連ブランコ境界柵 1、フェンス 1	2,500				
コミュニティ推進事業 (地域協働課) 【事項別明細書 114 頁】	平戸市総合計画の基本目標である「市民の参画と連携による自立した地域の確立」を推進するため、地域住民が一体となって、市民が自ら考え、実践し、地域課題の解決に取り組む「新しいコミュニティ」の構築及び「まちづくり運営協議会」の組織化を図った。 【平成 25 年度】 度島地区まちづくり運営協議会の結成 平戸市コミュニティ推進モデル地域交付金 1,670 千円 ・防犯灯管理運営事業 ・高齢者おもてなし事業 ・お帰りのさいイルミネーション事業 ・事務局職員の雇用 ほか 事務費 208 千円	1,878				
定住促進対策事業 (地域協働課) 【事項別明細書 114 頁】	ホームページ等による定住関連情報の提供を行うとともに、東京において開催された「ながさき田舎暮らしキャラバン」に参加し、本市への定住希望者への相談対応を行った。 また、平戸ならではの生活を体験してもらうための「田舎暮らし体験ツアー」の開催に加え、平成 25 年度より「平戸いなか暮らしお試しステイプログラム」を実施し、個別の定住希望者への対応を行い、本市への定住の促進を図った。 ○ながさき田舎暮らしキャラバン <table border="1"><tr><td>会 場 名</td><td>本市相談者</td></tr><tr><td>東 京 会 場</td><td>6 件</td></tr></table> ○平戸市田舎暮らし体験ツアー 参加者 2 組 4 名 ○平戸いなか暮らしお試しステイプログラム 参加者 2 組 4 名	会 場 名	本市相談者	東 京 会 場	6 件	995
会 場 名	本市相談者					
東 京 会 場	6 件					

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果																								
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源																									
		2,500		これまで遊具などほとんど整備されていなかった場所に、遊具やベンチ等を備えた公園を整備したことにより、地元の子供達や高齢者が安心・安全に憩い・ふれあうことができる場所となった。																								
			1,878	平戸市コミュニティ推進モデル地域交付金を交付し、防犯灯の維持管理や高齢者の生きがい事業など度島独自のまちづくり事業を実施することで、度島地区のコミュニティのあり方を検証することができた。また、度島島民に対して、「協働によるまちづくり」について、周知することができ、度島地区まちづくり運営協議会の結成、まちづくりに対する住民の理解を得ることができた。																								
		661	334	キャラバンやホームページ等による情報発信により 39 件の相談を受けたが、ＵＩターン者の定住には至らなかった。 ＵＩターン者数 <table> <tr> <td>平成 18 年度</td> <td>1 世帯</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>平成 19 年度</td> <td>7 世帯</td> <td>12 名</td> </tr> <tr> <td>平成 20 年度</td> <td>5 世帯</td> <td>10 名</td> </tr> <tr> <td>平成 21 年度</td> <td>4 世帯</td> <td>13 名</td> </tr> <tr> <td>平成 22 年度</td> <td>6 世帯</td> <td>13 名</td> </tr> <tr> <td>平成 23 年度</td> <td>7 世帯</td> <td>14 名</td> </tr> <tr> <td>平成 24 年度</td> <td>7 世帯</td> <td>16 名</td> </tr> <tr> <td>平成 25 年度</td> <td>0 世帯</td> <td>0 名</td> </tr> </table>	平成 18 年度	1 世帯	1 名	平成 19 年度	7 世帯	12 名	平成 20 年度	5 世帯	10 名	平成 21 年度	4 世帯	13 名	平成 22 年度	6 世帯	13 名	平成 23 年度	7 世帯	14 名	平成 24 年度	7 世帯	16 名	平成 25 年度	0 世帯	0 名
平成 18 年度	1 世帯	1 名																										
平成 19 年度	7 世帯	12 名																										
平成 20 年度	5 世帯	10 名																										
平成 21 年度	4 世帯	13 名																										
平成 22 年度	6 世帯	13 名																										
平成 23 年度	7 世帯	14 名																										
平成 24 年度	7 世帯	16 名																										
平成 25 年度	0 世帯	0 名																										

事業名	事業内容	事業費
ふるさと応援寄附金推進事業 (企画財政課) 【事項別明細書 114 頁】	平成 20 年 8 月に創設した、ふるさと寄附金制度「やらんば！平戸」応援寄附金について、寄附額に応じてポイントを付与し特産品を選べるカタログ制度を導入した。また、民間企業が運営するふるさと納税ポータルサイトに掲載、PR 等を行い、寄附者に対してふるさとの特産品を贈り、地場産品の消費拡大と顧客獲得を図った。	4,712
「やらんば！平戸」応援基金プロジェクト事業 (企画財政課) 【事項別明細書 114 頁】	ふるさと寄附金制度を受けて創設した「やらんば！平戸」応援基金について、平戸市総合計画の「やらんば燦爛プロジェクト」を達成するための事業への活用を行った。 貸出用チャイルドシート購入(10 台) 326 千円 貸出用ベビーベッド購入 (10 台) 303 千円	629
国際交流員招致事業 (文化交流課) 【事項別明細書 116 頁】	姉妹都市交流事業などの国際交流事業を円滑に実施するため、国際交流員 1 名（オランダ人）を雇用し、通訳業務を行うとともに、学校訪問や各種イベント等において、異文化の理解を深める交流を行った。特に平戸英国商館設置 400 周年記念推進事業では、外国要人等の調整や式典司会を担当した。	4,706
南安市友好交流事業 (文化交流課) 【事項別明細書 116 頁】	下記の事業に南安市友好訪問団を受け入れた。 事業内容 鄭成功生誕祭前夜祭及び鄭成功生誕祭・鄭成功記念館開館記念式典 開催日程 平成 25 年 7 月 13 日（土）～7 月 14 日（日） 訪問団数 15 名	511

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
			4,712	平成 25 年 8 月から寄附額に応じたポイントを付与し、特産品をカタログで選べる仕組みを構築し、専用ポータルサイトに掲載したことにより、新規寄附者の確保を図ることができた。 また、マスメディアにも取り上げられ大幅な寄附者の増加につながった。 「やらんば！平戸」応援寄附金 平成 20 年度 37 件 1,454 千円 平成 21 年度 28 件 2,400 千円 平成 22 年度 30 件 1,248 千円 平成 23 年度 24 件 845 千円 平成 24 年度 36 件 1,077 千円 平成 25 年度 1,467 件 39,108 千円
		629		乳幼児の交通面における安全の確保並びに子育ての支援につながった。今後ともふるさと応援寄附金の推進を図るとともに、寄附者の意向を反映した効果的な基金の運用を行っていく。 「やらんば！平戸」応援基金現在高 41,240 千円(H25 末)
	3,500	19	1,187	国際交流員を配置したことにより、オランダ王国などの交流事業の際に、円滑に事業運営ができた。また、学校訪問や各種イベント等を通じて異文化への理解に貢献するとともに、市民レベルでの国際交流を推進することができた。特に平戸英国商館設置 400 周年記念推進事業においては、事業の中心的役割を担い、外国要人等の調整や、式典司会を担当するなど、事業推進に寄与した。
			511	友好訪問団を受け入れることにより、友好親善を深めることができた。 政治的に不安定な中、鄭成功記念館開館行事に招聘し、交流による友好関係が深化できた。また、鄭成功像の贈呈が約束された。

事業名	事業内容	事業費
平戸英国商館設置 400周年記念事業 (文化交流課) 【事項別明細書 116 頁】 【事項別明細書 118 頁】	平成 25 年は、平戸英国商館が設置されて 400 周年の記念の年になることから、実行委員会と平戸市が一体となって「市民主役によるまちづくり」を合言葉に、24 の記念事業を行った。 【実施主体】 平戸英国商館設置 400 周年記念事業実行委員会 【実施事業】 ◎平戸市主催事業 8 事業 ◎実行委員会提案事業 16 事業	17,837
平戸英国商館設置 400 周年記念推進 事業 (文化交流課) 【事項別明細書 118 頁】	<緊急雇用創出事業臨時特例基金事業> 平戸英国商館設置 400 周年記念事業を推進するため、緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を活用した拠点施設を木引田商店街に整備し、記念事業の推進を行った。 拠点施設 office クロープ号 雇用人数 1 名 期間(緊急雇用)平成 25 年 4 月 1 日～11 月 30 日、 1,159 千円 (単独費)平成 25 年 12 月 1 日～12 月 27 日、 85 千円	1,244

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果																																																																																																												
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源																																																																																																													
4,061		6,676	7,100	官民が一体となり、市民から提案があった観光・文化・国際交流などの記念事業を行ったことで、英国との交流や海外貿易の歴史をPRすることができ、交流人口を増やすことができた。 【市主催事業】 単位：人 <table> <tr> <th>番</th> <th>事業名</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>英国との事前協議（24年度事業）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>オープニングセレモニー、歓迎レセプション</td> <td>500</td> <td>450</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ANJINサミット</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>英国商館設置400周年記念式典</td> <td>100</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>高校生英語弁論大会長崎県大会</td> <td>100</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>平戸市中学生英語スピーチ大会</td> <td>400</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>朱印状複製事業</td> <td>20,000</td> <td>18,068</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>広報宣伝事業</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>拠点施設設置事業</td> <td>800</td> <td>3,909</td> </tr> </table> 【実行委員会主催事業】 <table> <tr> <td>10</td> <td>400周年企画展</td> <td>9,000</td> <td>11,672</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>イギリスでの献茶・展覧会</td> <td>20,000</td> <td>30,081</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>賑わいの街並み修景事業</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>アドバイザー招聘</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>外国人墓地発掘ワークショップ</td> <td>20</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>食のワークショップ</td> <td>120</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>花のワークショップ</td> <td>20</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>英会話ワークショップ</td> <td>20</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>古楽祭</td> <td>100</td> <td>81</td> </tr> <tr> <td>19</td> <td>第19回按針忌</td> <td>200</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>英国修学旅行受入</td> <td>60</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>イギリスを味わう事業</td> <td>50店舗</td> <td>55店舗</td> </tr> <tr> <td>22</td> <td>コックスフェスタ 王国祭</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>平戸フットパス</td> <td>500</td> <td>446</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>英国商館ものがたりさるく事業</td> <td>720</td> <td>155</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>Love Me HiraDo BeatleDo</td> <td>100</td> <td>154</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>52,760</td> <td>66,006</td> </tr> </table>	番	事業名	目標値	実績値	1	英国との事前協議（24年度事業）			2	オープニングセレモニー、歓迎レセプション	500	450	3	ANJINサミット			4	英国商館設置400周年記念式典	100	400	5	高校生英語弁論大会長崎県大会	100	36	6	平戸市中学生英語スピーチ大会	400	200	7	朱印状複製事業	20,000	18,068	8	広報宣伝事業			9	拠点施設設置事業	800	3,909	10	400周年企画展	9,000	11,672	11	イギリスでの献茶・展覧会	20,000	30,081	12	賑わいの街並み修景事業			13	アドバイザー招聘			14	外国人墓地発掘ワークショップ	20	32	15	食のワークショップ	120	49	16	花のワークショップ	20	35	17	英会話ワークショップ	20	44	18	古楽祭	100	81	19	第19回按針忌	200	130	20	英国修学旅行受入	60	64	21	イギリスを味わう事業	50店舗	55店舗	22	コックスフェスタ 王国祭			23	平戸フットパス	500	446	24	英国商館ものがたりさるく事業	720	155	25	Love Me HiraDo BeatleDo	100	154	合 計		52,760	66,006
番	事業名	目標値	実績値																																																																																																													
1	英国との事前協議（24年度事業）																																																																																																															
2	オープニングセレモニー、歓迎レセプション	500	450																																																																																																													
3	ANJINサミット																																																																																																															
4	英国商館設置400周年記念式典	100	400																																																																																																													
5	高校生英語弁論大会長崎県大会	100	36																																																																																																													
6	平戸市中学生英語スピーチ大会	400	200																																																																																																													
7	朱印状複製事業	20,000	18,068																																																																																																													
8	広報宣伝事業																																																																																																															
9	拠点施設設置事業	800	3,909																																																																																																													
10	400周年企画展	9,000	11,672																																																																																																													
11	イギリスでの献茶・展覧会	20,000	30,081																																																																																																													
12	賑わいの街並み修景事業																																																																																																															
13	アドバイザー招聘																																																																																																															
14	外国人墓地発掘ワークショップ	20	32																																																																																																													
15	食のワークショップ	120	49																																																																																																													
16	花のワークショップ	20	35																																																																																																													
17	英会話ワークショップ	20	44																																																																																																													
18	古楽祭	100	81																																																																																																													
19	第19回按針忌	200	130																																																																																																													
20	英国修学旅行受入	60	64																																																																																																													
21	イギリスを味わう事業	50店舗	55店舗																																																																																																													
22	コックスフェスタ 王国祭																																																																																																															
23	平戸フットパス	500	446																																																																																																													
24	英国商館ものがたりさるく事業	720	155																																																																																																													
25	Love Me HiraDo BeatleDo	100	154																																																																																																													
合 計		52,760	66,006																																																																																																													
1,159		5	80	新たな雇用創出が図られたとともに、記念事業を推進し、市内外に広くPRすることができた。9か月間空き店舗を活用し、事業告知はもちろん、小イベントを開催し、地域拠点としての取り組みができた。 ○新規雇用者 1名																																																																																																												

事業名	事業内容	事業費																																				
ノールトワイケル ハウト市姉妹都市 交流事業 (文化交流課) 【事項別明細書 118 頁】	平成 23 年 9 月に姉妹都市締結を行ったオランダ王国ノールトワイケルハウト市との友好交流を深めるため、市内 3 校の高校生 12 名とノールトワイケルハウト市のレーウエンホルスト中高校生 12 名との間で相互に受入・派遣する短期留学事業を行った。 1 期生【受入期間】 平成 25 年 4 月 19 日 (金) ～ 4 月 30 日 (火) 【受入人数】 12 名 (男 5 名、女 7 名)、随 行 4 名 2 期生【受入期間】 平成 25 年 9 月 6 日 (金) ～ 9 月 17 日 (火) 【受入人数】 12 名 (男 6 名、女 6 名)、随 行 4 名 【派遣期間】 平成 26 年 3 月 3 日 (月) ～ 3 月 15 日 (土) 【派遣人数】 12 名 (男 6 名、女 6 名)、随 行 3 名	2,816																																				
国 土 調 査 事 業 (まちづくり課) 【事項別明細書 120 頁】	土地の保全及びその利活用の高度化並びに地籍の明確化を図るため、下記の地区について地籍調査事業を実施した。 ①戸石川地区地籍調査業務委託 (戸石川第 1-2 地区、岩の上第 2-2-3 地区、平戸港周辺地区、岩の上第 3-2 地区、戸石川第 2 地区、岩の上第 2-2-2 地区、戸石川第 1-1 地区) ②大久保地区地籍調査業務委託 (大久保第 4 地区、大久保第 3 地区) ③紐差地区地籍調査業務委託 (紐差 A-1 地区) ④中部地区地籍図根三角測量業務委託 (紐差 A 地区、紐差 B 地区、迎紐差地区、朶の原地区、深川 A 地区、深川 B 地区、木場 A 地区、木場 B 地区、木場 C 地区、木場 D 地区) ⑤地籍調査数値情報化業務委託 (岩の上第 2-2-1 地区、大久保第 2 地区) <table><tr><th>業務</th><th>工程</th><th>面積</th><th>筆数</th><th>事業費 (千円)</th></tr><tr><td rowspan="2">①</td><td>D・E・F</td><td>0.72 ㎡</td><td>691 筆</td><td rowspan="2">29,076</td></tr><tr><td>G・H</td><td>1.33 ㎡</td><td>4,110 筆</td></tr><tr><td rowspan="2">②</td><td>D・E・F</td><td>0.31 ㎡</td><td>451 筆</td><td rowspan="2">14,512</td></tr><tr><td>G・H</td><td>0.30 ㎡</td><td>434 筆</td></tr><tr><td>③</td><td>D・E・F</td><td>1.12 ㎡</td><td>1,285 筆</td><td>44,088</td></tr><tr><td>④</td><td>C</td><td>9.35 ㎡</td><td>—</td><td>11,066</td></tr><tr><td>⑤</td><td>H4</td><td>1.23 ㎡</td><td>—</td><td>819</td></tr></table>	業務	工程	面積	筆数	事業費 (千円)	①	D・E・F	0.72 ㎡	691 筆	29,076	G・H	1.33 ㎡	4,110 筆	②	D・E・F	0.31 ㎡	451 筆	14,512	G・H	0.30 ㎡	434 筆	③	D・E・F	1.12 ㎡	1,285 筆	44,088	④	C	9.35 ㎡	—	11,066	⑤	H4	1.23 ㎡	—	819	116,072
業務	工程	面積	筆数	事業費 (千円)																																		
①	D・E・F	0.72 ㎡	691 筆	29,076																																		
	G・H	1.33 ㎡	4,110 筆																																			
②	D・E・F	0.31 ㎡	451 筆	14,512																																		
	G・H	0.30 ㎡	434 筆																																			
③	D・E・F	1.12 ㎡	1,285 筆	44,088																																		
④	C	9.35 ㎡	—	11,066																																		
⑤	H4	1.23 ㎡	—	819																																		
離島航路対策事業 (地域協働課) 【事項別明細書 120 頁】 【事項別明細書 122 頁】	度島地区住民の生活航路を維持するため、平戸－度島航路の運航事業者に対し運航補助を行った。また、大島・度島航路の悪天候時の薄香港寄港の際における臨時バスの運行委託を行った。 ○航 路：平戸－度島 (本村、飯盛) 1 日 4 便 ○臨時バス：134 回運行 利用者 2,198 人	30,820																																				

財 源 内 訳				事業の成果																									
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源																										
		1,994	822	平成 25 年度は 1 期生の受入と 2 期生の受入・派遣を行い、平戸市での受入では書道、まゆ玉、呈茶、座禅や漁師体験などのプログラムを実施し、オランダへの派遣では博物館見学、鍛冶屋体験、ボランティア活動やオブジェ作成などを体験した。 この事を通じて姉妹都市としての更なる友好交流の促進が図られたとともに、日本とオランダの教育の違いや、ホームステイを通じての文化・生活の違いを体感することができ、次代を担う子どもたちの国際的な視野を広げることができた。																									
83,430		43	32,599	平成 25 年度は、北部の戸石川第 1-2 地区、岩の上第 2-2-3 地区及び大久保第 4 地区に加え、中部の紐差 A-1 地区の一筆地調査を実施し、次年度の地積測定、地籍図及び地籍簿の作成のための準備を完了した。 また、前年度に一筆地調査を実施した平戸港周辺地区、岩の上第 3-2 地区、戸石川第 2 地区、岩の上第 2-2-2 地区、戸石川第 1-1 地区及び大久保第 3 地区の成果の閲覧を行い、認証・承認の手続きを完了した。 加えて、今年度から地籍調査を実施する中部地区に今後の測量の基準となる地籍図根三角点を設置するとともに、岩の上第 2-2-1 地区及び大久保第 2 地区の地籍調査の成果についてデータ化を行い、地籍情報管理システムに取り込むことにより、今後の地籍調査の円滑な実施と成果の管理及び利活用を図った。																									
			30,820	離島航路を維持するとともに、航路利用者の利便性が向上した。 ○旅客人員等の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>23 年度</th><th>24 年度</th><th colspan="2">25 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運航期間</td><td>H21.10 ～H22.9</td><td>H22.10 ～H23.9</td><td>H23.10 ～H24.9</td><td>H24.10 ～H25.9</td></tr> <tr> <td>運航回数(回)</td><td>1,444</td><td>1,467</td><td>1,445</td><td>1,473</td></tr> <tr> <td>旅客(人)</td><td>81,288</td><td>82,797</td><td>77,513</td><td>83,559</td></tr> <tr> <td>自動車(台)</td><td>9,966</td><td>9,678</td><td>8,712</td><td>9,287</td></tr> </tbody> </table>	区 分	23 年度	24 年度	25 年度		運航期間	H21.10 ～H22.9	H22.10 ～H23.9	H23.10 ～H24.9	H24.10 ～H25.9	運航回数(回)	1,444	1,467	1,445	1,473	旅客(人)	81,288	82,797	77,513	83,559	自動車(台)	9,966	9,678	8,712	9,287
区 分	23 年度	24 年度	25 年度																										
運航期間	H21.10 ～H22.9	H22.10 ～H23.9	H23.10 ～H24.9	H24.10 ～H25.9																									
運航回数(回)	1,444	1,467	1,445	1,473																									
旅客(人)	81,288	82,797	77,513	83,559																									
自動車(台)	9,966	9,678	8,712	9,287																									

事業名	事業内容	事業費														
高島地区航路対策事業 (地域協働課) 【事項別明細書 122 頁】	高島地区住民の生活航路を確保するため、宮の浦－高島航路の運航委託を行った。 ○宮の浦－高島：570 回運行、利用者 1,166 人	2,565														
路線バス維持対策事業 (地域協働課) 【事項別明細書 122 頁】	地方バス路線の確保を図り、地域住民の福祉の向上に資するため、不採算路線を運行するバス事業者に対し運行補助・委託を行った。 ○市内生活路線維持費補助 58,995 千円 <table border="1"><tr><td></td><td>平戸</td><td>生月</td><td>大島</td></tr><tr><td>路線系統数</td><td>5</td><td>2</td><td>5</td></tr></table> ○広域生活路線維持費補助 2,510 千円 路線系統数 1 路線 平戸～松浦線 ○ふれあいバス運行業務委託 20,000 千円 <table border="1"><tr><td></td><td>中部 (平戸)</td><td>南部 (平戸)</td></tr><tr><td>路線系統数</td><td>7</td><td>3</td></tr></table>		平戸	生月	大島	路線系統数	5	2	5		中部 (平戸)	南部 (平戸)	路線系統数	7	3	81,512
	平戸	生月	大島													
路線系統数	5	2	5													
	中部 (平戸)	南部 (平戸)														
路線系統数	7	3														
路線バス利用環境整備事業 (地域協働課) 【事項別明細書 122 頁】	バス利用者の利便性向上と公共交通利用の促進を図るため、バス待合施設の整備を行った。 ○設置箇所数 3 箇所 浦方バス停、津吉交流会館前バス停、前津吉バス停	2,459														
松浦鉄道施設整備事業 (地域協働課) 【事項別明細書 122 頁】	鉄道交通の安全性を確保するため、松浦鉄道(株)が新経営改善計画(平成 16 年度～25 年度)に基づき行う老朽化施設の整備に対し、長崎県・佐賀県及び沿線自治体による支援を行った。 総事業費：227,599 千円 (内平戸市補助分 6,805 千円) 事業内容：レール重量化、分岐器重量化、マクラギ交換など	6,805														
【事項別明細書 124 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 総事業費：10,798 千円 (内平戸市補助分 204 千円) 事業内容：トンネル改修、橋梁橋側歩道更新	204														

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果																																							
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源																																								
			2, 565	高島地区住民の交通手段の確保に寄与した。 ○利用者数の推移 (単位：人) <table> <tr> <th>区 分</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> </tr> <tr> <td>利用者</td> <td>614</td> <td>891</td> <td>1, 166</td> </tr> </table>	区 分	23 年度	24 年度	25 年度	利用者	614	891	1, 166																															
区 分	23 年度	24 年度	25 年度																																								
利用者	614	891	1, 166																																								
		2, 095	79, 417	ふれあいバスの運行により、交通空白地帯の解消、通勤・通学・通院などの生活路線の確保に寄与した。平成 25 年度は、中野－平戸高校間の補助対象区間を、生月－平戸高校間に拡大し、路線の維持を図った。 ○利用者数の推移 (単位：人) <table> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">補 助</td> <td>平戸地区</td> <td>83, 812</td> <td>152, 978</td> <td>174, 925</td> </tr> <tr> <td>生月地区</td> <td>5, 621</td> <td>5, 309</td> <td>6, 638</td> </tr> <tr> <td colspan="2">うち生月－平高線(H25. 10～H26. 3)</td> <td colspan="2">2, 213</td> </tr> <tr> <td>大島地区</td> <td>9, 883</td> <td>13, 845</td> <td>14, 972</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">委 託</td> <td>平戸・松浦線</td> <td>37, 361</td> <td>39, 119</td> <td>38, 777</td> </tr> <tr> <td>平戸中部地区</td> <td>16, 223</td> <td>16, 325</td> <td>13, 909</td> </tr> <tr> <td>平戸南部地区</td> <td>11, 000</td> <td>12, 769</td> <td>11, 062</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>163, 900</td> <td>240, 345</td> <td>260, 283</td> </tr> </table>	区 分		23 年度	24 年度	25 年度	補 助	平戸地区	83, 812	152, 978	174, 925	生月地区	5, 621	5, 309	6, 638	うち生月－平高線(H25. 10～H26. 3)		2, 213		大島地区	9, 883	13, 845	14, 972	委 託	平戸・松浦線	37, 361	39, 119	38, 777	平戸中部地区	16, 223	16, 325	13, 909	平戸南部地区	11, 000	12, 769	11, 062	合 計	163, 900	240, 345	260, 283
区 分		23 年度	24 年度	25 年度																																							
補 助	平戸地区	83, 812	152, 978	174, 925																																							
	生月地区	5, 621	5, 309	6, 638																																							
	うち生月－平高線(H25. 10～H26. 3)		2, 213																																								
	大島地区	9, 883	13, 845	14, 972																																							
委 託	平戸・松浦線	37, 361	39, 119	38, 777																																							
	平戸中部地区	16, 223	16, 325	13, 909																																							
	平戸南部地区	11, 000	12, 769	11, 062																																							
	合 計	163, 900	240, 345	260, 283																																							
			2, 459	本整備により、高齢者や学生などの交通弱者が利用する路線バスにおいて、雨天時や寒風時のバス待合の環境改善が図られ、公共交通機関の利用促進に寄与した。																																							
	6, 400		405	本整備により、鉄道交通の安全性の確保と利用者の利便性の向上に寄与した。 ○松浦鉄道(株) 営業路線：有田駅～佐世保駅 93. 8 km <table> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> </tr> <tr> <td colspan="2">駅 数</td> <td>57</td> <td>57</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td colspan="2">車 両 数</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">乗客数 (千人)</td> <td>普通</td> <td>1, 098</td> <td>1, 073</td> <td>1, 072</td> </tr> <tr> <td>定期</td> <td>1, 809</td> <td>1, 859</td> <td>1, 856</td> </tr> </table>	区 分		23 年度	24 年度	25 年度	駅 数		57	57	57	車 両 数		23	23	23	乗客数 (千人)	普通	1, 098	1, 073	1, 072	定期	1, 809	1, 859	1, 856															
区 分		23 年度	24 年度	25 年度																																							
駅 数		57	57	57																																							
車 両 数		23	23	23																																							
乗客数 (千人)	普通	1, 098	1, 073	1, 072																																							
	定期	1, 809	1, 859	1, 856																																							
			204																																								

事業名	事業内容	事業費
離島住民航路旅客運賃低廉化事業 (地域協働課) 【事項別明細書 122 頁】 【事項別明細書 124 頁】	離島住民の負担軽減を図るため、平戸一度島航路において、運航事業者が離島住民を対象に実施する運賃割引に対して補助を行った。 ○補助航路：平戸一度島（対象期間 H25. 4. 1～H25. 9. 30） ○割引制度開始日 平成 25 年 4 月 1 日	1,238
防犯灯管理運営事業 (市民課) 【事項別明細書 124 頁】	防犯灯を設置・維持管理している各地区に対して補助を行った。	7,155
市民総合相談開催事業 (市民課) 【事項別明細書 124 頁】 【事項別明細書 126 頁】	市内 6 か所で相談所を開設し、市民が気軽に相談できる機会を設けた。 また、市役所内に市民総合相談室を常設しており、市民が相談しやすい環境を創った。	67
消費者行政活性化事業 (市民課) 【事項別明細書 126 頁】	長崎県消費者行政活性化基金事業を活用し、消費者相談員の配置及び啓発活動を実施した。	4,080

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
			1,238	運賃割引制度の実施により、離島住民の負担が軽減された。 ○利用実績 (H25. 4～H25. 9) 27,020 人
			7,155	自治会の防犯灯の設置及び維持管理に対し補助事業を行うことで、安全・安心まちづくりに寄与した。 ・新設 31 基 ・器具取替 91 基 ・修理（電球取替等） 202 基 ・電気料 2,146 基
			67	近年さまざまな相談依頼があっており、そのため行政相談委員や人権擁護委員等の協力を得て、市民総合相談所を開設し、複雑な相談内容などの最善策を模索し市民がかかえる問題の解決に寄与した。 開設日及び相談件数 平戸南部地区 10 月 10 日 1 件 田平地区 10 月 23 日 2 件 平戸中部地区 11 月 6 日 5 件 大島地区 11 月 20 日 3 件 平戸北部地区 12 月 20 日 4 件 生月地区 1 月 15 日 1 件 相談室（常設） 95 件 合計 111 件
2,020		15	2,045	消費生活相談員及び啓発活動の充実を図ることによって、地域住民の生活や財産を守るとともに、専門員の配置による各種関係機関との連携強化によって、相談解決に努めた。 相談件数 108 件

事業名	事業内容	事業費																																																																
収納対策推進事業 (税務課) 【事項別明細書 128 頁】	搜索等による差押物件の合同公売会、平成 24 年度から不動産公売を実施するなど、滞納対策を積極的に行った。 また、国保事業と連携した F P（ファイナンシャルプランナー）による納税相談を実施し、滞納者の生活改善に取り組んだ。 ○滞納処分件数 (単位：件) <table><tr><th></th><th>20 年度</th><th>21 年度</th><th>22 年度</th><th>23 年度</th><th>24 年度</th><th>25 年度</th></tr><tr><td>交付要求</td><td>30</td><td>43</td><td>45</td><td>24</td><td>29</td><td>13</td></tr><tr><td rowspan="4">差押</td><td>債権</td><td>637</td><td>796</td><td>1,257</td><td>1,180</td><td>1,175</td><td>1,280</td></tr><tr><td>動産</td><td>37</td><td>101</td><td>121</td><td>88</td><td>72</td><td>37</td></tr><tr><td>不動産</td><td>28</td><td>9</td><td>11</td><td>29</td><td>59</td><td>71</td></tr><tr><td>自動車等</td><td>44</td><td>38</td><td>26</td><td>16</td><td>5</td><td>13</td></tr><tr><td>合計</td><td>776</td><td>987</td><td>1,460</td><td>1,337</td><td>1,340</td><td>1,414</td></tr></table> ○搜索件数 (単位：件) <table><tr><th></th><th>20 年度</th><th>21 年度</th><th>22 年度</th><th>23 年度</th><th>24 年度</th><th>25 年度</th></tr><tr><td>搜索</td><td>21</td><td>70</td><td>95</td><td>61</td><td>50</td><td>38</td></tr></table>		20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	交付要求	30	43	45	24	29	13	差押	債権	637	796	1,257	1,180	1,175	1,280	動産	37	101	121	88	72	37	不動産	28	9	11	29	59	71	自動車等	44	38	26	16	5	13	合計	776	987	1,460	1,337	1,340	1,414		20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	搜索	21	70	95	61	50	38	2,816
	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度																																																												
交付要求	30	43	45	24	29	13																																																												
差押	債権	637	796	1,257	1,180	1,175	1,280																																																											
	動産	37	101	121	88	72	37																																																											
	不動産	28	9	11	29	59	71																																																											
	自動車等	44	38	26	16	5	13																																																											
合計	776	987	1,460	1,337	1,340	1,414																																																												
	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度																																																												
搜索	21	70	95	61	50	38																																																												
土地評価システム 管理事業 (税務課) 【事項別明細書 128 頁】 【事項別明細書 130 頁】	固定資産税課税における税の適正及び公平化及び課税業務の円滑な遂行を図るため、土地評価システムによりデータを整備して評価を行っている。また、平成 27 年度固定資産評価替に向け、課税客体の基礎資料の整備を行った。 ○システム内容 航空写真や地番図をデジタル処理し、土地の評価を行うシステム ○作業内容 年度内のデータ更新(地番図、家屋図異動修正) 土地評価基礎調査、骨格等図化、地目判読照合	14,647																																																																

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果																																										
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源																																											
		28	2,788	○滞納処分にかかる税充当の状況 <table> <tr> <th></th> <th>件数</th> <th>税充当金額</th> </tr> <tr> <td>所 得 税 還 付 金</td> <td>72 件</td> <td>2,371 千円</td> </tr> <tr> <td>預 貯 金</td> <td>754 件</td> <td>25,193 千円</td> </tr> <tr> <td>動 産</td> <td>37 件</td> <td>1,788 千円</td> </tr> <tr> <td>給 与</td> <td>207 件</td> <td>9,387 千円</td> </tr> <tr> <td>不 動 産</td> <td>71 件</td> <td>3,918 千円</td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td>273 件</td> <td>15,598 千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,414 件</td> <td>58,255 千円</td> </tr> </table> ○公売の状況 <table> <tr> <th></th> <th>回数</th> <th>税充当金額</th> </tr> <tr> <td>インターネット公売</td> <td>8 回</td> <td>580 千円</td> </tr> <tr> <td>合 同 公 売 会</td> <td>5 回</td> <td>517 千円</td> </tr> <tr> <td>期 間 入 札 公 売</td> <td>12 回</td> <td>26 千円</td> </tr> <tr> <td>不 動 産 公 売</td> <td>4 回</td> <td>1,820 千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>29 回</td> <td>2,943 千円</td> </tr> </table> ※件数、税充当金額については国保税等にかかる分を含む。		件数	税充当金額	所 得 税 還 付 金	72 件	2,371 千円	預 貯 金	754 件	25,193 千円	動 産	37 件	1,788 千円	給 与	207 件	9,387 千円	不 動 産	71 件	3,918 千円	そ の 他	273 件	15,598 千円	合 計	1,414 件	58,255 千円		回数	税充当金額	インターネット公売	8 回	580 千円	合 同 公 売 会	5 回	517 千円	期 間 入 札 公 売	12 回	26 千円	不 動 産 公 売	4 回	1,820 千円	合 計	29 回	2,943 千円
	件数	税充当金額																																												
所 得 税 還 付 金	72 件	2,371 千円																																												
預 貯 金	754 件	25,193 千円																																												
動 産	37 件	1,788 千円																																												
給 与	207 件	9,387 千円																																												
不 動 産	71 件	3,918 千円																																												
そ の 他	273 件	15,598 千円																																												
合 計	1,414 件	58,255 千円																																												
	回数	税充当金額																																												
インターネット公売	8 回	580 千円																																												
合 同 公 売 会	5 回	517 千円																																												
期 間 入 札 公 売	12 回	26 千円																																												
不 動 産 公 売	4 回	1,820 千円																																												
合 計	29 回	2,943 千円																																												
			14,647	システム化により評価の均衡化が図られ、公平且つ適正な課税を行うことができた。 また、平成 27 年度評価替えに向けて正確な客体の把握と基礎資料が整備できた。																																										

事 業 名	事 業 内 容	事 業 費
宅 地 評 価 鑑 定 事 業 (税務課) 【事項別明細書 130 頁】	不動産鑑定士による平成 27 年度評価替えに向けた基準日(平成 26 年 1 月 1 日現在)での鑑定評価を実施した。(244 地点) また、近年の地価下落に対応するため、基準日(平成 25 年 7 月 1 日現在)での鑑定を併せて実施した。(54 地点)	16,889
参議院議員通常選挙 (選管事務局) 【事項別明細書 134 頁】 【事項別明細書 136 頁】	任期満了に伴う、参議院議員通常選挙を執行した。 選挙すべき議員の数 1 人 公示日：平成 25 年 7 月 4 日(木) 投票日：平成 25 年 7 月 21 日(日)	22,366
長 崎 県 知 事 選 挙 (選管事務局) 【事項別明細書 136 頁】 【事項別明細書 138 頁】	任期満了に伴う、長崎県知事選挙を執行した。 選挙すべき数 1 人 告示日：平成 26 年 1 月 16 日(木) 投票日：平成 26 年 2 月 2 日(日)	17,975
平戸市長選挙・市議会議員一般選挙 (選管事務局) 【事項別明細書 138 頁】 【事項別明細書 140 頁】	任期満了に伴う、平戸市長選挙・市議会議員一般選挙を執行した。 選挙すべき数 1 人(市長)、20 人(議員) 告示日：平成 25 年 10 月 13 日(日) 投票日：平成 25 年 10 月 20 日(日)	47,797

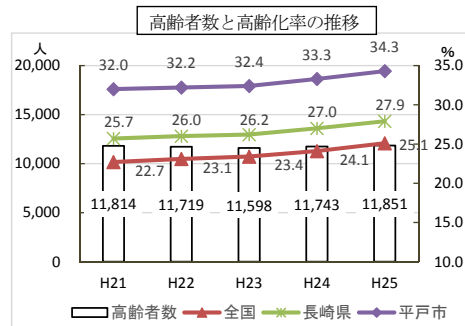
(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果																							
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源																								
			16, 889	鑑定士による鑑定評価を行うことにより、近傍市町との宅地評価の均衡が図られ、時価に応じた適正な課税が行われた。 時点修正においては、価格の下落が見られ宅地の平均価格も4. 4%減少した。																							
22, 366				選挙の結果は、下記のとおり。 ◎投票結果 (選挙区) 58. 98% (比例代表) 58. 97% <table><tr><td colspan="2"></td><td>平戸</td><td>大島</td><td>生月</td><td>田平</td></tr><tr><td colspan="2">当日有権者数 (人)</td><td>16, 649</td><td>1, 078</td><td>5, 288</td><td>5, 867</td></tr><tr><td rowspan="2">投票率 (%)</td><td>選挙区</td><td>60. 13</td><td>67. 16</td><td>60. 51</td><td>52. 82</td></tr><tr><td>比例代表</td><td>60. 12</td><td>67. 16</td><td>60. 51</td><td>52. 82</td></tr></table>			平戸	大島	生月	田平	当日有権者数 (人)		16, 649	1, 078	5, 288	5, 867	投票率 (%)	選挙区	60. 13	67. 16	60. 51	52. 82	比例代表	60. 12	67. 16	60. 51	52. 82
		平戸	大島	生月	田平																						
当日有権者数 (人)		16, 649	1, 078	5, 288	5, 867																						
投票率 (%)	選挙区	60. 13	67. 16	60. 51	52. 82																						
	比例代表	60. 12	67. 16	60. 51	52. 82																						
17, 975				選挙の結果は、下記のとおり。 ◎投票結果 53. 33% <table><tr><td colspan="2"></td><td>平戸</td><td>大島</td><td>生月</td><td>田平</td></tr><tr><td colspan="2">当日有権者数 (人)</td><td>16, 440</td><td>1, 056</td><td>5, 202</td><td>5, 825</td></tr><tr><td colspan="2">投票率 (%)</td><td>53. 73</td><td>64. 11</td><td>59. 46</td><td>44. 74</td></tr></table>			平戸	大島	生月	田平	当日有権者数 (人)		16, 440	1, 056	5, 202	5, 825	投票率 (%)		53. 73	64. 11	59. 46	44. 74					
		平戸	大島	生月	田平																						
当日有権者数 (人)		16, 440	1, 056	5, 202	5, 825																						
投票率 (%)		53. 73	64. 11	59. 46	44. 74																						
			47, 797	選挙の結果は、下記のとおり。 ◎投票結果 (市長選) 無投票 (市議選) 79. 69% <table><tr><td colspan="2"></td><td>平戸</td><td>大島</td><td>生月</td><td>田平</td></tr><tr><td colspan="2">当日有権者数 (人)</td><td>16, 492</td><td>1, 070</td><td>5, 233</td><td>5, 833</td></tr><tr><td rowspan="2">投票率 (%)</td><td>市長選</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>市議選</td><td>80. 47</td><td>87. 94</td><td>82. 86</td><td>73. 15</td></tr></table>			平戸	大島	生月	田平	当日有権者数 (人)		16, 492	1, 070	5, 233	5, 833	投票率 (%)	市長選	—	—	—	—	市議選	80. 47	87. 94	82. 86	73. 15
		平戸	大島	生月	田平																						
当日有権者数 (人)		16, 492	1, 070	5, 233	5, 833																						
投票率 (%)	市長選	—	—	—	—																						
	市議選	80. 47	87. 94	82. 86	73. 15																						

【 3 款 民生費 】

1 社会福祉費

本市の高齢化率は、県下の中でも高く、これと相まって少子化現象もさらに進行するなど、福祉を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。このため、社会全体で支える介護保険制度の円滑な運営とともに、高齢者が健康で暮らしやすいまちづくりを目指して、在宅福祉のサービスの充実に努めた。また、障害者対策については、地域の中で自立し、生活するための社会参加型の福祉サービスを実施した。



(高齢社会白書 基準日：10.1 現在)

(1) 社会福祉対策

高齢社会における地域福祉の向上を目的として、民生委員児童委員及び社会福祉協議会との連携により、積極的に市民のニーズに応じた相談、各種サービス等を提供した。

(2) 障害者福祉対策

障害者の高齢化や核家族化など、様々な状況の変化により、行政に求められるニーズも多種・多様化している現状である。また、地域生活への移行や定着のため、住む場所や就労に関する相談も増加傾向にある。平成 18 年度から、「措置」から利用者として事業所との「契約」による利用へと移行し、平成 25 年度からは、障害者総合支援法の下で、障害福祉サービスの提供を実施している。これにより、申請手続きにおいて利用者個々のサービス量や支援制度を窓口、電話、訪問で相談対応し、障害者の社会参加を促進し、安心して生活できるように支援した。また、障害者が病院や入所施設でなく地域で自立できるよう支援を行った。

(3) 高齢者福祉対策

ひとり暮らしの高齢者や介護保険の対象外となった在宅の高齢者に対し、関係機関と連携をとりながら、介護予防・生活支援事業等に積極的に取り組み、安心、安全な生活が送れるよう福祉施策を実施した。

また、高齢者が老後の生活を豊かなものにするための環境づくりとして、老人クラブの活動を支援することにより、教養の向上、地域社会との交流など、高齢者の生きがいと健康づくりに努めた。

高齢者生活福祉センターにおいては、介護支援機能、居住機能及び交流機能を総合的に提供することにより、自立的生活の助長と社会的孤立感の解消を図った。また、居住部門においては、高齢のため独立して生活することに不安のある者に対して居住施設を提供することにより、安心して生活できる環境づくりに努めた。

(4) 後期高齢者医療対策

後期高齢者医療制度に基づく療養給付費負担金のほか、低所得者に対する保険料の軽減を図るための保険基盤安定負担金、長崎県後期高齢者医療広域連合事務費負担金等の繰り出しを行い、制度の円滑な運営に努めた。

(5) 国民健康保険

国民健康保険法に基づく事務処理を行うための人件費負担のほか、低所得者に対する保険料の軽減を図るための保険基盤安定負担金、財政安定化支援事業に基づく財政支援のための繰り出し等を行い、国保財政の健全化及び税負担の平準化に努めた。

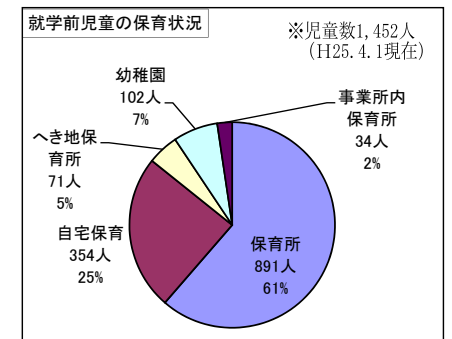
(6) 介護保険

介護保険事業を円滑に運営するため、介護保険財政基盤の安定化を推進し、介護保険法に基づく保険給付費、地域支援事業費の繰り出し等を行った。また、低所得者に対する利用負担の軽減・支援措置等を行い、公平、公正な介護サービスの提供を図った。

2 児童福祉費

(1) 児童福祉対策

次世代育成支援対策推進法に基づき策定した「平戸市次世代育成支援行動計画(後期計画)」に沿って、利用者の多様な需要に対応した保育サービスを実施する保育所に対し助成を行った。放課後対策として、保護者が就労等で家庭にいない小学校低学年の児童に対して適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全育成を図る放課後児童クラブへの活動経費の助成を行った。また、家庭相談員による各種相談・指導・助言により、家庭における児童養育の向上に努めた。さらに、要保護児童対策地域協議会を開催し、要保護児童の早期発見及び適切な保護並びに関係機関との連携、協力を図った。子育て家庭に対して、育児不安や育児ストレスによる虐待防止のための「親子講座」の開催や放課後児童クラブ施設を整備し、子育て親子の支援を行った。全地区における妊婦に対しては、未熟児養育事業として、医療費の助成を行った。定期健診時や出産時における交通費の助成についても、平成 25 年度から離島だけでなく市内全地区を対象にし、安全安心な出産のための支援を行った。また、託児ボランティアの派遣、乳児の健やかな成長と保護者の経済的負担を軽減するため育児用品の無料貸出しを行い、子育て家庭が安全安心で子育てしやすい環境づくりを行った。



(2) 母子福祉対策

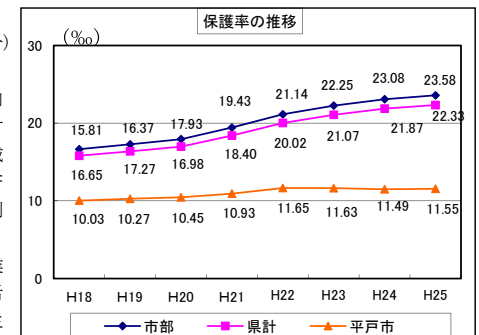
ひとり親家庭等の生活の安定と、自立の促進を目的とした児童扶養手当の認定及び支給を行った。この他、福祉資金の貸付相談、母子家庭自立支援給付事業による必要な指導助言及び家庭支援員を派遣し、育児支援や家事支援を行うなど、母子家庭等の福祉の増進に努めた。

3 生活保護費

本市の保護率(人口 1,000 人に対する保護人員割合)は、平成 23 年度以降は、ほぼ横ばいで推移している。

全国及び県内の保護世帯数についても、増加傾向であるが、平成 25 年度と平成 26 年度当初を比較すると 6 世帯 15 人減少していることから、一時的に減少するものの高齢者の増並びに公的年金制度の救済未適用者の増加等により今後は増加するものと推測される。

制度の実施については、保護相談時における失業保険や老齢年金及び障害年金受給、住宅手当、生活福祉資金の利用など他法他施策の活用による最低生活維持の可能性を検討し助言を行った。また、保護者に対しては、公的扶助を受ける権利を有するとともに、扶助費の計画的な利用や早期就労による自立、収入届出等の報告義務について被保護者が進んでこれを果たすよう指導を行った。



4 災害救助費

現に居住の用に供している建物が、災害救助法の適用基準に達しない災害により被害を受けた市民に対し、小災害見舞金の支給を行った。また、火災により死亡した者の遺族に対し、弔意を表し自立更生を助長するため弔慰金を支給した。

事業名	事業内容	事業費				
社会福祉協議会支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 144 頁】 【事項別明細書 146 頁】	多様化する福祉ニーズに応えるため、社会福祉の向上を目的とする民間組織団体である社会福祉協議会に対して、地域福祉の増進、広報活動、共同募金運動など福祉ニーズに応えるべく活動する非営利部門に対して助成した。 社会福祉協議会運営補助金 52,952 千円 社会福祉センター運営補助金 6,117 千円	59,069				
福祉健康まつり開催事業 (福祉課) 【事項別明細書 146 頁】	高齢者、障害者、児童、母子寡婦等が地域社会あるいは家庭において、温かく、ふれあいがあり、安心して生活できる環境づくりを推進するとともに、一般市民の理解と関心の高揚を図るため、各種健康相談コーナー、キッズ広場、障害者スポーツコーナー、講演会等開催する福祉健康まつりに対して助成した。 実施団体 平戸市福祉健康まつり実行委員会 参加協力団体 63 団体 講演 浄土寺 香林 亮善住職 「人は縁（えにし）の不思議に生きる」	950				
民生委員児童委員設置事業 (福祉課) 【事項別明細書 146 頁】	社会奉仕の精神を持って自主的に地域住民の福祉の増進に努めるため、社会福祉政策への協力など、広範囲にわたる活動を職務とする民生委員児童委員で構成される民生委員児童委員協議会連合会に対し、活動費等の助成を行った。 民生委員児童委員協議会連合会補助金 12,529 千円 <table><tr><td>委員数</td><td>実施団体等</td></tr><tr><td>128 名</td><td>民生委員児童委員協議会連合会</td></tr></table>	委員数	実施団体等	128 名	民生委員児童委員協議会連合会	12,723
委員数	実施団体等					
128 名	民生委員児童委員協議会連合会					
戦没者追悼事業 (福祉課) 【事項別明細書 146 頁】	先の大戦で亡くなられた方々の御霊を奉慰顕彰するとともに、未来を担う世代に継承するため、各地区遺族会などの関係団体の参加を得て設立した「平戸市戦没者慰霊奉賛会」に対し助成を行った。また、各地にある慰霊碑等維持管理に対しても助成を行った。 ① 平戸市戦没者追悼式補助金 653 千円 (平戸市戦没者慰霊奉賛会 参列者:約 380 人) ② 戦没者慰霊碑等維持管理補助金 440 千円 (平戸地区遺族会他 10 団体) ③ 長崎県追悼式参加費経費等 147 千円	1,268				

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
			59,069	社会福祉協議会の運営基盤の強化、施設の維持補修等が行われ、多様化する福祉ニーズに応えるなど、地域福祉の増進に寄与した。
			950	来場者数については、平戸くんち城下秋まつりと同日に行うことで、多くの来場者を期待していたが、増加には至らなかった。しかし、高齢者、障害者、児童、母子寡婦等が地域社会に活動情報等を発信し、参加者の生きがいづくりや市民の福祉健康に対する理解と関心の高揚に寄与することができた。 来場者数 H25：約 3,700 人 H24：約 4,700 人 H23：約 5,300 人
80			12,643	民生委員児童委員活動を支援することにより、地域住民が安心して暮らせる環境づくりに寄与した。また、民生委員の一斉改選に伴い、民生委員定数を見直し、125 名から 128 名に変更し、民生委員の担当世帯数を減らし、より地域住民と密接な関係が築けるようにした。
200		3	1,065	追悼式の開催や遺族会活動を支援することにより、大戦で亡くなられた方々の御霊を追悼するとともに、平和学習の一環として参加した児童や生徒と、あらためて平和の大切さに対する理解と意識の高揚に寄与した。

事業名	事業内容	事業費
地域生活支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 148 頁】	障害者が、自立した日常生活や社会生活を送ることができるよう特性に応じた支援を行った。 ○移動支援事業 2,256 千円 屋外での移動が困難な在宅の障害者に対するヘルパーによる移動支援 7 施設 利用人数 16 人 (延べ 94 人) ○身体障害者訪問入浴サービス事業 878 千円 在宅の肢体不自由身体障害者 1、2 級で自ら入浴が困難な者に対する訪問入浴支援 1 施設 利用人数 3 人 (延べ利用回数 78 回) ○日中一時支援事業 998 千円 在宅において介護を受けることが一時的に困難となった場合に、施設に短期入所させて行う日常訓練等の支援 3 施設 利用人数 10 人 (延べ 198 人) ○生活サポート事業 31 千円 障害程度区分非該当者に対し、ホームヘルパーの派遣による日常生活への支援 1 施設 利用人数 1 人 (延べ利用回数 23 回) ○社会参加促進事業 3,098 千円 障害者やボランティア等の交流事業を行い、生きがいを持って過ごせるよう支援 市内 5 カ所 15 回 参加人数 43 人 (延べ 124 人) ○地域活動支援センター事業 5,518 千円 障害者の社会復帰を目的とした平戸市障害者地域活動支援センター「ホープドリーム」、「はーとオアシス (松浦市)」へ助成 ○日常生活用具給付事業 8,820 千円 在宅の重度障害者に対する日常生活用具の給付 排泄管理支援用具等 660 件 ○身体障害者補助犬飼育管理助成事業 178 千円 補助犬を利用する障害者に対する飼育のために必要な経費の助成 盲導犬利用者 2 人 ○自動車改造助成事業 22 千円 身体障害者の社会参加を促進するため自動車改造助成事業費の一部を助成 利用人数 1 人	21,799
心身障害者福祉タクシー助成事業 (福祉課) 【事項別明細書 148 頁】	社会活動の範囲を広め福祉向上を図るため、在宅の心身障害者で、車椅子常用者、知的障害者、視覚障害者に対し、市内のタクシー業者を利用する場合、基本料金の 9 割助成を行った。 車椅子常用者 31 人 (延べ 538 件) 227 千円 知的障害者 5 人 (延べ 75 件) 34 千円 視覚障害者 11 人 (延べ 264 件) 115 千円	376

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
10,207		13	11,579	障害者の行動範囲の拡大などによる日常生活向上や地域での自立が支援され、社会参加の促進と生きがいづくりに寄与することができた。
			376	障害者の社会活動の範囲が広がり、障害者の福祉向上に寄与することができた。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費
身体障害者交通船 旅客運賃助成事業 (福祉課) 【事項別明細書 148 頁】	第 2 種身体障害者手帳所持者に対し、社会参加とその軽減を図るため交通船旅客運賃の 4 割助成を行った。 大島～平戸 65 人 (延べ 1,507 件) 377 千円 度島～平戸 4 人 (延べ 278 件) 66 千円	443
福祉医療給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 148 頁】 【事項別明細書 150 頁】 【事項別明細書 164 頁】	福祉の増進及び負担軽減のため、心身障害者、乳幼児、母子家庭等における母と子及び寡婦等に対して、医療費の助成を行った。 ○扶助費 154,119 千円 乳幼児 <29,653 千円> 母子家庭等 < 9,786 千円> 障害 1・2 級 <39,558 千円> 療育 A1・2 < 9,076 千円> 老人 <38,838 千円> 障害 3 級 < 9,274 千円> 療育 B1 < 2,171 千円> 単独(障害 4 級・療育 B2・老人 3・4 級 B1) <15,763 千円> ○事務費 3,943 千円	158,062
ひらどふれあい福祉事業 (福祉課) 【事項別明細書 150 頁】 【事項別明細書 154 頁】	地域福祉向上のため、ひらどふれあい福祉基金を活用し、社会福祉活動団体に対して助成した。 健康・生きがいづくり推進事業 実施団体：田平町身体障害者福祉協会 71 千円 実施団体：平戸市グラウンドゴルフ協会 50 千円 実施団体：手をつなぐ育成会 88 千円 実施団体：ふれあいいきいきサロン連絡会 300 千円	509

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果																																								
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源																																									
			443	離島に住んでいる障害者の社会活動の範囲が広がり、障害者の福祉向上に寄与することができた。																																								
70,233		5	87,824	心身機能の障害で日常生活に支障がある者、乳幼児、母子家庭等の経済的負担の軽減ができた。 ○支給件数の推移 (単位：件) <table> <tr> <th></th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> </tr> <tr> <td>乳 幼 児</td> <td>23,688</td> <td>22,708</td> <td>22,926</td> </tr> <tr> <td>母子家庭等</td> <td>4,261</td> <td>4,032</td> <td>3,348</td> </tr> <tr> <td>障害 1・2</td> <td>6,701</td> <td>6,806</td> <td>6,609</td> </tr> <tr> <td>療育 A1・2</td> <td>2,068</td> <td>1,833</td> <td>2,084</td> </tr> <tr> <td>老 人</td> <td>6,706</td> <td>6,250</td> <td>6,665</td> </tr> <tr> <td>障 害 3</td> <td>2,248</td> <td>2,344</td> <td>2,619</td> </tr> <tr> <td>療 育 B 1</td> <td>875</td> <td>913</td> <td>902</td> </tr> <tr> <td>単 独</td> <td>5,540</td> <td>6,131</td> <td>5,224</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>52,087</td> <td>51,017</td> <td>50,377</td> </tr> </table>		23 年度	24 年度	25 年度	乳 幼 児	23,688	22,708	22,926	母子家庭等	4,261	4,032	3,348	障害 1・2	6,701	6,806	6,609	療育 A1・2	2,068	1,833	2,084	老 人	6,706	6,250	6,665	障 害 3	2,248	2,344	2,619	療 育 B 1	875	913	902	単 独	5,540	6,131	5,224	合 計	52,087	51,017	50,377
	23 年度	24 年度	25 年度																																									
乳 幼 児	23,688	22,708	22,926																																									
母子家庭等	4,261	4,032	3,348																																									
障害 1・2	6,701	6,806	6,609																																									
療育 A1・2	2,068	1,833	2,084																																									
老 人	6,706	6,250	6,665																																									
障 害 3	2,248	2,344	2,619																																									
療 育 B 1	875	913	902																																									
単 独	5,540	6,131	5,224																																									
合 計	52,087	51,017	50,377																																									
		509		日頃外出する機会が少ない障害者が、福祉施設等の視察研修や交流を通じて、仲間や生きがいづくりなどの社会参加を促進することができた。また、ふれあいいきいきサロン会員や、住民を対象に誰もが集うことができる居場所づくりを推進、サロンの充実を図るため、研修を行い各地域での参加者の介護予防、生きがいづくり、仲間づくりの輪が広がり、以って地域福祉の増進につながった。																																								

事業名	事業内容	事業費
障害者自立支援給付費等事業 (福祉課) 【事項別明細書 150 頁】	障害者自立支援法に基づき、障害者の自立を支援するため、特性に応じた障害福祉サービスを行った。 ○補装具給付事業 7,012千円 身体機能を補うために、車椅子や補聴器等の補装具の交付、修理費用の給付 交付 69件 修理 41件 ○介護給付サービス事業 579,742千円 在宅の障害者に対して、ホームヘルパーの派遣や短期入所事業、通所生活介護事業の給付、生活訓練等を必要とする者や家庭において必要な介護を受けられない障害者に対する、施設入所や通所サービス等の給付 居宅介護事業 11施設 82人 (延べ 754人) 49,959千円 短期入所事業 3施設 10人 (延べ 66人) 4,359千円 生活介護事業 47施設 153人 (延べ1,802人) 262,532千円 療養介護事業 5施設 13人 (延べ 155人) 51,951千円 入所支援施設 27施設 116人 (延べ1,343人) 125,862千円 ケアホーム 28施設 63人 (延べ 682人) 85,079千円 ○訓練等給付サービス事業 316,623千円 身体機能等の向上のための自立訓練や、一般企業等での就労が困難な人に働く場の提供、知識及び能力の向上のために必要な訓練給付。グループホームでは、地域の中で生活を望むものに対し、共同生活を営みながら生活支援の給付 自立訓練 14施設 32人 (延べ 286人) 32,034千円 就労移行支援 9施設 13人 (延べ 87人) 16,002千円 就労継続支援 40施設 178人 (延べ 1,814人) 239,024千円 グループホーム 20施設 36人 (延べ 371人) 29,563千円 ○相談支援事業 1,337千円 障害者福祉サービスの、個別の利用計画作成の支援 12事業所27人 (延べ 76人)	904,714
障害児支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 150 頁】	障害児の療育の場を提供し、障害児とその保護者に対し指導や育成を図った。 児童発達支援 1施設 22人 (延べ 389人) 3,044千円 放課後等デイサービス 4施設 32人 (延べ1,226人) 9,046千円	12,090

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
677,926			226,788	障害者の身体機能の回復や生活能力の向上等が図られ、障害者の自立や集団生活への適応、就労に向けた支援等に寄与することができた。 また、介護者の身体的、精神的な援助等にも寄与することができた。
9,067			3,023	幼年期より、日常生活における基本的な動作、集団生活への適応、生活能力向上のための訓練等を通じて障害児の自立促進に寄与した。

事業名	事業内容	事業費
更生医療給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 150 頁】	身体の機能障害を軽減するために行う医療費について助成を行った。 人工透析 120 人 (延べ 2,058 件) 52,402 千円 心臓 7 人 (延べ 53 件) 5,308 千円 身体障害 2 人 (延べ 6 件) 151 千円 免疫障害 2 人 (延べ 19 件) 2,206 千円	60,067
特別障害者手当等 給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 152 頁】	重度の障害による特別な負担の軽減を図るため、在宅の重度身体障害者（児）に対し、手当の支給を行った。 特別障害者手当 65 人 (延べ 778 人) 20,384 千円 障害児福祉手当 14 人 (延べ 168 人) 2,394 千円 経過福祉手当 2 人 (延べ 26 人) 370 千円	23,148
自立支援協議会運営事業 (福祉課) 【事項別明細書 152 頁】	地域の障害者自立支援に携わる関係者が、個別の相談支援の事例を通じて明らかになった地域の課題を共有し、それを踏まえて地域のサービス基盤の整備に努めた。 委員会開催 (1 回) 委員 12 名	49
育成医療給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 152 頁】	身体に障害のある子どもや疾患を放置すれば将来障害を残すと認められる子どものうち、その障害が取り除かれる見込がある場合に、必要な医療給付を行った。 83 件	1,008
療育支援センター 管理運営事業 (福祉課) 【事項別明細書 152 頁】	障害者自立支援法に規定する児童デイサービスを行う療育支援センターの管理運営について、指定管理による適正管理に努めた。 施設名 平戸市療育支援センター「あったかさん 21」 指定管理者 社会福祉法人親愛会 指定管理料 6,500 千円	6,500
高齢者見守りネットワーク事業 (福祉課) 【事項別明細書 154 頁】	地域全体で高齢者に対する見守りや声かけ等の活動を行い、安否を日常的に確認し、異常者を発見したときに迅速に対応できる体制の確保を行った。 協力機関事業所数 14 事業所 サポーター登録数 25 名 見守り対象高齢者数 67 名	304
敬老行事開催支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 154 頁】	老人の日、老人週間の取組みの一環として、各地区において開催される敬老会に高齢者の人数に応じて交付金の支給を行った。 対象者 75 歳以上 6,002 人	6,009

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
45,050			15,017	機能障害を軽減するとともに、障害者の医療費負担軽減がなされた。
17,340			5,808	重度障害による経済的負担の軽減がなされた。
			49	地域の障害者自立支援に携わる関係者が、地域のサービス基盤の整備を着実に進め、加えてサービスの質の向上を図るための体制やネットワークが強化された。
756			252	障害のある児童に対し、早期治療により、障害と医療費負担が軽減された。
			6,500	民間事業者の能力を活用し、利用者のニーズにあったサービスが提供され療育を必要とする利用者への支援が強化された。
			304	高齢者見守りサポーター及び事業所の協力により、独居等の高齢者の安否確認、地域コミュニティの安心安全を確保することができた。 サポーター登録数の推移 H24 30 名、H25 25 名
			6,009	身近な地域の人達による敬老会の開催を支援することにより、敬老精神の高揚が図られ、また、高齢者の生きがいづくりに寄与することができた。

事 業 名	事 業 内 容	事 業 費
敬老祝金給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 154 頁】	長寿を祝福し、敬老の意を表するため、平戸市内に居住する高齢者に対し、祝金の支給を行った。 敬老祝金 (満 77 歳) 506 人 (満 88 歳) 229 人 長寿祝金 (100 歳) 26 人	7, 835
老人クラブ活動等 支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 154 頁】	地域における高齢者の生活を健全で豊かなものにするため、老人クラブ連合会及び単位老人クラブに対し、活動を推進するための運営費の一部を助成した。 単位老人クラブ (65 クラブ) 3, 718 千円 平戸市老人クラブ連合会 2, 703 千円 〃 世代間交流事業 240 千円	6, 661
ワンコインまごころサービス事業 (福祉課) 【事項別明細書 156 頁】	在宅高齢者等の既存の公的サービスで対応できない「簡易な困りごと」を移動時間を含め、1 時間以内の業務を 500 円の利用料で対応した。 委託先 シルバー人材センター 対応件数 26 件	108
緊急通報装置貸与事業 (福祉課) 【事項別明細書 156 頁】	緊急時の適切な対応を図るため、ひとり暮らしの高齢者等に対し、緊急通報装置を貸与した。 貸与台数 392 台 (平成 26 年 3 月末現在) (内訳) 平戸 228 台 生月 46 台 田平 77 台 大島 41 台	5, 422
高齢者デイサービス事業 (福祉課) 【事項別明細書 156 頁】	社会的孤立感の解消、自立生活の助長を図るため、在宅のひとり暮らしの高齢者等に対し、通所による生活指導、機能訓練及び給食サービス等を実施した。 登録者数 28 人 (H26. 3 末) 延べ利用回数 1, 156 回	2, 225
在宅寝たきり高齢者等介護見舞金支給事業 (福祉課) 【事項別明細書 156 頁】	介護の労をねぎらうため、寝たきり高齢者等を常時介護している者に対し、介護見舞金の支給を行った。 支給人数 47 人 (内訳) 平戸 35 人 生月 4 人 田平 4 人 大島 4 人	1, 175
高齢者・障害者住宅改造助成事業 (福祉課) 【事項別明細書 156 頁】	高齢者(要介護者及び要支援者)または重度障害者の日常生活を容易にし、介護者の負担を軽減するため、高齢者等の住宅改造に対し助成を行った。 高齢者 13 件 1, 210 千円	1, 210

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
			7, 835	高齢者の福祉の向上と市民への敬老思想の高揚に寄与した。
3, 478			3, 183	高齢者の教養の向上、健康の増進、地域社会における世代間の交流など、高齢者福祉の増進に寄与した。
			108	簡単な困りごとをワンコインで依頼し、問題を解決することにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活することができた。 対応件数の推移 H24 56 件、H25 26 件
	4, 800		622	緊急時の迅速な対応や安否確認、また、普段の生活の心配事、悩み事の相談に応じるなど、日常生活を支援することにより、対象者が安心して在宅生活を送ることができた。
	2, 000		225	自立生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上に寄与した。
		1, 175		介護者の労をねぎらうことができ、また、寝たきり高齢者等の福祉の増進に寄与した。
603			607	高齢者及び障害者の日常生活を容易にし、介護者や家族の負担を軽減するとともに、安心して快適に自立した生活を送ることができる環境に寄与した。

事業名	事業内容	事業費																				
度島いきいきプラザ（仮称）整備事業（福祉課） 【事項別明細書 156 頁】	度島診療所及び医師住宅の建替えに併せ、介護予防施設を併設し整備を行った。 鉄筋コンクリート造 平屋建 建築面積 118.75㎡	51,083																				
老人保護措置事業（福祉課） 【事項別明細書 158 頁】	概ね 65 歳以上の老人で、環境上及び経済的理由のため、在宅生活が困難な者を対象に、養護老人ホームに入所させ養護した。 ○入所者の状況（平成 26 年 3 月末現在） <table><tr><th>施設名</th><th>入所人員</th></tr><tr><td>光の園</td><td>50 名</td></tr><tr><td>しかまち</td><td>26 名</td></tr><tr><td>グリーンホーム</td><td>6 名</td></tr><tr><td>ソレイユ</td><td>2 名</td></tr><tr><td>恵の丘</td><td>2 名</td></tr><tr><td>光明荘</td><td>1 名</td></tr><tr><td>湧泉荘</td><td>1 名</td></tr><tr><td>延命園</td><td>1 名</td></tr><tr><td>合計</td><td>89 名</td></tr></table>	施設名	入所人員	光の園	50 名	しかまち	26 名	グリーンホーム	6 名	ソレイユ	2 名	恵の丘	2 名	光明荘	1 名	湧泉荘	1 名	延命園	1 名	合計	89 名	200,758
施設名	入所人員																					
光の園	50 名																					
しかまち	26 名																					
グリーンホーム	6 名																					
ソレイユ	2 名																					
恵の丘	2 名																					
光明荘	1 名																					
湧泉荘	1 名																					
延命園	1 名																					
合計	89 名																					
後期高齢者医療療養給付事業（市民課） 【事項別明細書 160 頁】	被保険者の医療給付費の市負担分を長崎県後期高齢者医療広域連合に対し負担した。	513,807																				
家庭児童相談事業（福祉課） 【事項別明細書 162 頁】	家庭相談員を設置し、家庭生活及び家庭における子どもの養育についての各種相談・指導・助言を行い、相談指導業務の充実強化を図った。 家庭相談員 1 名 相談件数 1,855 件 ケース検討会 33 回	1,721																				
放課後児童クラブ運営支援事業（福祉課） 【事項別明細書 162 頁】	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童の放課後対策のため、放課後児童クラブへの活動経費に対して施設整備費の助成を行った。また、放課後児童クラブに入所している母子家庭等の児童に対し、保育料の負担軽減を行った。 ○放課後児童クラブ事業補助金 4カ所（平戸2 生月1 田平1） 14,454 千円 登録児童数 131 人 利用人数 延べ 22,765 人 ○夏休み放課後児童クラブ事業費補助金 1カ所 400 千円 開設期間 平成 25 年 7 月 22 日～平成 25 年 8 月 23 日 （土・日、お盆を除く 22 日間） 開設者 トコトコ ○放課後対策母子家庭等児童助成事業補助金 1,705 千円 対象児童数 45 人、 利用人数 延べ 428 人	16,559																				

財 源 内 訳				事業の成果															
国県支出金	地方債	その他	一般財源																
9,500	40,300		1,283	施設建設に伴い、医療供給体制の充実と福祉・介護サービスの提供を行うことで、医療・福祉・介護の連携が可能となった。															
		25,848	174,910	入所者本人や家族の不安解消と、生活の安定につながった。															
			513,807	後期高齢者医療被保険者の医療給付費の市負担分を負担し、後期高齢者医療制度の安定した運営に寄与した。															
		7	1,714	家庭における人間関係の健全化及び子どもの養育の適正化等家庭児童福祉が向上した。															
10,688			5,871	保護者が昼間家庭にいない児童に授業終了後または休暇期に、適切な遊び場及び生活の場を与えることで、放課後における児童の健全育成や安全対策、また、母子家庭等における保育料の負担軽減に寄与した。 ○登録児童数の推移 （各年度 3 月末現在） <table border="1"> <tr> <th></th><th>22 年度</th><th>23 年度</th><th>24 年度</th><th>25 年度</th></tr> <tr> <td>児童数</td><td>100 人</td><td>134 人</td><td>105 人</td><td>131 人</td></tr> <tr> <td>クラブ数</td><td>2</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td></tr> </table> ※トコトロ児童クラブ（夏期を含む）		22 年度	23 年度	24 年度	25 年度	児童数	100 人	134 人	105 人	131 人	クラブ数	2	3	3	4
	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度															
児童数	100 人	134 人	105 人	131 人															
クラブ数	2	3	3	4															

事業名	事業内容	事業費
離島地域安心出産支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 164 頁】	産婦人科がない離島地域に在住する妊婦に対して、妊娠・出産にかかる交通費等の助成を行い、経済的な負担を軽減し、安全安心な出産の支援を図った。 受給者数 2 人	84
ノーバディーズパーフェクトプログラム事業 (福祉課) 【事項別明細書 164 頁】	育児不安や育児ストレスによる虐待を防ぐことを目的に、子育て中の親を支援するためのプログラム事業（親育ち講座）を実施した。 3 カ所（平戸 2 田平 1） 参加者 27 人	63
子育て親社会参加促進事業 (福祉課) 【事項別明細書 164 頁】	講演会などへ託児ボランティアの派遣等を行った。 ○子育て親社会参加促進事業 講演会 19 回 ボランティア数 延べ 70 人 児童数 延べ 61 人	141
次世代育成支援対策事業 (福祉課) 【事項別明細書 164 頁】	小学校低学年児童の放課後の居場所づくりや、子育ての負担感を緩和し、安心して子育てができるよう環境整備に対する助成を行った。 ○子育てひろば支援事業 9,999 千円 実施箇所数 1 園（平戸 1）1 カ所（田平 1） ○小学校低学年児童受入事業 2,000 千円 実施箇所数 5 園（平戸）	11,999
未熟児養育医療給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 164 頁】 【事項別明細書 166 頁】	母子保健法第 20 条に基づき、身体の発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする乳児が指定医療機関において、入院治療を受ける場合の医療費を負担した。 給付実人数 4 名	1,353
安心出産支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 166 頁】	離島を除く市内に住所を有する妊婦に対し、妊婦検査（14 回）のための交通費の一部を助成した。助成額については、平戸市から一番近い産婦人科までの自家用車利用時の燃料相当分を妊婦検診受診回数に応じ支給した。 北部地区 71 名 生月壱部地区 4 名 中部地区 19 名 生月館浦地区 4 名 南部地区 27 名 田平地区 50 名 計 175 名	1,081

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果												
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源													
			84	妊娠・出産に係る費用の一部を助成することで、経済的な負担軽減を行い、母子ともに健全な出産に寄与した。												
			63	親の不安感を取り除き、子育てに自信をつけてもらうことができ、虐待等の防止につながった。												
		141		子育て家庭において、社会的な活動に参加しやすい環境づくりに寄与した。												
4,999			7,000	仕事等の社会的活動と子育て等の家庭生活との両立を容易にするとともに、子育ての負担を緩和することができた。 ○事業実施箇所数の推移 (単位：箇所) <table><tr><th>区 分</th><th>23 年度</th><th>24 年度</th><th>25 年度</th></tr><tr><td>子育てひろば支援</td><td>1</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>小学校低学年児童受入</td><td>6</td><td>6</td><td>5</td></tr></table>	区 分	23 年度	24 年度	25 年度	子育てひろば支援	1	2	2	小学校低学年児童受入	6	6	5
区 分	23 年度	24 年度	25 年度													
子育てひろば支援	1	2	2													
小学校低学年児童受入	6	6	5													
225		217	911	入院治療に要する医療費の補助により、経済的負担を軽減することができた。												
			1,081	妊婦の経済的負担を軽減することができた。												

事 業 名	事 業 内 容	事 業 費
保育対策等促進事業 (福祉課) 【事項別明細書 166 頁】	核家族化の進行や就労形態の変化等に伴う多様な保育ニーズに対応するため、各種保育事業に対する助成を行った。 ○休日保育事業 1,410 千円 実施箇所数 1 園 (平戸 1) ○病児・病後児保育事業 12,930 千円 実施箇所数 3 園 (平戸 2、田平 1) ○延長保育事業 55,178 千円 実施箇所数 13 園 (平戸 10、田平 3)	69,518
障害児保育事業 (福祉課) 【事項別明細書 166 頁】	障害児の保育促進のため、保育に欠ける障害児の受け入れを行う保育所に対して助成を行った。 実施箇所数 7 園 (平戸 5、田平 2)	6,956
保育士等処遇改善事業 (福祉課) 【事項別明細書 166 頁】	保育所運営費の民間施設給与等改善を基礎に、保育士等の処遇改善に要する費用を私立保育所に交付した。	23,514
児童手当給付事業 (福祉課) 【事項別明細書 168 頁】	児童の健やかな成長に資するため、0 歳から 15 歳までの児童を養育する者に対し、児童手当を支給した。 児童が 0～3 歳未満の被用者 延べ 4,231 人 児童が 0～3 歳未満の非被用者 延べ 2,444 人 児童が 3 歳以上～小学校終了前の児童の被用者 延べ 16,188 人 児童が 3 歳以上～小学校終了前の児童の非被用者 延べ 9,320 人 児童が小学校終了後～中学校終了前 延べ 10,890 人 特例給付 延べ 444 人	497,360

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果																
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源																	
46,345			23,173	核家族化の進行や就労形態の変化等に伴う多様な保育ニーズに対応し、保護者が安心して就労や子育てができる環境づくりに寄与することができた。 ○事業実施箇所数の推移 (単位：箇所) <table> <tr> <th>区 分</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> </tr> <tr> <td>休日保育</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>病児・病後児保育</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>延長保育</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>13</td> </tr> </table>	区 分	23 年度	24 年度	25 年度	休日保育	1	1	1	病児・病後児保育	3	3	3	延長保育	14	14	13
区 分	23 年度	24 年度	25 年度																	
休日保育	1	1	1																	
病児・病後児保育	3	3	3																	
延長保育	14	14	13																	
			6,956	保育に欠ける障害児の保護者の子育ての負担を緩和することができた。 ○事業実施箇所数の推移 (単位：箇所) <table> <tr> <th>区 分</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> </tr> <tr> <td>障害児保育</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> </table>	区 分	23 年度	24 年度	25 年度	障害児保育	4	8	7								
区 分	23 年度	24 年度	25 年度																	
障害児保育	4	8	7																	
23,510		2	2	一時金として保育士等へ支給されたことにより、保育士等の賃金が改善された。																
419,293			78,067	次世代の社会を担う児童の健やかな成長に資することができた。 ○区分毎の受給者数（平成 26 年 2 月末現在）（単位：人） <table> <tr> <th>区 分</th> <th>25 年度</th> </tr> <tr> <td>児童が 0～3 歳未満の被用者</td> <td>306</td> </tr> <tr> <td>児童が 0～3 歳未満の非被用者</td> <td>183</td> </tr> <tr> <td>児童が 3 歳以上～小学校終了前の被用者</td> <td>861</td> </tr> <tr> <td>児童が 3 歳以上～小学校終了前の非被用者</td> <td>485</td> </tr> <tr> <td>児童が小学校終了後～中学校終了前</td> <td>802</td> </tr> </table> ※受給者総数 1,975 人	区 分	25 年度	児童が 0～3 歳未満の被用者	306	児童が 0～3 歳未満の非被用者	183	児童が 3 歳以上～小学校終了前の被用者	861	児童が 3 歳以上～小学校終了前の非被用者	485	児童が小学校終了後～中学校終了前	802				
区 分	25 年度																			
児童が 0～3 歳未満の被用者	306																			
児童が 0～3 歳未満の非被用者	183																			
児童が 3 歳以上～小学校終了前の被用者	861																			
児童が 3 歳以上～小学校終了前の非被用者	485																			
児童が小学校終了後～中学校終了前	802																			

事 業 名	事 業 内 容	事 業 費
保 育 所 運 営 事 業 (福祉課) 【事項別明細書 168 頁】	保育に欠ける児童を保育する市内の民間保育所及び市外の保育所 に対し、運営費を助成した。 民間保育所 29 カ所 (市内 15 カ所、市外 14 カ所) 延べ在籍児童数 10,598 人	939,940
母子自立支援員設置事業 (福祉課) 【事項別明細書 168 頁】	母子自立支援員を設置し、ひとり親家庭等に対し自立支援に必要な 相談指導、求職活動に関する支援を行った。 母子自立支援員 1 名 相談件数 10,598 件	1,662
母子家庭自立支援 給付金事業 (福祉課) 【事項別明細書 168 頁】	母子家庭の就業支援対策として、ホームヘルパー等の資格取得にか かる経費への支援及び看護師等の高度な資格取得のための訓練期間 中に給付金を支給した。 高等技能訓練促進費 2 人 (看護師 1 人、社会福祉士 1 人)	1,178
児童扶養手当給付 事業 (福祉課) 【事項別明細書 168 頁】	父母の離別などにより、ひとり親家庭等の生活安定と児童の福祉増 進を図るため、児童扶養手当を支給した。 受給者数 内訳 全部支給者 延べ支給人数 2,077 人(うち父子 229 人) 一部支給者 延べ支給人数 1,833 人(うち父子 367 人) 第 2 子加算 延べ支給人数 1,688 人(うち父子 233 人) 第 3 子加算 延べ支給人数 598 人(うち父子 105 人)	151,244
ひとり親家庭等日 常生活支援事業 (福祉課) 【事項別明細書 168 頁】 【事項別明細書 170 頁】	修学等自立の促進や社会的な事由等により、日常生活を営むのに支 障を生じているひとり親家庭等に対して、生活支援員を派遣し、家事 支援、子育て支援を行った。 生活支援 利用回数 2 回 利用人数 1 人	69

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果																				
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源																					
527,175		208,114	204,651	児童の心身の健全な発達と家庭における仕事と子育ての両立に寄与することができた。																				
335		7	1,320	ひとり親家庭等の生活の安定と向上を図り、自立支援ができた。																				
883			295	母子家庭の母が、自主的に就業能力を習得することにより、就職や経済的な自立への促進につながった。 ○利用者数の推移 (単位：人) <table> <tr> <th>区 分</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> </tr> <tr> <td>教 育 訓 練 給 付 金</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>高等技能訓練促進費</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> </table>	区 分	23 年度	24 年度	25 年度	教 育 訓 練 給 付 金	1	1	0	高等技能訓練促進費	3	4	2								
区 分	23 年度	24 年度	25 年度																					
教 育 訓 練 給 付 金	1	1	0																					
高等技能訓練促進費	3	4	2																					
49,943			101,301	母子家庭等における家庭生活の安定と経済的な自立への促進につながった。 ○受給者数の推移 (各年度 11 月末現在) (単位：人) <table> <tr> <th>区 分</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> </tr> <tr> <td>全 部 支 給 者</td> <td>194(18)</td> <td>181(21)</td> <td>161(16)</td> </tr> <tr> <td>一 部 支 給 者</td> <td>158(30)</td> <td>156(28)</td> <td>160(34)</td> </tr> <tr> <td>全 部 停 止 者</td> <td>31(8)</td> <td>27(7)</td> <td>28(7)</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>383(56)</td> <td>364(56)</td> <td>349(57)</td> </tr> </table> () はうち父子家庭数	区 分	23 年度	24 年度	25 年度	全 部 支 給 者	194(18)	181(21)	161(16)	一 部 支 給 者	158(30)	156(28)	160(34)	全 部 停 止 者	31(8)	27(7)	28(7)	合 計	383(56)	364(56)	349(57)
区 分	23 年度	24 年度	25 年度																					
全 部 支 給 者	194(18)	181(21)	161(16)																					
一 部 支 給 者	158(30)	156(28)	160(34)																					
全 部 停 止 者	31(8)	27(7)	28(7)																					
合 計	383(56)	364(56)	349(57)																					
50			19	ひとり親家庭等の福祉の増進に資することができた。																				

事業名	事業内容	事業費																																
へき地保育所運営事業 (福祉課) 【事項別明細書 170 頁】	保育に欠ける児童のため、へき地における保育を要する児童に対して、平戸市社会福祉協議会を指定管理者に指定し、必要な保育を行った。 (平成 26 年 3 月 1 日現在) <table><tr><th>区 分</th><th>定員</th><th>入所児童数</th><th>延べ利用人数 (月×12)</th></tr><tr><td>度島町へき地保育所</td><td>50 人</td><td>20 人</td><td>240 人</td></tr><tr><td>根獅子町へき地保育所</td><td>35 人</td><td>7 人</td><td>84 人</td></tr><tr><td>木ヶ津町恵へき地保育所</td><td>40 人</td><td>3 人</td><td>46 人</td></tr><tr><td>早福町へき地保育所</td><td>20 人</td><td>6 人</td><td>70 人</td></tr><tr><td>志々伎町へき地保育所</td><td>30 人</td><td>14 人</td><td>164 人</td></tr><tr><td>野子町へき地保育所</td><td>30 人</td><td>22 人</td><td>264 人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>205 人</td><td>72 人</td><td>868 人</td></tr></table>	区 分	定員	入所児童数	延べ利用人数 (月×12)	度島町へき地保育所	50 人	20 人	240 人	根獅子町へき地保育所	35 人	7 人	84 人	木ヶ津町恵へき地保育所	40 人	3 人	46 人	早福町へき地保育所	20 人	6 人	70 人	志々伎町へき地保育所	30 人	14 人	164 人	野子町へき地保育所	30 人	22 人	264 人	合 計	205 人	72 人	868 人	50,878
区 分	定員	入所児童数	延べ利用人数 (月×12)																															
度島町へき地保育所	50 人	20 人	240 人																															
根獅子町へき地保育所	35 人	7 人	84 人																															
木ヶ津町恵へき地保育所	40 人	3 人	46 人																															
早福町へき地保育所	20 人	6 人	70 人																															
志々伎町へき地保育所	30 人	14 人	164 人																															
野子町へき地保育所	30 人	22 人	264 人																															
合 計	205 人	72 人	868 人																															
生活保護事業 (福祉課) 【事項別明細書 174 頁】	生活保護法に基づき、被保護者に対し、最低生活を保障するとともにその自立を支援した。 ○平成 26 年 3 月末現在 被保護世帯数 299 世帯 被保護人員 372 人 生活扶助 159,686 千円 住宅扶助 17,537 千円 教育扶助 1,530 千円 医療扶助 469,441 千円 介護扶助 16,220 千円 生業扶助 120 千円 葬祭扶助 237 千円 施設事務費 1,919 千円	666,690																																

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果																																			
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源																																				
6, 000	37, 600	2, 562	4, 716	交通条件及び自然的諸条件に恵まれない山間地、離島等において、へき地保育所を運営することにより、へき地における児童福祉の向上に寄与した。 ○入所児童数の推移（各年度3月1日現在）（単位：人） <table> <tr> <th>区 分</th> <th>23 年度</th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> </tr> <tr> <td>度島町へき地保育所</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>根獅子町へき地保育所</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>木ヶ津町恵へき地保育所</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>早福町へき地保育所</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>志々伎町へき地保育所</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>野子町へき地保育所</td> <td>15</td> <td>19</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>72</td> <td>74</td> <td>72</td> </tr> </table>				区 分	23 年度	24 年度	25 年度	度島町へき地保育所	20	20	20	根獅子町へき地保育所	15	11	7	木ヶ津町恵へき地保育所	5	3	3	早福町へき地保育所	5	6	6	志々伎町へき地保育所	12	15	14	野子町へき地保育所	15	19	22	合 計	72	74	72
区 分	23 年度	24 年度	25 年度																																				
度島町へき地保育所	20	20	20																																				
根獅子町へき地保育所	15	11	7																																				
木ヶ津町恵へき地保育所	5	3	3																																				
早福町へき地保育所	5	6	6																																				
志々伎町へき地保育所	12	15	14																																				
野子町へき地保育所	15	19	22																																				
合 計	72	74	72																																				
509, 266		2, 473	154, 951	生活困窮者に対し、必要な保護を実施することにより、自立助長を促すことができた。																																			

【 4 款 衛生費 】

1 保健衛生費

少子化、核家族化に伴い、子育てに不安を持つ親への支援、乳幼児の健康診査への受診勧奨や指導を行った。

また、昨今の超高齢社会において、「自分の健康は、自分でつくるもの」を目標に、健康保持増進のための各種健(検)診、健康教育、感染症予防対策等の事業を行った。

(1) 保健衛生総務費

核家族化が進行し、身近に助言者がいないなど、育児不安をもつ親が増えている中、安心して笑顔で子育てができるまちづくりを目指し、育児について様々な相談ができる場を提供するとともに、異常の早期発見のための健康診査の実施、保健指導、医療への受診勧奨等の措置を講じた。

また、休日等における救急医療対策として、平戸市医師会へ委託し、在宅当番医制による初期救急医療体制の確保を行うとともに、休日・夜間等の重症救急患者の医療確保のため、3市1町(佐世保市、松浦市、平戸市、佐々町)で構成する佐世保県北医療圏における病院群輪番制病院運営事業により、二次救急医療体制の確保を行った。

(2) 予防費

感染症の発生やまん延予防を目的に、市民への衛生思想の啓発活動、予防接種法に基づいた定期予防接種及び子どものインフルエンザの予防接種事業を実施した。

(3) 健康増進費

市民の健康寿命の延伸を目標として、健康増進法等に基づいた健康教育、健康相談、各種健(検)診、訪問指導等を実施した。

(4) 環境衛生費

不法投棄のパトロールを実施し、散乱ごみの回収を行い環境保全に努めた。花とみどりのふるさとづくり推進のため、フラワー街道やプランター植栽による緑化事業並びに公共施設等に花いっぱい運動用の花苗の配布を行った。また、松浦斎苑の利用に際し、田平地区住民に対し田平地区斎場利用支援事業により補助を行った。

また、自然エネルギーの利用を促進することで、地球温暖化防止及び新エネルギーの導入を推進するため、住宅用太陽光発電システムの設置に係る費用の一部助成を行った。

(5) 公害対策費

公害防止の観点から公共用水域の水質測定を行い水質汚濁防止の監視に努めた。また、騒音防止対策として、権限委譲に基づく主要道路の自動車騒音状況を面的に測定し、環境騒音の監視を行った。

(6) 飲料水供給施設管理費

高島地区における飲料水供給施設の維持管理を行い、安全な飲料水の安定供給を図った。

2 清掃費

(1) 清掃総務費

一般廃棄物の中間処理について、北松北部クリーンセンターにおいて適正な処理を行い、清潔で住みよい生活環境の保全が図られた。また、平戸市環境保全監視委員会を設置し、平戸市総合衛生センター最終処分場について適正な管理により、地域住民の安心と信頼を維持できた。

(2) 塵芥処理費

一般廃棄物処理計画に基づき、適正なごみ収集運搬を行うとともに、大島地区のごみ処理施設及び市内の最終処分場施設の維持管理に努めた。また、再資源物の回収に対する助成を行い廃棄物の減量化対策を実施した。廃棄物及び資源物の円滑な処理体制を図る為、生月・田平地区の旧ごみ焼却施設解体跡地に海岸漂着物等の一時保管を目的としてストックヤードを整備した。県の海岸漂着物対策基金を活用した海岸漂着物対策推進事業により海岸環境の保全を図った。

(3) し尿処理費

公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全のため、浄化槽設置整備事業の推進を図り、個人住宅の改築に併せて浄化槽を設置する場合に限り市単独で20万円の上乗せ補助を実施することで普及促進に努めた。

田平地区コミュニティ・プラントによる汚水処理や大島地区のし尿処理について、適正な処理の実施により、清潔で住みよい生活環境の保全が図られた。

事業名	事業内容	事業費
妊産婦健康診査事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	妊娠中からの健康管理を目的として、すべての妊婦を対象に妊婦健康診査費用の一部を助成した。 また、聴覚異常を早期に発見することを目的として、新生児聴覚検査費用の一部を助成した。 母子健康手帳交付数 : 211 冊 妊婦健診受診者数 : 延べ 2,561 人 新生児聴覚検査受診者数 : 180 人(受診率 81.4%)	19,922
子育て支援事業 (保健センター) 【事項別明細書 176 頁】	①こんにちは赤ちゃん事業 生後 4 か月までの乳児がいるすべての家庭を対象に、妊産婦の健康管理と育児不安の軽減、新生児の成長発達確認、家庭内の育児環境や協力体制等について指導、助言を実施 対象者数 : 218 人、訪問数 : 214 人 ②養育医療(未熟児訪問指導)事業 未熟児に対し、訪問指導を実施 訪問件数(実) : 4 件、(延べ) : 4 件 ③養育支援家庭訪問事業 「こんにちは赤ちゃん事業」後に、継続的な支援が必要な家庭を対象に実施 訪問件数(実) : 18 件、(延べ) : 22 件 ④母子保健推進員研修会 母子保健推進員(22 名)を対象に、研修会を開催 実施回数 : 2 回、参加者延べ数 : 31 人 ⑤お遊び教室 心身の発達が境界域の子どもやその親を集めて、専門家からの発達促進に関する指導や育児相談を実施 実施回数 : 9 回、参加者延べ数 : 22 人 ⑥児童虐待ゼロプロジェクト事業 妊娠中からの精神的安定を図る目的で医療機関において、妊産婦にアンケート調査を行い、支援が必要な対象者については訪問活動を実施 医療機関からの情報提供数 : 92 件 うち訪問が必要と連絡のあった人数 : 10 件 うち訪問者数 : 10 件 ⑦乳児健診 障害等の早期発見、適切な援助、成長発達の評価、育児支援を実施 実施回数 : 30 回、対象者数 : 332 人 受診児延べ数 : 527 人(受診率 : 96.4%) ⑧母子健康相談 乳幼児の発育や発達・子育ての悩みや不安などについて育児相談を実施 実施回数 : 30 回 参加者延べ数 : 305 人	3,694

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	17,000		2,922	妊婦健康診査の費用を助成したことにより、妊婦の経済的負担を軽減するとともに、妊娠週数に応じた健康管理ができた。 また、新生児の聴覚検査費用を助成することで、受診の促進につながり、異常の早期発見に寄与した。
514			3,180	①生まれた全ての乳児の家庭を対象に訪問することで、産婦及び乳児の健康管理に関する助言や育児に対する不安軽減等につながった。 ②特に、未熟児で生まれた場合は、退院後のケアに配慮を要することが多いことを念頭におき、個人に応じた訪問支援ができた。 ③「こんにちは赤ちゃん事業」の後、成長の経過を見守る必要がある場合や育児不安が強い場合等、継続した支援をすることにより、育児に対する不安軽減等につながった。 ④母子保健推進員に対し、必要な知識と技能の修得をねらいとした研修会を開催することで、母子を支え、行政とのつなぎ役とした活動展開に寄与した。 ⑤教室を継続開催することで、保護者が育児に応用できるように専門家から直接助言を受けられる場を提供し、保護者の不安解消ができた。 ⑥妊娠初期の時点からの医療機関と行政の連携の下、妊産婦に対し見守りや必要に応じ訪問による支援等を行い、児童虐待の未然防止に努め、子育て不安の軽減を図り母親の精神的安定に寄与した。 ⑦乳児の異常の早期発見及び早期治療や、安心できる子育てにつながった。 ⑧相談場面では、子育てについての助言等支援ができ、乳幼児期の健康管理に寄与した。

(単位 : 千円)

事業名	事業内容	事業費
幼児健康診査事業 (保健センター) 【事項別明細書176頁】 【事項別明細書178頁】	健康・発達の評価、障害・疾病等の早期発見などの個々に応じた指導助言を行った。 1歳6か月児健康診査 実施回数：16回 対象者数：245人 受診者数：240人(受診率：97.9%) 3歳児健康診査 実施回数：19回 対象者数：262人 受診者数：258人(受診率：98.5%) フッ素塗布事業 むし歯予防のため、1歳6か月児から3歳6か月児までにに対し、フッ素塗布を実施 対象者 1,220人 塗布者 609人(塗布率49.9%) 5歳児発達健診 モデル事業として、5か所の保育所において5歳児(年中児)発達健診を実施 受診者 72人	1,712
地域医療人材育成事業 (保健センター) 【事項別明細書178頁】	平戸市民病院を教育の拠点とし、長崎大学に委託して地域医療に貢献できる医師の養成を行った。また、市民を対象とした地域医療に関する講演会の開催及びへき地医療体験合宿等を通じて、過疎・へき地の医療を担う人材を育成した。 研修医受入数：38人	19,477
妊婦相談事業 (保健センター) 【事項別明細書178頁】	安心して子どもを産み・育てる環境を整えるために妊婦の相談、妊産婦同士の交流の場として平戸市内助産師有志の会“平戸さんばの会”へ委託し“Sun・MaMaひろば”を開催した。 Sun・MaMaひろばの開催回数：13回 参加者：妊産婦27人、配偶者9人	183

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		85	1,627	健康診査は、受診率100%を目指して受診勧奨を実施しており、高い受診率を維持することができ、幼児の健康管理に寄与した。 また、幼児期における口腔環境は、成長発達に影響を与える一因であり、むし歯予防は重要であることから、歯の生え始める時期からむし歯予防の実践を啓発しているが、特に1歳6か月児健診以降にむし歯が増えていくため、この時期からフッ素を塗布することでむし歯の予防が可能となった。 5歳児発達健診については、新規に専門相談へ紹介した児がおり、早期の発見につながった。
1,000	10,000		8,477	長崎大学への委託により、地域医療の人材育成を図るとともに、医師不足で悩む平戸市民病院における医師を確保できた。 また、平成25年度は、この事業の拡大版として、市立病院をはじめとする平戸・松浦両市の5病院の協力により、「長崎大学病院へき地病院再生支援・教育機構」による「ながさき県北地域医療教育コンソーシアム」が開設され、医師不足に苦慮する両市の医療現場にとって今後の貢献が期待される。
			183	妊婦を対象とした助産師による相談の場、妊産婦同士の交流の場として“Sun・MaMaひろば”を開催したことにより、妊産婦の不安が軽減された。

事業名	事業内容	事業費
予防接種事業 (保健センター) 【事項別明細書 180 頁】	予防接種法で定められた定期予防接種について、複数回にわたる個人通知を行うなど接種率向上に努め、前年度で終了できなかった接種者には、引き続き接種勧奨の働きかけを行った。 他に、生後 6 か月から就学前までの子どもを対象に、インフルエンザ予防接種費用を助成した。 また、平成25年度は子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンが新たに定期の予防接種に加わった。 予防接種者延べ数(接種率) 不活化ポリオ(急性灰白髄炎) 248 人(26.8%) 三種混合 263 人(28.7%) 四種混合 724 人(78.4%) インフルエンザ(高齢者) 6,919 人(57.4%) インフルエンザ(子ども) 1,437 人(49.2%) ジフテリア・破傷風混合 287 人(95.7%) B C G 175 人(76.1%) 麻しん風しん混合 446 人(94.3%) 日本脳炎 985 人 ※1 子宮頸がん 29 人(6.5%) ヒブ 967 人(109.0%) ※2 小児用肺炎球菌 916 人(103.3%) ※2 ※1 日本脳炎については、平成 23 年度から特例措置が行われ、接種対象者の範囲が拡大されているため、接種率は計上していない。 ※2 接種率は、厚生労働省が示した算定方法に統一している。対象者数は「各年度に新しく予防接種対象者に該当した人数」であることに対し、接種者数は「各年度における接種対象者全体の中の予防接種を受けた人数」であるため、接種率が 100%を超える場合がある。	60,144
健康教育事業 (保健センター) 【事項別明細書 180 頁】	健康づくりの中でも、生活習慣病予防に重点を置き、市民 1 人ひとりが自分自身の生活習慣を見直す機会として、個人や各種団体などに対し、集団健康教育を行い健診受診率向上に努めた。 実施回数：94 回 参加者延べ数：2,084 人	761
健康相談事業 (保健センター) 【事項別明細書 180 頁】	健康教育実施時や健診時等に併せて、健康相談を実施した。 実施回数：138 回 参加者延べ数：5,452 人	272

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			60,144	各種予防接種により、感染症などの発生及び重症化、まん延予防に寄与した。 子宮頸がん予防ワクチンについては、国において、接種後の副反応に関する調査が行われており、平成25年 6 月から積極的な接種勧奨を差し控えているため、接種者数が少なかった。
504			257	糖尿病、高脂血症、高血圧を原因とした心疾患、脳血管疾患について住民に情報提供することで、生活習慣病予防についての認識を深めることができ、健診受診や生活習慣改善につながった。
170			102	生活習慣改善に結びつくような心身の健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導及び助言を行い、家庭における健康管理に寄与することができた。

事業名	事業内容	事業費																								
健康診査事業 (保健センター) 【事項別明細書 180 頁】 【事項別明細書 182 頁】	健康増進法により肝炎ウイルス検診、骨粗鬆症検診、歯周疾患検診等を実施した。 <table><tr><th rowspan="2">種 類</th><th colspan="2">平成24年度</th><th colspan="2">平成25年度</th></tr><tr><th>受診者数 (人)</th><th>受診率 (%)</th><th>受診者数 (人)</th><th>受診率 (%)</th></tr><tr><td>肝炎ウイルス</td><td>178</td><td>—</td><td>153</td><td>—</td></tr><tr><td>骨粗鬆症</td><td>184</td><td>10.7</td><td>170</td><td>9.9</td></tr><tr><td>歯周疾患</td><td>44</td><td>1.3</td><td>58</td><td>1.7</td></tr></table>	種 類	平成24年度		平成25年度		受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)	肝炎ウイルス	178	—	153	—	骨粗鬆症	184	10.7	170	9.9	歯周疾患	44	1.3	58	1.7	1,598
種 類	平成24年度		平成25年度																							
	受診者数 (人)	受診率 (%)	受診者数 (人)	受診率 (%)																						
肝炎ウイルス	178	—	153	—																						
骨粗鬆症	184	10.7	170	9.9																						
歯周疾患	44	1.3	58	1.7																						
訪問指導事業 (保健センター) 【事項別明細書 182 頁】	特定健診・がん健診の要精密者等に訪問し、指導及び助言を行った。 訪問者延べ数：50 人	52																								
後期高齢者健康診査事業 (保健センター) 【事項別明細書 182 頁】	長崎県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、後期高齢者医療の被保険者を対象に健康診査を実施した。 <table><tr><th>区 分</th><th>平成24年度</th><th>平成25年度</th></tr><tr><td>受診者数 (人)</td><td>793</td><td>835</td></tr><tr><td>受診率 (%)</td><td>11.5</td><td>11.4</td></tr></table>	区 分	平成24年度	平成25年度	受診者数 (人)	793	835	受診率 (%)	11.5	11.4	6,399															
区 分	平成24年度	平成25年度																								
受診者数 (人)	793	835																								
受診率 (%)	11.5	11.4																								
食育推進事業 (保健センター) 【事項別明細書 182 頁】	市民 1 人ひとりが、命の源である「食」について認識を高め、生涯にわたって健やかで心豊かな生活を送るため、減塩減糖などによる生活習慣病予防・地産地消の促進・郷土料理の伝承・食への感謝の念を育てる「食育」を家庭や学校・保育所・生産者等の「食」に関わる多様な関係者が地域において一層の連携を深めながら、市民運動として推進した。 また、平成 25 年度は、食に対する意識の向上を図り、更なる食育推進を目的として、食育料理コンテストを開催した。 <table><tr><td>食育料理コンテスト</td><td>1 回開催</td><td>応募作品数 513 作品 (応募人数：591 人)</td></tr><tr><td>食育推進会議</td><td>2 回開催</td><td>参加延べ数：51 人</td></tr><tr><td>食育推進リーダー学習会</td><td>28 回開催</td><td>参加延べ数：365 人</td></tr><tr><td>地域普及活動</td><td>78 回実施</td><td>参加延べ数：2,991 人</td></tr><tr><td>食育ワークショップ</td><td>9 回実施</td><td>参加数：250 人</td></tr></table>	食育料理コンテスト	1 回開催	応募作品数 513 作品 (応募人数：591 人)	食育推進会議	2 回開催	参加延べ数：51 人	食育推進リーダー学習会	28 回開催	参加延べ数：365 人	地域普及活動	78 回実施	参加延べ数：2,991 人	食育ワークショップ	9 回実施	参加数：250 人	961									
食育料理コンテスト	1 回開催	応募作品数 513 作品 (応募人数：591 人)																								
食育推進会議	2 回開催	参加延べ数：51 人																								
食育推進リーダー学習会	28 回開催	参加延べ数：365 人																								
地域普及活動	78 回実施	参加延べ数：2,991 人																								
食育ワークショップ	9 回実施	参加数：250 人																								

財 源 内 訳				事 業 の 成 果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
743			855	各種健（検）診を実施することで、疾病予防及び重症化を防ぐことができた。
34			18	生活習慣改善の支援のため戸別訪問を行い、生活習慣病の発症及び重症化予防を図ることができた。また、がん検診要精密者に対し個別訪問を行うことで、早期受診につなげることができた。
		6,392	7	後期高齢者医療の被保険者に対しての健診を実施することで、疾病予防・重症化予防に寄与することができた。
479			482	教育・農林水産・保健衛生・地域関係者等の「食育」に関わる分野の連携が図られ、「食育」が推進された。また、食育料理コンテストでは、小中高校生が、平戸食材について家族で話し合い、自分で考え実践したことで効果的な食育の推進となった。

事 業 名	事 業 内 容	事 業 費
が ん 検 診 事 業 (保健センター) 【事項別明細書 182 頁】	がん対策基本法により、大腸がん・胃がん・肺がん・乳がん・子宮がん検診を行った。また、特定健診受診者を対象に前立腺がん検診を実施するとともに、胃がん検診の検査方法に加えて、節目年齢の人を対象に胃がんリスク検診を実施した。	24,218
がん検診推進事業 (保健センター) 【事項別明細書 182 頁】	子宮がん、乳がん、大腸がん検診について、一定の節目年齢の人へ検診手帳と検診費用が無料になるがん検診無料クーポン券を送付し、受診の促進を図るとともに、がんの早期発見と正しい健康知識の普及啓発を行った。 対象年齢 子宮がん 21・26・31・36・41 歳 乳がん・大腸がん 41・46・51・56・61 歳	2,852
太陽光発電システム設置促進事業 (商工物産課) 【事項別明細書 184 頁】	自然エネルギーの利用を促進するため、住宅用太陽光発電システムの設置に係る費用の一部助成を行った。 助成件数 50 件 助成単価 60,000 円/件	3,000
田平地区斎場利用支援事業 (市民課) 【事項別明細書 186 頁】	平成 24 年度末をもって松浦地区火葬場組合が解散したことにより、田平地区住民が松浦斎苑を利用する際に市外料金となり負担増になることから、利用料金の一部補助を行った。 平成 25 年度補助申請 91 件	4,494
海岸漂着物地域対策推進事業 (市民課) 【事項別明細書 192 頁】	漁業被害や海岸の景観を損ねている外国等からの漂着ごみ等を適正に処理し、海岸景観の保全を図った。 回収ポリ容器 277 個 クリーンセンター搬入量 60,090kg 処理困難物（発泡スチロール等） 264 m ³	10,041

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果																																																															
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源																																																																
1, 820			22, 398	各種がん検診における受診率向上を目指し、受診しやすい検診体制づくりに努め、がんの早期発見、早期治療に寄与することができた。 <table> <tr> <th colspan="2">種 類</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">大腸がん</td> <td>受診者数（人）</td> <td>2,188</td> <td>2,264</td> </tr> <tr> <td>うちクーポン</td> <td>199</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td>受診率（％）</td> <td>14. 4</td> <td>15. 1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">胃がん</td> <td>受診者数（人）</td> <td>1,574</td> <td>1,635</td> </tr> <tr> <td>受診率（％）</td> <td>10. 3</td> <td>10. 9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">（うち胃がんリスク）</td> <td>受診者数（人）</td> <td>(98)</td> <td>(67)</td> </tr> <tr> <td>受診率（％）</td> <td>(2. 5)</td> <td>(1. 7)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">肺がん</td> <td>受診者数（人）</td> <td>2,557</td> <td>2,693</td> </tr> <tr> <td>受診率（％）</td> <td>16. 8</td> <td>17. 9</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">1, 199</td> <td rowspan="3">乳がん</td> <td>受診者数（人）</td> <td>718</td> <td>863</td> </tr> <tr> <td>うちクーポン</td> <td>146</td> <td>181</td> </tr> <tr> <td>受診率（％）</td> <td>21. 1</td> <td>17. 5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">子宮がん</td> <td>受診者数（人）</td> <td>602</td> <td>751</td> </tr> <tr> <td>うちクーポン</td> <td>58</td> <td>71</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">前立腺がん</td> <td>受診率（％）</td> <td>17. 5</td> <td>14. 2</td> </tr> <tr> <td>受診者数（人）</td> <td>434</td> <td>442</td> </tr> <tr> <td>受診率（％）</td> <td>6. 0</td> <td>6. 2</td> </tr> </table> ※ 前立腺がん検診は、特定健診及び健康診査対象者に実施 ※ 大腸がん、乳がん及び子宮がん検診は、がん検診推進事業での受診者を含む。	種 類		24年度	25年度	大腸がん	受診者数（人）	2,188	2,264	うちクーポン	199	190	受診率（％）	14. 4	15. 1	胃がん	受診者数（人）	1,574	1,635	受診率（％）	10. 3	10. 9	（うち胃がんリスク）	受診者数（人）	(98)	(67)	受診率（％）	(2. 5)	(1. 7)	肺がん	受診者数（人）	2,557	2,693	受診率（％）	16. 8	17. 9	1, 199	乳がん	受診者数（人）	718	863	うちクーポン	146	181	受診率（％）	21. 1	17. 5	子宮がん	受診者数（人）	602	751	うちクーポン	58	71	前立腺がん	受診率（％）	17. 5	14. 2	受診者数（人）	434	442	受診率（％）	6. 0	6. 2
種 類		24年度	25年度																																																																
大腸がん	受診者数（人）	2,188	2,264																																																																
	うちクーポン	199	190																																																																
	受診率（％）	14. 4	15. 1																																																																
胃がん	受診者数（人）	1,574	1,635																																																																
	受診率（％）	10. 3	10. 9																																																																
（うち胃がんリスク）	受診者数（人）	(98)	(67)																																																																
	受診率（％）	(2. 5)	(1. 7)																																																																
肺がん	受診者数（人）	2,557	2,693																																																																
	受診率（％）	16. 8	17. 9																																																																
1, 199	乳がん	受診者数（人）	718	863																																																															
		うちクーポン	146	181																																																															
		受診率（％）	21. 1	17. 5																																																															
	子宮がん	受診者数（人）	602	751																																																															
		うちクーポン	58	71																																																															
	前立腺がん	受診率（％）	17. 5	14. 2																																																															
		受診者数（人）	434	442																																																															
		受診率（％）	6. 0	6. 2																																																															
			3, 000	地球温暖化、自然エネルギーへの関心が深まる中、家庭の省エネ対策としての太陽光発電システム設置の普及促進を図るとともに、設置に係る費用負担を軽減することで、電力消費量の軽減が図られ、低炭素社会の推進に寄与することができた。																																																															
			4, 494	田平地区住民が松浦斎苑を利用する際に、従来と変わらない料金で施設利用ができるため、利用者の負担軽減に寄与した。																																																															
10, 000			41	漂流漂着ごみを回収し、適正処分することにより、海岸景観の保全に寄与した。																																																															

事業名	事業内容	事業費																																				
ごみ減量化推進事業 (市民課) 【事項別明細書 192 頁】 【事項別明細書 194 頁】	各種団体による資源物の集団回収に対し交付金を交付し、ごみの減量化を図った。 再資源化推進登録団体数 223団体 再資源化推進交付金 平成 25 年度 古紙類 729,554kg リターナブルビン 162,817 本 平成 24 年度 古紙類 717,934kg リターナブルビン 173,205 本	5,939																																				
ストックヤード整備事業 (市民課) 【事項別明細書 194 頁】	生月・田平地区の旧ごみ焼却施設解体工事の跡地に、循環型社会形成推進施設としてストックヤード施設を整備した。 生月ストックヤード建築工事 鉄骨造 2階建 建築面積 327.68㎡ 延床面積 360.08㎡ 田平ストックヤード建築工事 木造 平屋建 建築面積 79.49㎡ 延床面積 79.49㎡	72,427																																				
浄化槽設置整備事業 (市民課) 【事項別明細書 196 頁】	生活雑排水の適正な処理を目的に、浄化槽設置者への補助を実施した。 <table><tr><th>種類</th><th>本土</th><th>離島</th><th>計</th></tr><tr><td>5 人槽</td><td>50</td><td></td><td>50</td></tr><tr><td>6～ 7 人槽</td><td>57</td><td>1</td><td>58</td></tr><tr><td>8～10 人槽</td><td>5</td><td></td><td>5</td></tr><tr><td>11～20 人槽</td><td>6</td><td></td><td>6</td></tr><tr><td>21～30 人槽</td><td>4</td><td></td><td>4</td></tr><tr><td>31～50 人槽</td><td>3</td><td></td><td>3</td></tr><tr><td>計</td><td>125</td><td>1</td><td>126</td></tr><tr><td>市単独補助</td><td>54</td><td>0</td><td>54</td></tr></table>	種類	本土	離島	計	5 人槽	50		50	6～ 7 人槽	57	1	58	8～10 人槽	5		5	11～20 人槽	6		6	21～30 人槽	4		4	31～50 人槽	3		3	計	125	1	126	市単独補助	54	0	54	66,359
種類	本土	離島	計																																			
5 人槽	50		50																																			
6～ 7 人槽	57	1	58																																			
8～10 人槽	5		5																																			
11～20 人槽	6		6																																			
21～30 人槽	4		4																																			
31～50 人槽	3		3																																			
計	125	1	126																																			
市単独補助	54	0	54																																			

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
			5,939	各団体における再資源化物の回収の推進を図り、市民の分別リサイクル意識の啓発に伴うごみの減量化につながった。
24,510	45,100		2,817	ストックヤード施設整備により、漂着ごみ等の円滑な処理体制が構築された。
37,011			29,348	浄化槽設置により、水質汚濁の主因とされる生活雑排水の浄化を図り、公共用水域の環境保全に貢献した。

【 5 款 労働費 】

平戸市シルバー人材センターは、公益法人制度改革に伴い、税制上の優遇措置や、社会的に高い信用を得ることができる、公益社団法人に平成24年4月に移行した。

高齢社会において、地域に密着した就労の場の確保と、高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進を目的に設置されているセンターに対し助成を行った。

このことにより、センターの円滑な運営が図られ、シルバーワークプラザを拠点とした地域に根ざした高齢者の就業活動の展開が図られ、高齢者の健康維持及び生きがいづくりに寄与した。

◇平戸市シルバー人材センター事業実績の推移

	会員数 (人)	男性 (人)	女性 (人)	受注件数 (件)	就業延べ 人員 (人)	契約金額 (千円)	公共民間割合 (%)	
							公 共	民 間
平成 18 年度	321	163	158	2,394	22,321	112,572	37.4	62.6
平成 19 年度	311	169	142	2,457	22,890	114,893	45.8	54.2
平成 20 年度	305	165	140	2,341	22,642	114,560	46.3	53.7
平成 21 年度	293	155	138	2,244	23,285	120,487	55.1	44.9
平成 22 年度	276	150	126	2,266	23,041	118,006	53.2	46.8
平成 23 年度	260	148	112	2,096	20,838	107,022	52.7	47.3
平成 24 年度	259	155	104	2,297	20,094	105,848	44.6	55.4
平成 25 年度	245	158	87	2,344	22,002	122,785	47.4	52.6

【 6 款 農林水産業費 】

1 農業費

農家の経営安定と農村の活性化を目標に、農林業の担い手確保、後継者の育成、経営規模拡大、農業生産基盤の整備等を図りつつ、農業所得の向上のため生産性の高い施設野菜、露地野菜、平戸牛等の銘柄の確立を図るとともに、集落営農組織の推進や経営の合理化を積極的に推進した。

(1) 農業委員会

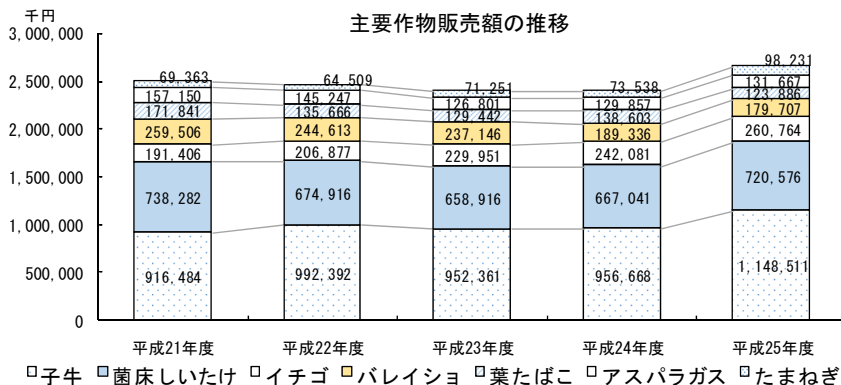
農業・農村を取り巻く環境は、輸入産物の増大による国際化の進展、農業の担い手不足と高齢化、農地の荒廃・遊休化など多くの課題を抱え、厳しい状況に直面している。農業委員会としては、新しい「食料・農業・農村基本計画」において、農地の有効利用を促進するため、農地の利用状況調査を実施し、農業経営基盤強化促進法に基づき、認定農業者や担い手への農地の利用集積をはじめ、耕作放棄地の発生防止・解消のための指導強化等、積極的な土地利用の推進と、農業後継者結婚対策に取り組んだ。

(2) 農業の振興対策

農業・農村の振興を図るため、園芸及び肉用牛振興を中心として、意欲ある生産者に対して、基盤整備や農地集積などの支援を行うとともに、担い手対策として新規就農者の確保や認定農業者の労力支援を目的とした農援隊の設置など、各種事業を積極的に推進した。

また、6次産業化を推進するため、農産物の加工品開発に取り組む直売所、生産者等を対象とした研修会を開催し、地域の特産品を使った商品開発に取り組んだ。

本市の農地の大部分を占める水田については、国の経営所得安定対策事業を活用し、米の計画的生産と併せて、水田の有効活用を促進するため、飼料作物や振興品目の増産に取り組んだ。



(単位:千円)

区分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
子牛	916,484	992,392	952,361	956,668	1,148,511
菌床しいたけ	738,282	674,916	658,916	667,041	720,576
イチゴ	191,406	206,877	229,951	242,081	260,764
パレイショ	259,506	244,613	237,146	189,336	179,707
葉たばこ	171,841	135,666	129,442	138,603	123,886
アスパラガス	157,150	145,247	126,801	129,857	131,667
たまねぎ	69,363	64,509	71,251	73,538	98,231
合計	2,504,032	2,464,220	2,405,868	2,397,124	2,663,342

(3) 農業生産基盤の整備

園芸作物の産地力を高めるため、生産者団体や農協に対して、種苗費や施設整備、機械導入に対する助成を行い、園芸作物の規模拡大と品質向上に取り組んだ。

優良農地の確保と意欲ある農家の規模拡大を支援するため、国・県の補助事業を活用し、耕作放棄地の解消を行った。

中山間地域等直接支払制度及び農地・水保全管理支払交付金制度については、集落の共同活動に対する支援を行い、農道、水路の維持管理、耕作放棄地の防止、景観作物の作付けなど、農地等の機能維持及び適正管理につなげた。

農業生産の近代化及び農業生産力の増強と経営基盤の強化整備拡充を図るため、未舗装農道や老朽化した用排水路、頭首工、ため池などの整備に対して、市単独農業農村整備事業による補助を行い、農業環境の整備に努めた。

(4) 農業施設の防災対策

農地や農業用施設に対する災害を未然に防止し、農業生産の維持と農業経営の安定を図るとともに、国土保全や農村の安全性を確保するため、県営及び団体営事業により、計画的にため池や用排水路等の整備を行った。

(5) 畜産業の振興対策及び生産基盤の整備

本市の基幹作物である肉用牛（繁殖雌牛）の推移については、担い手不足や高齢化等により少頭数飼い農家の廃業が進み、それに伴い、飼養頭数及び飼養戸数ともに減少傾向にある。

そうしたことから、産地確立の中核となる繁殖農家の優良繁殖雌牛の導入に対する補助を行うとともに、肥育牛舎の整備に対する支援を行い、供給体制の強化を図った。また、放牧地整備による繁殖農家の低コスト化に対する支援を行った。

さらに、平成 29 年度に開催される第 11 回全国和牛能力共進会宮城県大会に向けた推進組織を設立し、生産者及び農協、行政機関など地域一体となった取り組みを推進した。

繁殖雌牛の飼養頭数及び飼養戸数の推移

(単位:頭、戸)

区分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
飼養頭数	3,447	3,280	3,202	3,125	3,012
飼養戸数	560	518	489	455	422
1 戸あたり	6.2	6.3	6.5	6.9	7.1

(6) 担い手育成・確保対策

平戸市担い手育成総合支援協議会を中心として、認定農業者等の担い手育成を図るため、各種研修会の開催など、関係機関と連携を図りながら積極的な取り組みを行った。

また、平戸市農業総合支援センター（もうかる農業支援隊）による相談窓口を設置し、就農希望者や規模拡大に取り組む農業者等に対して、農協や県等の関係団体と連携した支援を行った。

新規就農者に対しては、人・農地プランにおいて中心的な経営体となることが見込まれることから、国・県の補助事業を活用しながら、経営安定につながる支援に取り組んだ。

(単位:人)

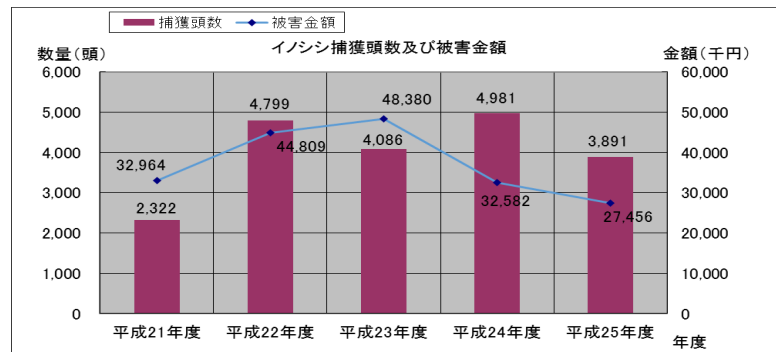
区分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
認定農業者数	185	181	178	175	177

【 6 款 農林水産業費 】

(7) 有害鳥獣対策

農作物等をイノシシ等から守る「防護対策」と、イノシシ等の被害を減らすための「捕獲対策」及びイノシシ等が嫌がる環境をつくる「棲み分け対策」の3つの観点に基づき、地元猟友会と連携しながら事業を展開した。特に、防護対策として、国庫補助事業を活用し、防護柵（ワイヤーメッシュ柵・電気柵）の整備を行った。

また、まちなか被害対策として、イノシシ大学の開催や、被害防止対策重点地区モデル事業を実施して、イノシシ被害防止に対する市民の意識高揚を図った。



2 林業費

(1) 林業振興対策

近年における木材価格の低迷や生産コストの増大等、林業を取り巻く情勢は厳しさを増し、さらに林業従事者の高齢化や後継者不足、不在林家の増加等により、今後森林が荒廃することが危惧されている。

このようなことから、本市においては、平成25～34年度までの10カ年を計画期間として、平戸市森林整備計画を策定し、森林の有する「水源かん養機能」、「保健・レクリエーション機能」、「里山・沿岸保全機能」、「木材等生産機能」等の公益的及び多面的機能を維持・向上させるため、国・県の補助事業を活用し、関係する林業団体と連携しながら、各種事業の取り組みを行った。

3 水産業費

魚価の低迷や漁場環境の変化、担い手の減少と高齢化、燃油や漁業資材の高騰などにより厳しさを増す水産業界だが、「漁場環境及び生産管理（資源管理）の強化」による漁業生産の効率化と安定化を目指し、「流通・販売体制の改善と水産加工業の育成（高付加価値化）による収益力の強化」「漁協経営の基盤強化」「都市住民との交流と地域連携による開かれた漁村の創造」によって、経営の安定化を図り先進的な水産業の中核地域づくりの推進を行っている。

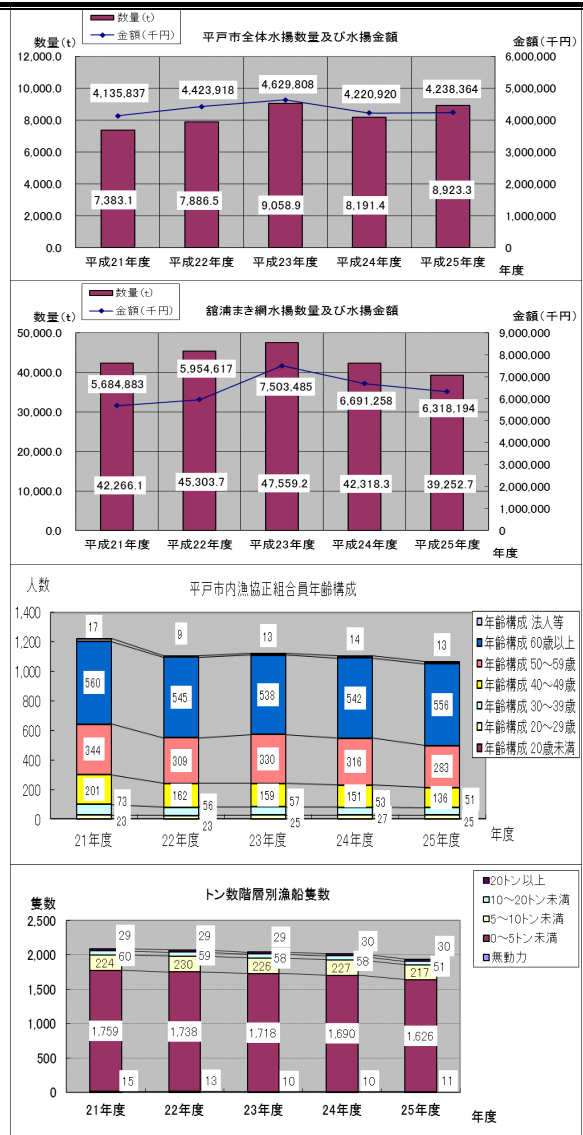
また、漁業の担い手をはじめとする漁村の住民にとって安全で快適な生活環境や効率的な生産環境づくりを図るため、生産拠点漁港の充実、防災及び老朽化対策、漁業集落の環境整備に向けた取り組みを行った。

(1) 水産業振興対策

水産資源の再生産にとって極めて重要な位置を占める藻場の回復を図るため「水産多面的機能発揮対策事業」に取り組むとともに、「水産業普及指導事業」では資源管理型漁業推進の一環として『放流用アワビの中間育成試験』を行い、水産資源の維持・安定を図っている。

離島地区においては、「離島漁業再生支援交付金事業」や「離島輸送コスト支援事業」に取り組み、漁業者自ら地域の实情に応じた沿岸漁業の振興に努めている。

さらに、地域資源を活かした水産加工の普及や販売促進による漁業者の収益安定を図るとともに、「漁業担い手確保推進事業」によって新規就業者の確保に努めている。



(2) 漁港整備

水産活動の拠点として重要な役割を果たしている漁港については、これまで長期計画に基づき整備を行った結果、一定の機能は整ってきたと認識している。しかしながら、荒天時の波浪により漁船の安全な出入港や係留が確保できていない箇所については、計画的に機能強化を行っている。併せて、既存施設の長寿命化を図るため、「水産物供給基盤機能保全事業」に取り組み、工事を行うための前提となる調査と併せて機能保全工事を実施し、漁港施設の改修を行っている。

事業名	事業内容	事業費
農地制度実施円滑化事業 (農業委員会) 【事項別明細書 198 頁】 【事項別明細書 200 頁】	農地の利用関係調整(権利移動の許可取得等による農地の斡旋等)や農地の利用状況調査、農地基本台帳の整備等を行った。	5,820
中山間地域等直接支払交付金事業 (農林水産課) 【事項別明細書 202 頁】 【事項別明細書 204 頁】	中山間地域における耕作放棄地化の防止と多面的機能維持の観点から、活動を行う協定締結集落へ交付金を交付した。 推進事務費等 1,432 千円 交付金 189,889 千円 協定締結数 106 協定(集落 105 個人 1) 交付面積 1,024.2ha 負担割合 国:50%、県:25%、市:25%	191,321
耕作放棄地解消総合対策事業 (農林水産課) 【事項別明細書 204 頁】	平戸市担い手育成総合支援協議会が実施する耕作放棄地解消総合対策事業に対し、補助を行った。 事業内容 区画整理、水路の改修 事業量 0.3ha (津吉地区) 事業費 2,342 千円(補助対象事業費) 負担割合 国(※):50%、県:30%、市:15%、受益者:5% ※国費は、直接交付。	1,055
農援隊設置事業 (農林水産課) 【事項別明細書 204 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 労力が不足している認定農業者に対して、農援隊を派遣し、労力支援を行うとともに、農業分野における雇用対策を行った。 委託先 ながさき西海農業協同組合 事業量 農援隊(11名)の派遣 事業費 13,415 千円	13,415
構造改善加速化支援事業 (農林水産課) 【事項別明細書 204 頁】	平戸市加工たまねぎ機械利用組合の省力化機械導入への補助を行った。 事業量 たまねぎ省力化機械(共同利用) 移植機 3台 収穫機 5台 ビッカー(収集選別機) 5台 事業費 20,848 千円(補助対象事業費) 負担割合 県:1/3、市:県補助残の28%	10,840
ながさき農山村活性化支援事業 (農林水産課) 【事項別明細書 204 頁】	津吉地域活性化協議会(各種15団体の代表者など19名で構成)が実施する地域活性化活動に対する補助を行った。 事業内容 環境保全活動(耕作放棄地解消)、産業振興活動(先進地視察、加工新商品開発、イベント開催) 事業費 500 千円(補助対象事業費) 負担割合 県:100%	500

(単位:千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
5,590		12	218	農地の利用状況調査の実施により、農地基本台帳の整備が図られ、農地利用集積等の基礎資料として活用が可能になった。
143,820		24	47,477	農地・農道・水路などの保全及び水源のかん養機能や景観形成等の多面的機能が増進されるとともに、耕作放棄地化の防止に寄与した。 協定締結数 24年度 103 協定(集落 102、個人 1) 25年度 106 協定(集落 105 個人 1) 交付対象面積 24年度 1,021.63ha 25年度 1,024.2ha
702			353	当該箇所における農地の区画整理及び水路の改修により、0.3haの耕作放棄地を解消するとともに、担い手の営農活動を推進することができた。
13,415				認定農業者の労力不足が一定程度解消し、生産現場の労働環境改善につながった。また、11名の雇用創出ができた。 新規雇用者数 11名
6,949			3,891	加工用たまねぎにかかる効率化・省力化機械の導入により、作付面積の拡大に寄与した。 加工用たまねぎは、青果と比べて販売単価は安いものの、労力軽減につながり、時給換算では上回る。 平成24年産 3.8ha 平成25年産 12.0ha
500				津吉地域の農業者や活性化団体の連携によって、放牧による耕作放棄地解消や菜の花による環境整備、また、農産物を活用した新商品開発や先進地視察、菜の花まつり(集客イベント)を開催するなど、特産品のPRや集客対策にも取り組み、津吉地域の活性化に寄与することができた。

事業名	事業内容	事業費
輝くながさき園芸 産地振興計画推進 事業 (農林水産課) 【事項別明細書 204 頁】	ながさき西海農業協同組合のアスパラガス部会及び菊部会が、産地の拡大及び生産性向上を図るための生産資材導入に対し、補助を行った。 事業内容等 ・アスパラガス 昇温抑制資材(遮光ネット) A=166.8a(うち平戸市80.9a) 補助対象事業費 2,037千円(うち平戸市982千円) 受益戸数 17戸(うち平戸市11戸) ・アスパラガス 新改植 A=47.3a(うち平戸市21a) 補助対象事業費 1,146千円 受益戸数 4戸(うち平戸市2戸) ・菊 省電力電球 1,152個 補助対象事業費 786千円(うち平戸市197千円) 受益戸数 4戸(うち平戸市1戸) 負担割合 県:1/3及び1/2、市:県補助残の28%以内	1,192
園芸産地育成対策 事業 (農林水産課) 【事項別明細書 204 頁】	園芸作物の栽培に取り組んでいる農業者等の規模拡大及び販売体制の強化及び、新たな品目の栽培に取り組む農業者に対する支援を行った。 園芸産地育成支援 3,994千円(6件) 販売ルート開拓 805千円(3件) その他園芸産地振興支援 200千円(1件) 合計 4,999千円(10件)	4,999
経営所得安定対策 直接支払推進事業 (農林水産課) 【事項別明細書 204 頁】 【事項別明細書 206 頁】	経営所得安定対策等の普及・推進活動経費として、平戸市地域農業再生協議会へ補助を行った。 事業内容 加入申請書等の配布及び回収並びに制度への申請手続支援、対象作物の作付状況の確認に要する経費 事業費 7,310千円 負担割合 国100%(定額)	7,310
離島輸送コスト支 援事業(農産物) (農林水産課) 【事項別明細書 206 頁】	本市離島地域の農水産業の競争力を低下させる要因となっている海上輸送コストに係る経済的負担の軽減を図ることを目的に農産物の海上輸送費の一部を助成した。 事業期間:平成25年6月1日～平成26年3月31日 ながさき西海農業協同組合 大島支店(米及びいも類) 輸送費 521,640円×(国1/3+市1/3)≒344千円 ながさき西海農業協同組合 度島事業所(米及び野菜類) 輸送費 91,101円×(国1/3+市1/3)≒54千円	398

(単位:千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
859			333	アスパラガス昇温抑制資材を導入したことにより、夏場の高温による葉焼けや株の消耗等を抑制し、アスパラガスの収量確保につながった。 また、新植による栽培面積の拡大と改植(株の更新)による増収対策により、産地の拡大等ができた。 菊の電照に省電力電球を導入することによって、生産コストの引き下げにつながった。
			4,999	園芸品目の栽培に取り組む農業者等に対する支援を行い、園芸品目の産地強化ができた。
7,310				水稻を中心とした水田活用と、水稻以外の地域振興作物等の野菜類や飼料作物の作付を推進することによって、水田の利用率向上と農業所得の安定につながった。
199	199			地場産業の活性化と離島の自立的発展を促す切っ掛けづくりを支援することで、離島という地理的条件の不利を軽減することができた。また、生産意欲の向上につながった。

事業名	事業内容	事業費
加工業務用産地育成整備推進事業 (農林水産課) 【事項別明細書 206 頁】	水田裏作による加工業務用野菜の導入を図るため、排水不良水田の暗渠排水工事に対し、補助を行った。 また、ながさき西海農業協同組合が加工用たまねぎの集出荷体制を確立するための機械導入に対する補助を行った。 暗渠排水整備支援 中央土地改良区 受益戸数 21 戸 A=4.7ha ながさき西海農業協同組合 受益戸数 12 戸 A=1.9ha 事業費 17,071,598 円 (補助対象事業費) 集出荷貯蔵体制確立支援 ながさき西海農業協同組合 事業量 鉄コンテナ 30 基 回転式フォークリフト 1 機 デジタル台秤 1 台 事業費 4,460,000 円 (補助対象事業費) 負担割合 県：3/20 及び 1/2、市：0%及び県補助残の 28%以内	5,414
農地・水保全管理 支払交付金事業 (農林水産課) 【事項別明細書 206 頁】	本市と協定を締結した活動組織が、地域で共同して行う農地、水路等の日常の管理や農村環境の向上に資する活動を支援した。 事業費内訳 交付金 7,732 千円、推進事務費 430 千円 【共同活動】 事業費 交付金 3,151 千円 (市負担分) 交付団体 12 団体 (平戸 8、生月 1、田平 3) 交付面積 田 358.15ha、畑 34.34ha、草地 21.77ha 計 414.26ha 負担割合 国：50%、県：25%、市：25% 【向上活動】 事業費 交付金 4,581 千円 (県・市負担分) 交付団体 7 団体 (平戸 7) 交付面積 田 203.68ha、畑 10.01ha 計 213.69ha 負担割合 国：50%、県：25%、市：25%	8,162
有害鳥獣被害防止 対策事業 (農林水産課) 【事項別明細書 206 頁】	イノシシ等有害鳥獣による被害を防止するため、鳥獣被害防止実施隊員への報酬、有害鳥獣駆除員に対する捕獲報償金の支給や捕獲用箱罟の整備を行った。 鳥獣被害防止実施隊員報酬 1,915 千円 捕獲報償金 (3,891 頭) 22,053 千円 捕獲罟 (箱罟 30 基) 1,638 千円 事務費等 1,808 千円	27,414

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果																														
国県支出金	地方債	その他	一般財源																															
4,790			624	暗渠排水の整備により、水田の排水が改善され、水田裏作としてのたまねぎ等の作付が可能となり、水田の利用向上につながった。 また、加工業務用たまねぎの集出荷に必要な機械機器等の導入により、効率的な集出荷体制が確立された。																														
2,721			5,441	農用地・農道等の草刈、水路の土砂上げ活動等が円滑に実施され、また、農業施設の維持管理や機能向上活動が行われたことにより、環境保全及び農業施設の長寿命化につながった。 また、地域住民が活動に参加することによって、集落環境の向上と住民間の交流が生まれ、農村の機能維持につながった。																														
10,383			17,031	地元猟友会による、イノシシ等有害鳥獣の捕獲体制が強化され、農作物の被害を抑えることができた。 ○捕獲頭数(イノシシ) (単位：頭) <table border="1"> <tr> <th>年度</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th></tr> <tr> <td>捕獲頭数</td><td>4,799</td><td>4,086</td><td>4,981</td><td>3,891</td></tr> <tr> <td>前年度比</td><td>207%</td><td>85%</td><td>122%</td><td>78%</td></tr> </table> ○被害金額(イノシシ) (単位：千円) <table border="1"> <tr> <th>年度</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th></tr> <tr> <td>被害金額</td><td>44,809</td><td>48,380</td><td>32,582</td><td>27,456</td></tr> <tr> <td>前年度比</td><td>136%</td><td>108%</td><td>67%</td><td>84%</td></tr> </table>	年度	H22	H23	H24	H25	捕獲頭数	4,799	4,086	4,981	3,891	前年度比	207%	85%	122%	78%	年度	H22	H23	H24	H25	被害金額	44,809	48,380	32,582	27,456	前年度比	136%	108%	67%	84%
年度	H22	H23	H24	H25																														
捕獲頭数	4,799	4,086	4,981	3,891																														
前年度比	207%	85%	122%	78%																														
年度	H22	H23	H24	H25																														
被害金額	44,809	48,380	32,582	27,456																														
前年度比	136%	108%	67%	84%																														

事業名	事業内容	事業費
鳥獣被害防止総合対策事業 (農林水産課) 【事項別明細書 206 頁】 【事項別明細書 208 頁】	イノシシ等有害鳥獣による被害を防止するため、ワイヤーメッシュ柵及び電気柵整備に対する補助を行った。 防護柵整備 (ワイヤーメッシュ柵) 116,565千円 防護柵整備 (電気柵) 5,923千円 県北地域有害鳥獣被害防止対策協議会負担金 25 千円	122,513
イノシシ被害まちなか対策事業 (農林水産課) 【事項別明細書 208 頁】	市街地でのイノシシ被害を防止するために、イノシシ大学や出前講座を開催した。 また、地域住民自らがイノシシ被害対策として、防護柵整備や草刈による緩衝帯整備等に取り組む、被害防止対策重点地区モデル事業を実施した。 イノシシ大学等の開催 111千円 実施回数 1回、参加人数 83名 被害防止対策重点地区モデル事業補助金 400千円 実施地区 2地区 勉強会の開催、被害箇所マップ作り、被害箇所見回り 緩衝帯整備、防護柵設置等	511
新規就農総合支援事業 (農林水産課) 【事項別明細書 208 頁】	新規就農者の技術習得及び就農後の経営安定を支援するため、給付金を交付し、就農定着化を支援した。 事業量 青年新規就農者 4名に対する給付 事業費 6,000 千円 (1,500 千円×4名)	6,000
農産物加工新商品開発支援事業 (農林水産課) 【事項別明細書 208 頁】	6次産業化に取り組もうとしている農業者等が抱える課題を解決するため、研修会やアドバイスを開催し、農産物の加工新商品の開発支援を行った。 事業量 研修会の開催 (4回) ・ドレッシング実習について ・ホットパック実習について ・流通・販売力強化について ・6次産業化のまとめについて 委託先 株式会社 キースタッフ 事業期間 平成 24～25 年度	1,108

財 源 内 訳				事業の成果															
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源																
122,488			25	イノシシ等有害鳥獣の農地侵入を防止することにより、農作物の被害を抑えることができた。 ○防護柵整備状況 (単位：m) <table border="1"> <tr> <th>年度</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th></tr> <tr> <td>WM柵</td><td>46,080</td><td>148,880</td><td>202,220</td><td>186,466</td></tr> <tr> <td>電気柵</td><td>19,140</td><td>48,241</td><td>69,580</td><td>33,300</td></tr> </table> ※WM柵＝ワイヤーメッシュ柵	年度	H22	H23	H24	H25	WM柵	46,080	148,880	202,220	186,466	電気柵	19,140	48,241	69,580	33,300
年度	H22	H23	H24	H25															
WM柵	46,080	148,880	202,220	186,466															
電気柵	19,140	48,241	69,580	33,300															
			511	地域住民がイノシシ被害防止に対して問題意識を持ち、イノシシの生態や被害対策等について学習する機会を提供することにより、地域住民の被害防止に対する意識高揚に寄与した。 また、捕獲隊の設置には至らなかったものの、被害状況のマップ作りや防護柵の設置、草刈による緩衝帯整備等を地域住民自らが実施する被害防止対策重点地区モデル事業に2地区が取り組むことができ、市街地でのイノシシ被害対策のモデル地区となった。															
6,000				就農意欲の喚起と就農後の定着を支援することで、新規就農者の課題のひとつである所得の確保等が一定程度解消することができた。 また、受給者4名については、園芸作物や肉用牛の振興に積極的に取り組んでおり、地域農業の振興に重要な担い手育成につながった。															
			1,108	6次産業化に取り組もうとする農業者等が抱える問題点を明らかにし、課題 (市内農産物の有効活用、新規事業の創出、ブランド化、販売促進及び地域活性化など) 解決に向けて、付加価値の高い農産物の加工による新商品の開発目処が立ち、農業所得の向上が期待できる。															

事 業 名	事 業 内 容	事 業 費
家 畜 導 入 事 業 (農林水産課) 【事項別明細書 212 頁】	長崎県家畜導入事業を活用して、ながさき西海農業協同組合が飼養農家に貸し付ける繁殖雌牛の導入に対する補助を行った。 ひらどモーモー増頭支援事業補助金 県（一般導入）：92 千円×46 頭 = 4,232 千円 県（優良雌牛導入）：200 千円×11 頭 ≒ 2,130 千円 市：46 千円×46 頭 = 2,116 千円	8,478
平戸牛の里づくり事業 (農林水産課) 【事項別明細書 212 頁】	第 11 回全国和牛能力共進会宮城県大会に向け、生産者及び農協、関係機関が一体となった取り組みを進めるため、「第 11 回全国和牛能力共進会宮城県大会平戸市対策推進協議会」に対する運営費補助及び候補牛の確保に対する支援を行った。 第 11 回全国和牛能力共進会宮城県大会 平戸市対策推進協議会補助金 100 千円 平茂晴産子導入事業補助金 23 頭×150 千円 優良繁殖雌牛群造成事業補助金 27 頭×150 千円 指定交配推進事業補助金 71 頭× 3 千円	7,813
肉用牛経営活アップ事業 (農林水産課) 【事項別明細書 212 頁】	繁殖及び肥育牛の多頭飼育経営に取り組む生産組合に対して、肥育牛舎及び堆肥舎などの整備に支援を行った。 事業量 肥育牛舎 1 棟 883 m ² 、堆肥舎 1 棟 93 m ² など 事業主体 平戸地域肉用牛生産組合 受益戸数 2 戸 負担割合 県 1/2 以内 市：県補助残の 32%以内	23,485
放 牧 推 進 事 業 (農林水産課) 【事項別明細書 212 頁】	放牧事業に取り組む組織に対して、種子・肥料の導入及び柵設置など放牧地の整備に対する支援を行った。 強い農業づくり交付金事業（国事業） 事業主体 奥平戸放牧組合（津吉地区） 受益戸数 5 戸 事業量 放牧地整備一式 305a 負担割合 国：定額 70,000 円／10 a 以内 放牧定着化総合対策事業（県事業） ・放牧定着化支援事業 事業主体 西宇戸放牧組合（大島地区） 受益戸数 3 戸 事業量 247a 事業主体 石原放牧部会（生月地区） 受益戸数 3 戸 事業量 372a 負担割合 県：1/2 以内（上限 10,000 円／10 a） ・チャレンジ放牧推進事業 事業主体 個人 受益戸数 1 戸 事業量 21.5 a 負担割合 県：1/2 以内（上限 275,000 円）	2,702

財 源 内 訳				事 業 の 成 果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
6,362			2,116	高齢化等による飼養戸数及び飼養頭数の減少はあるものの、ながさき西海農業協同組合を通じて優良繁殖雌牛の導入支援を行ったことで、経営規模を拡大する農家の取り組みによって飼養頭数の減少抑制及び産地づくりにつながった。
			7,813	第 11 回全国和牛能力共進会宮城県大会平戸市対策推進協議会の活動に対する支援を行うことで、生産者、和牛部会、農協等、地域が上位入賞へ向けて一体となった取り組みを進めることができた。 また、宮城全共に向け、平茂晴の産子及び次世代の優良繁殖雌牛の導入によって、優秀な子牛の生産が可能となり、候補牛の確保が期待できる。
17,791			5,694	新たに低コストによる肥育牛舎（102 頭規模）が整備され、経営規模の拡大及び集団化による生産コストの低減により、経営安定と平戸牛の供給体制の強化に寄与した。
2,702				耕作放棄地等の有効利用により放牧利用面積を拡大し、共同放牧による労働時間や生産コストの削減、また牛舎の空スペースを活用した増頭が可能となり、肉用牛経営の安定に寄与した。

（単位：千円）

事業名	事業内容	事業費
農村災害対策整備 事業県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 214 頁】	県が実施する老朽化した農業用ため池等の改修のための調査・計画書作成、測量・設計及び対策工事にかかる県工事負担金 〔事業予定期間 平成21～32年度〕 生月地区（幸四郎・榎田ため池：対策工事） 負担金 49,123,293 円×16%≒7,860 千円 生月地区（西海岸：落石防護工 H=2 箇所 法面防護工 H=2 箇所） 負担金 239,865,150 円×16%≒38,378 千円 負担割合 国：55%、県：29%、市：16% 大島地区（前田・沖山・藤畑・今久保・長田ため池：測量・設計） 負担金 32,066,000 円×11%≒3,527 千円 負担割合 国：60%、県：29%、市：10%、受益者：1%	49,765
【事項別明細書 216 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 生月地区（幸四郎ため池：対策工事） （落木場・山頭ため池：測量設計） 負担金 90,000,000 円×16%≒14,385 千円 負担割合 国：55%、県：29%、市：14%、受益者：2%	14,385
海岸堤防等老朽化 対策事業県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 214 頁】	県が実施する老朽化した海岸保全施設の改修のための対策工事にかかる県工事負担金 〔事業予定期間 平成 23～25 年度〕 神上地区（消波工） 負担金 54,999,000 円×7%≒3,850 千円 負担割合 国：50%、県：43%、市：7%	3,850
農村災害対策整備 事業 (建設課) 【事項別明細書 214 頁】	老朽化した農業用施設（用水路・排水路など）の改修のための測量・設計及び対策工事を実施した。 〔事業予定期間 平成 21～27 年度〕 生月第 2 地区 総事業費 35,000 千円 うち年度内支出 9,400 千円 落木場排水路（2 工区）改修・志保良地区用水路整備工事 大島第 2 地区（測量一式） 総事業費 25,000 千円 うち年度内支出 5,200 千円 星山用水路、長田排水路、保辺谷排水路、前田排水路整備工事 負担割合 国：55%、県：15%（道路・防護柵 10%） 受益者：生月：4% 大島：2%	14,600
【事項別明細書 216 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 生月第 2 地区 事業費 20,001 千円 落木場地区排水路 L=79.6m ブロック積 A=359.1 m ² 石張工 A=185.5 m ² 落差工 3 箇所 用地買収 A=518.38 m ²	20,001

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
	46,100	1,303	2,362	当該ため池は、堤体及び余水吐などの老朽化に伴い、漏水が発生するなど支障を来たしている状況である。事業完成後は、堤体崩壊に伴う土砂及び水害の防止と農業用水の安定供給につながる。
	11,900	1,800	685	
			3,850	当該海岸保全施設は、経年劣化や波力等の影響により損傷や機能低下が著しい状況である。事業完成後は、頃は機能が十分に発揮され、背後農地や家屋への被害防止につながる。
10,480	3,900		220	当該農業用施設は、老朽化等に伴い、施設本来の機能を発揮できておらず、降雨時に近隣農地等へ雨水が氾濫している状況である。事業完成後は、当該地域で発生する災害から、市民の生命・財産及び生活を守ることができるとともに、農業用施設等の機能の充実により、安定した営農に寄与する。
14,000	5,700	301		

（単位：千円）

事業名	事業内容	事業費
自然災害防止事業 県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 214 頁】	県が実施する海岸堤防等海岸保全施設工事にかかる県工事負担金 〔事業予定期間 平成 25～26 年度〕 大山地区（地すべり対策工事） 負担金 1,470,000 円×20%≒294 千円 負担割合 県：80%、市 20% 江川地区（海岸保全対策工事） 負担金 7,425,000 円×25%≒1,811 千円 負担割合 県：75%、市：25%	2,105
地域ため池総合整備事業 県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 214 頁】	県が実施する老朽化した農業用ため池の改修のための対策工事及び排水路整備のための測量設計にかかる県工事負担金 〔事業予定期間 平成 21～27 年度〕 大島地区（白岩排水路施設整備 1 箇所 L=619m） 負担金 15,386,528 円×9%≒1,385 千円 負担割合 国：60%、県：31%、市：9%	1,385
農道整備事業 (建設課) 【事項別明細書 216 頁】	＜地域の元気臨時交付金事業＞ 災害防止対策事業を実施 農道生月西海岸安全施設工事 7,700 千円 事業内容 落石防止ネット工事 L=29m 鮎川地区排水路災害対策整備事業 2,794 千円 事業内容 U 型側溝敷接工事 L=234m	10,494
農業施設整備事業 (農林水産課) 【事項別明細書 216 頁】	＜地域の元気臨時交付金事業＞ 多目的研修センターグラウンドにおいて、真砂土による舗装工事を行った。 事業量 真砂土舗装工 A=7,038 m ² 事業費 8,000 千円	8,000
市有林管理・緑化事業 (農林水産課) 【事項別明細書 220 頁】	造林事業を計画的に実施し、森林の整備を図った。 事業量 下刈 4.24ha（平戸地区 2.6ha、田平地区 1.64ha）など 事業費 1,532 千円	1,532

（単位：千円）

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
			2,105	農地及び施設が高潮や浸食等による被害から守られるようになる。
	1,300		85	排水路を整備することにより、水災害の防止及び地域住民の安全性が確保されるとともに農業振興に寄与することができる。
10,100			394	降雨等による災害から、人命及び家屋や車両などの財産等について、未然に防止することができるようになった。
7,700			300	年数経過とグラウンドの勾配がないため、水はけが悪く、使用及び維持管理に支障をきたしていたが、真砂土による舗装を行ったことで、グラウンドの機能が改善され、利便性の向上につながった。
412			1,120	市有林の造林事業（下刈）を行ったことにより、植栽木の健全な保育及び生産に向けた環境整備ができた。 また、森林の持つ公益的及び多面的機能が発揮され、水源かん養機能やCO ₂ （二酸化炭素）削減に寄与できた。

事業名	事業内容	事業費
林道環境整備事業 (農林水産課) 【事項別明細書 222 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 市が管理する林道のうち車両通行の妨げとなっていた沿線の草木等について、機械使用による除草、陰切り作業及び側溝の土砂除去などを行った。 委託先 平戸市森林組合 事業量 林道慈眼岳線 L=1, 808m、林道宇戸線 L=3, 825m 林道深川木場線 L=5, 296m、林道中央縦貫線 L=9, 421m 合計 L=20, 350m 事業費 7, 245 千円	7, 245
林道整備事業 (農林水産課) 【事項別明細書 222 頁】	〈地域の元気臨時交付金事業〉 林道田代線において、擁壁、法面及び防護柵等の災害対策整備工事を行った。 事業量 擁壁工 V=59. 8 m³、法面工 A=391. 6 m²、 防護柵工 L=24. 0mほか 事業費 6, 000 千円	6, 000
海岸防災林造成事業 県工事負担金 (農林水産課) 【事項別明細書 222 頁】	県が実施する老朽化した海岸保全施設の改修工事にかかる県工事負担金 〔事業予定期間 平成 24～27 年度〕 根獅子地区 (防潮護岸工など) 負担金 79, 999, 500 円×7%≒5, 600 千円 負担割合 国：50%、県：43%、市：7%	5, 600
環境林整備事業 (農林水産課) 【事項別明細書 224 頁】	防風・防潮林等の公益的機能を有する松林を病害虫から守るため、被害木の伐倒駆除を行った。 事業量 (伐倒駆除) 197. 71 m³ 平戸地区 3. 01 m³ 生月地区 20. 00 m³ 大島地区 174. 70 m³	3, 555
ふるさとの森林づくり事業 (農林水産課) 【事項別明細書 224 頁】	① 森林と農地のバッファゾーン造成事業 2, 730 千円 イノシシの活動拠点となっている樹木等が生い茂り見通しの悪くなっている里山林について、ながさき森林環境税を活用し、樹木の伐採等を行った。 事業箇所 大久保町田の浦地区 事業主体 平戸市森林組合 事業量 1. 99ha 事業費 2, 730 千円 ② 未利用材搬出支援事業 534 千円 製材用としての利用価値が低く採算性が合わないため、林内に放置されている間伐材について、木質バイオマスの原材料として利用するため、搬出に対しての補助を行った。 事業箇所 木場町、大川原町、敷佐町 事業主体 平戸市森林組合 事業量 356 m³×1, 500 円／m³ 事業費 534 千円	3, 264

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
7, 245				林道を利用する森林所有者及び森林整備車両等の安全運行と利用促進が図られた。 また、2 名の新規雇用者は刈払機講習会受講等により技術が向上した。 ○新規雇用者数 2 名
5, 800			200	一部土砂が崩壊し、落石が頻繁に起こるなど通行に支障をきたしていたが、この事業を行ったことで、法面からの落石及び崩落を防止することができ、林道通行の安全性を確保することができた。
	5, 300		300	当該海岸保全施設は、経年劣化や波浪等の影響により損傷や機能低下が著しい状況である。事業完成后は、消波機能が十分に発揮され、保全対象区域の民家、農地及び防災林などへの被害が軽減される。
2, 195			1, 360	防風、防潮林等の公益的機能を有する松林を病害虫から守ることができ、当該地域住民の生活、環境、景観保全に寄与した。
3, 264				①イノシシが農地等に近づきにくいバッファゾーンが造成され、農作物に対する被害の軽減が期待できる。 ②未利用材に対して新たな価値を与え、間伐材を余すことなく有効活用することにより、森林所有者の増収と森林の環境整備に寄与した。

事 業 名	事 業 内 容	事 業 費
自然災害防止事業 (農林水産課) 【事項別明細書 224 頁】	豪雨により、崩壊した民家裏林地について、県の補助事業を活用し、復旧工事を実施した。 後平地区（鏡川町） C=4, 019 千円 神田地区（深川町） C=1, 418 千円 轟地区（草積町） C=2, 184 千円	7, 621
森林病害虫獣対策事業 (農林水産課) 【事項別明細書 224 頁】	防風・防潮林等の公益的機能を有する松林を病害虫から守るため、防除を実施した。 地上散布 6. 74ha（平戸地区 2. 84ha、大島地区 3. 90ha） 空中散布 84. 0ha（大島 84. 0ha） 樹幹注入 328本（平戸147本、生月181本）	5, 717
森林整備地域活動支援交付金事業 (農林水産課) 【事項別明細書 224 頁】	小規模で分散している森林をとりまとめて、一体的に施業を行う集約化を進めるため、森林情報の収集活動、森林調査、合意形成活動などを実施する団体に対して支援を行った。 事業内容 施業集約化の促進活動 30ha 事業主体 県林業公社 負担割合 国：100%	450
漁場整備事業県工事負担金 (農林水産課) 【事項別明細書 226 頁】 【事項別明細書 228 頁】	県が実施する「水域環境保全創造事業（海藻バンク整備事業）」にかかる県工事負担金（A=0. 8ha） 総事業費 63, 000 千円 国費 31, 500 千円 県費 28, 350 千円 地元負担金 3, 150 千円（5%）	3, 150

（単位：千円）

財 源 内 訳				事 業 の 成 果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
3, 809		1, 906	1, 906	林地の現況復旧と再崩壊を防止し、市民生活の安全を確保することができた。
4, 294			1, 423	防風、防潮林等の公益的機能を有する松林を病害虫から守ることができ、当該地域住民の生活、環境、景観保全に寄与した。
450				森林所有者の林業経営意欲の向上に寄与できた。また、施業後は、適切な森林整備がなされ、森林の有する公益的及び多面的機能発揮が期待される。
	3, 000		150	大島村漁協共同漁業権内（大島村的山地先）に磯焼け対策の一環として、核藻場を整備したことにより、継続した母藻の供給が期待される。

事業名	事業内容	事業費
離島漁業再生支援 交付金事業 (農林水産課) 【事項別明細書 228 頁】	漁業生産や販売の面で本土地区に比べ不利な条件が強いられる離島地区の中で、漁業者自ら策定した活動計画（集落協定）に基づき、沿岸漁業の振興に取り組む漁業集落に対して一定額の交付金を交付した。 対象地区 度 島 42 世帯 5,712 千円 高 島 4 世帯 544 千円 的 山 26 世帯 3,536 千円 大根坂 21 世帯 2,856 千円 推進事務費 300 千円 単独事務費 2 千円	12,950
水産環境整備事業 (建設課) 【事項別明細書 228 頁】	磯焼け対策として、的山大島地区の大根坂地先に藻場礁を整備するにあたり、調査測量設計を行った。 藻場礁整備 設置場所 的山大島地区（大根坂地先） ・事業費 5,544 千円 調査測量設計一式、資材単価特別調査 ・事務費 126 千円	5,670
豊かな海づくり事業 (農林水産課) 【事項別明細書 228 頁】	市内の漁業者、漁協及び団体が取り組む水産業振興策を支援するため、市単独の補助金を交付した。 ①底質改良剤散布〔環境保全対策支援事業〕 370 千円 中野漁業協同組合 <220 千円> 平戸市漁業協同組合 <150 千円> ②磯焼け対策〔資源管理型漁業推進事業：フルボ酸鉄〕 500 千円 生月漁業協同組合 ③製氷機にかかると純水器の導入〔高付加価値型漁業の振興対策〕 平戸市漁業協同組合 555 千円 ④真空脱気包装機の導入〔高付加価値型漁業の振興対策〕 473 千円 南新会	1,898
密漁取締連携推進 事業 (農林水産課) 【事項別明細書 228 頁】	密漁対策のため、平戸市管内の漁協で組織された北松海域漁場監視連絡協議会が実施する漁業者による密漁監視のための自警活動に対し、監視活動に使用する船舶の運航経費の一部を補助した。 総事業費 3,390 千円 密漁監視活動実績 226 回 県費 1,130 千円 (1/3；直接補助) 市費 565 千円 (1/6) 負担金 1,695 千円 (1/2；協議会自己負担金)	565

財 源 内 訳				事 業 の 成 果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
9,740			3,210	各漁業集落の地域特性を活かした「漁場生産力の向上に関する取り組み」及び「集落の創意工夫を活かした新たな取り組み」を展開し、種苗放流、産卵場の整備、磯焼け対策、食害生物を利用した加工品の開発、簡易加工施設の整備、直売所の運営等を行うことができた。
4,620	1,000		50	調査設計を実施したことで、藻場を造成するための整備を行う環境が整った。
			1,898	①養殖漁場の環境改善を図り、底質改良剤の散布を実施したことにより、持続可能な養殖事業に寄与した。 ②磯焼けが進行している地先に、フルボ酸鉄ユニットを設置したことにより、フルボ酸鉄供給の有効性について継続した検証（経年変化）を行うことができるようになった。 ③純水器の導入を行うことにより、製氷工場における氷の原料水及び冷却機の冷却水の硬度を下げ、冷却機の見詰まりによる製氷機の停止障害を防ぎ、組合員に対する破氷の安定供給につながった。 ④水産加工に関して真空脱気包装機の導入を行うことにより、腐敗や酸化により劣化が進みやすい水産加工品の保存方法を改善することができた。
			565	市内の漁協管内で域内に発生する密漁の効率的な排除と密漁情報の共有システムを確立し、漁場監視体制の整備強化につながった。

事業名	事業内容	事業費
農林漁業振興資金 利子補給事業 （農林水産課） 【事項別明細書 228 頁】	漁業者の資本装備の高度化を図り、漁業経営の近代化等に資するため、制度資金（漁業近代化資金等）を融資した金融機関（漁協）に対し、利子補給金を交付した。 農林漁業振興資金利子補給（利子補給率 1.5%以内） 期首融資残高 140 件 432,197 千円 平成 25 年度新規貸付実行状況 14 件 70,490 千円 利子補給額 平戸市漁協 1,065 千円 中野漁協 67 千円 志々伎漁協 2,079 千円 九十九島漁協 20 千円 生月漁協 75 千円 大島村漁協 101 千円	3,407
水産業普及指導事業 （農林水産課） 【事項別明細書 228 頁】 【事項別明細書 230 頁】	①資源管理型漁業の推進 3,760千円 ・放流対象種 オニオコゼ、ヒラメ、クロアワビ、アカウニ ・放流箇所及び数量 平戸地先 オニオコゼ (50mm) 10,000尾 < 800千円> 志々伎地先 ヒラメ (154mm) 10,300尾 <1,190千円> 田平・志々伎地先 クロアワビ (25mm) 10,000個 <1,050千円> 平戸・津吉・中津良地先 アカウニ (10mm) 60,000個 < 720千円> ②中間育成試験 567 千円 ・獅子・中津良地区（海面中間育成） クロアワビ (15mm) 10,000個 <473千円> 餌（塩蔵ワカメ） <94千円> ③貝毒対策 14 千円 ・麻痺性貝毒モニタリング検査関係 <14千円> ④船舶借上料 95千円 藻場調査・水産教室・現地打合せ 等 <95千円> ⑤その他事務費（旅費、賃金） 95 千円	4,531
離島輸送コスト支援事業（水産物） （農林水産課） 【事項別明細書 230 頁】	本市離島地域の農水産業の競争力を低下させる要因となっている海上輸送コストに係る経済的負担の軽減を図ることを目的に水産物の海上輸送費の一部を助成した。 事業期間：平成25年6月1日～平成26年3月31日 大島村漁業協同組合 輸送費 1,188,522円×（国1/3+市1/3）≒784千円 平戸市漁業協同組合（度島事業所） 輸送費 481,030円 ×（国1/3+市1/3）≒310千円	1,094

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
			3,407	借り手である漁業者の金利負担を軽減し、生産性の向上と所得の安定に寄与した。
	4,300		231	①減少傾向にある水産資源を維持安定（持続的利用）させるためには、種苗放流と同時に、“漁獲規制”を導入する資源管理型漁業が不可欠となる。資源管理型漁業への取り組みを推進するため操業規制の導入及び県水産試験場等の推奨する最適放流手法の管内への普及に寄与した。 ②アワビ種苗の放流については魚価の低迷や沿岸域の磯焼けの深刻化により水揚げが減少していく中で、地元漁協でも十分な資金が確保できず放流数量を調整するなどして対応している現状である。市が地元の協力を得ながらアワビの放流用種苗よりも安価な中間育成種苗の育成試験を実施し、高生存率を維持しながら放流適性サイズまで成長させるためのデータ、直接放流と中間育成放流の採算性を比較するための資料を収集することができた。 ③管内のマガキについて、麻痺性貝毒のモニタリング検査を実施したことで、食中毒及び風評被害の防止ができた。
547	501		46	地場産業の活性化と離島の自立的発展を促す切っ掛けづくりを支援することで、離島という地理的条件の不利を軽減することができた。

事業名	事業内容	事業費
漁業担い手確保推進事業 (農林水産課) 【事項別明細書 230 頁】	21 世紀の漁業担い手確保推進事業補助金 技術習得支援事業 (大島) 100,000 円×1 人× 6 月＝ 600 千円 (生月・志々伎) 150,000 円×3 人× 6 月＝2,700 千円 (志々伎) 100,000 円×1 人×12 月＝1,200 千円 保険料 等 50,000 円× 1 人＝50 千円 25,000 円×4 人＝100 千円	4,650
産地水産業強化支援事業 (農林水産課) 【事項別明細書 230 頁】	事業主体 ハード事業：大島村漁業協同組合 ソフト事業：宮ノ浦地区産地協議会 事業内容 ハード事業：大島村漁協大根坂支所の船台上架施設の改修 船体転倒防止装置付台車：1 式 軌条 1 線 巻揚機 1 台 ソフト事業：ウチワエビ販売促進事業 事業費 ハード事業：18,500 千円 (補助対象事業費) 補助金内訳：11,840 千円 国費 7,400 千円 (40%) 県費 1,850 千円 (10%) 市費 2,590 千円 (14%) ソフト事業：898 千円 補助金内訳：225 千円 (補助対象事業費) 市費 225 千円 (1/4) 附帯事務費：182 千円 (うち国庫補助 90 千円)	12,247
水産多面的機能発揮対策事業 (農林水産課) 【事項別明細書 230 頁】	漁業者を主体とする志々伎地区磯焼対策活動組織が、国の交付金事業を活用して取り組む藻場の保全活動に関して、「長崎県水産多面的機能発揮対策地域協議会」に負担金を交付した。 負担金： 465 千円 [活動費1,860 千円×1/4] ※負担区分は、国1/2、県1/4、市1/4 事務費：301 千円 (うち国庫補助 300 千円)	766

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
2,323			2,327	漁家子弟（漁業後継者）及び I ターン者が新規就業するに際し、漁業技術の習得期間中における生活費等の支援を行い、後継者の確保につなげることができた。
9,340			2,907	・ハード事業 漁船の上架施設を改修したことにより、上架時の省力化が図られたとともに、船底清掃の徹底により燃油の節減も期待できる。 ・ソフト事業 ヒラメに次ぐ重要な地域資源であるウチワエビについて、関東・関西・福岡地区を中心とする販促活動を行ったことにより、取引店舗も徐々に増えつつある。また、ウチワエビを利用した加工品についてもメーカーと開発中である。
300			466	対象地区において、漁業者を主体とする活動組織が、地先の藻場の状況に応じて磯焼け対策方法を協議し、ウニ類の駆除や定期的なモニタリング調査を実施した。今後の活動の継続によって藻類への食害圧の低減につながる事が期待される。

事業名	事業内容	事業費
水産環境保全創造事業 (建設課) 【事項別明細書 232 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 磯焼け対策として、志々伎湾の野子町地先に藻場礁を整備した。 藻場礁整備 設置場所 平戸市野子町地先 ・事業費 58,617 千円 自然石投入 V=9,600m³ 母藻ブロック 30 基 ・事務費 32 千円	58,649
漁村再生交付金事業 (建設課) 【事項別明細書 234 頁】	白石漁港において、毎年、冬季波浪により漁業活動に支障をきたしている状況にあり、安全上の観点から改善が必要であるため、国の事業を活用し、北防波堤の整備を実施した。 ・白石漁港 事業費 50,001 千円 北防波堤（新設）1 式 被覆ブロック製作 N=278 個 方塊製作 N=43 個 消波ブロック製作 N=29 個 ・事務費 549 千円	50,550
【事項別明細書 238 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 漁獲物陸揚げ時における衛生環境の改善を図るため、水揚げ拠点である志々伎浦漁港の荷捌き所前面物揚げ場に防暑施設の整備を実施した。また、荒天時における漁船の安全確保を目的として、福良漁港に防風フェンスの整備を実施した。 ・志々伎浦漁港 事業費 42,085 千円 A 岸壁(改良)防暑施設 L=33.2m ・福良漁港 事業費 8,332 千円 福良東外防波堤 基礎工 L=50.9m・測量・設計 1 式 ・事務費 405 千円	50,822

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
48,848	9,300		501	自然石及び母藻ブロックを設置するなど、磯焼け対策の整備を行った結果、沿岸域の水産資源の回復を図るための環境を構築できた。
33,750	15,100	812	888	漁船の係留、出入港、漁獲物の陸揚げ時に支障をきたしている状況が改善し港内の静穏度が向上し、漁船の安全が確保されるとともに、当漁港で行われている地域活性化に有効な漁業体験等を安全に取り組むことができるようになる。
34,031	15,100	819	872	志々伎浦漁港において、防暑施設の整備を行った結果、直射日光や風雨の影響を受けることが無くなったため漁獲物の鮮度が保持できており、水揚げ環境の改善につながった。また、福良漁港において、防風フェンスの測量設計及び基礎工事を実施したことで、防風フェンス本体の整備に向けた準備が整った。

事業名	事業内容	事業費
地域水産物供給基盤整備事業 (建設課) 【事項別明細書 234 頁】 【事項別明細書 236 頁】	生産拠点漁港である獅子漁港において、荒天時の越波により、漁船及び漁業活動に支障をきたしているため、西防波堤の改良を実施した。また、早福漁港において、漁港内に土砂が堆積し、舵が接触するなど漁業活動に支障をきたしているため港内の浚渫を行った。また、漁業体験施設として活用する旧早福分校への道路整備を実施した。 ・獅子漁港 西防波堤(改良)L=5.5(30)m 総事業費 85,000 千円 うち年度内支出 43,100 千円 ・早福漁港 浚渫 L=98m(A=2,261 m ²) 道路 建物調査 1 式・不動産鑑定評価 1 式 用地買収 A=1653.40 m ² ・建物補償 2 棟 工作物補償 1 式 ・事務費 2,564 千円	57,521
【事項別明細書 238 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 ・獅子漁港 西防波堤(改良)L=10m 堤体工 L=10m・上部工 L=35m 消波工 L=7m ・獅子漁港 (2 工区) 西防波堤 (改良) L=0(16.2)m 堤体工 L=15m・基礎工 L=16.2m ・早福漁港 工作物調査 1 式・不動産鑑定評価 1 式 ・事務費 202 千円	81,161
漁港関連道路整備事業 (建設課) 【事項別明細書 236 頁】	生産拠点漁港である獅子漁港から主要地方道までの道路が狭隘であり、大型活魚車両等の通行の際に、地元車両や歩行者などが危険な状況となっているため、国の関連道路整備事業を活用し道路整備を実施した。 ・獅子漁港 関連道路整備 L=160m 土工 1 式、擁壁工一式、小型水路工 L=132m、舗装工 A=810 m ² 土地購入 2 筆 A=94.33 m ² 家屋補償 3 棟 ・事務費 340 千円	10,384
【事項別明細書 240 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 ・獅子漁港事業費 測量設計一式、不動産鑑定 1 式、建物調査 3 棟、相続関係調査 1 式 ・事務費 89 千円	16,889

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
37,096	18,600	873	952	獅子漁港において、西防波堤の改良を行った結果、港内の静穏度が向上し、漁船の安全が確保されるとともに、漁獲物陸揚げ時の円滑化に寄与した。 また、早福漁港内の浚渫を実施したことで、舵の接触や船内で一時蓄養する際の漁獲物の死滅といった被害が無くなった。さらに、漁業体験施設として活用する旧早福分校までの道路整備に必要な諸調査及び用地買収を実施したことで、都市交流や地域間交流を促進し、当地域の活性化につなげるための道路整備を行う環境が整った。
54,646	23,800	1,304	1,411	
6,780	3,500		104	一定区間の道路整備が完了したことで活魚等水産物の流通環境の改善が図られ、大型活魚車両が通行する際に、地域住民が安心して通行できる環境が整えられた。
11,340	5,200		349	

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費
水産物供給基盤機能保全事業 (建設課) 【事項別明細書 236 頁】	施設整備後数十年が経過している施設について、国の補助事業を活用し老朽化対策事業を実施した。 ・機能保全工事：宝亀漁港 総事業費 70,000 千円 うち年度内支出 2,000 千円 京崎防波堤機能保全工事 L=22.7m ・事務費 189 千円	2,189
【事項別明細書 238 頁】	【平成24年度繰越明許費】 ・機能保全調査及び機能保全工事 事業費 71,053千円 機能保全調査：一六、生向、須草、泊ヶ浦、主師、白石、春日 高越、飯良、西浜 機能保全工事：古田漁港 古田防波堤 L=94.6m ・事務費 179 千円	71,232
漁業集落環境整備事業 (建設課) 【事項別明細書 236 頁】	早福漁港において、漁業集落における生活環境の改善を行うことにより、快適な漁港環境を形成し、併せて漁業者が安心して就業できる環境を構築することを目的に集落道路の整備を実施した。 ・早福漁港：集落道 L=241 (291.3) m 集落排水路 L=84.6m 建物補償3棟 総事業費 45,000千円 うち年度内支出 18,717千円 ・事務費 18 千円	18,735
【事項別明細書 238 頁】 【事項別明細書 240 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 ・早福漁港：集落道 L=145.1m (149.4) m 事業費 42,485 千円 土地購入 171.39 m ² 、家屋補償 4 棟、工作物補償 1 件 水道管移転補償一式、電柱移転補償 1 本、建物事前調査 11 棟 集落排水路 L=84.6m ・事務費 28 千円	42,513
漁港施設整備事業 (建設課) 【事項別明細書 236 頁】	〈地域の元気臨時交付金事業〉 冬季波浪等により漁業活動に支障をきたしているが、補助事業に該当しない漁港施設を整備した。 事業内容 ・福良漁港養浜工潜堤調査業務委託 ・高越漁港西防波堤嵩上げ工事 ・古田漁港防風フェンス整備工事 ・根獅子漁港西防波堤防風フェンス整備事業 ・古田漁港 I 護岸改良工事 ・主師漁港小主師護岸改良工事 ・獅子漁港越波対策工事 ・宝亀漁港 P 護岸単独災害復旧工事 ・福良漁港運動公園ポケットビーチ改修工事	24,999

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
1,000	1,100		89	防波堤の改修工事を行うことで、漁港施設の延命化が図られ、安全・安心な漁港として施設の機能が維持できる。
35,495	26,300		9,437	
12,166	6,300		269	集落内の狭隘な道路及び側溝の整備により災害時及び救急時における迅速な活動が可能となる。また、衛生車両が進入できるようになることで衛生環境が改善される。
27,615	14,100		798	
23,400			1,599	当事業を活用して整備を行った結果、これまで支障をきたしていた状況が改善し、漁船の安全係留及び荒天時における漁業者の安全が確保された。

事 業 名	事 業 内 容	事 業 費
漁港整備事業県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 236 頁】 【事項別明細書 238 頁】	基幹的な漁港である県営漁港の施設を充実させるため、漁港整備計画に基づき県が実施している建設事業にかかる県工事負担金 漁港整備事業県工事負担金 50,452 千円 《水産生産基盤整備事業》 ・生月漁港 ＜事業費 158,000 千円＞ 市負担額 19,750 千円 【うち年度内 事業費 93,077 千円 市負担額 11,635 千円】 ～2m 物揚場（改良）L=88m 浮棧橋 1 式 - 用地（改良）L=1,100m ・薄香湾漁港 A=4,994 m² ＜事業費 125,000 千円＞ 市負担額 15,625 千円 【うち年度内 事業費 49,024 千円 市負担額 6,128 千円】 - 潮の浦護岸（改良）L=27m、潮の浦東防波堤（改良）L=80m - 道路 1 式、浮棧橋 1 式、曲り護岸（改良）1 式 《県北北部地区漁村再生交付金》 ・前津吉漁港 ＜事業費 39,111 千円＞ 市負担額 4,889 千円 【うち年度内 事業費 35,074 千円 市負担額 4,384 千円】 - 道路 94.8m、内防波堤（改良）L=20.1m、護岸（改良）L=15.8m ・館浦漁港 ＜事業費 242,172 千円＞ 市負担額 30,271 千円 【うち年度内 事業費 219,522 千円 市負担額 27,440 千円】 - 浮棧橋 1 基 ・田助漁港 ＜事業費 20,000 千円＞ 市負担額 2,500 千円 【うち年度内 事業費 0 千円 市負担額 0 千円】 ～3m 航路 A=1,100 m² V=1,100 m³ ・前津吉、館浦、田助漁港 ＜事業費 7,718 千円＞ 市負担額 965 千円 【うち年度内 事業費 0 千円 市負担額 0 千円】 - ハザードマップ作成 3 漁港 《県単独修築事業》 ・薄香湾漁港 ＜事業費 1,818 千円＞ 市負担額 455 千円 【うち年度内 事業費 1,818 千円 市負担額 455 千円】 - 浮棧橋 1 式 ・生月漁港 ＜事業費 5,857 千円＞ 市負担額 410 千円 【うち年度内 事業費 5,857 千円 市負担額 410 千円】 ・海岸開口部対策 1 式	50,452

（単位：千円）

財 源 内 訳				事 業 の 成 果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
	44,800	2,499	3,153	県営漁港の整備を行うことで、漁港用地の有効活用が可能となり、漁船が安全に係留できるなど漁港機能の向上が期待できる。 また、県の単独事業を実施したことにより、施設の機能が充実し、漁業就労環境の改善が期待できる。

事業名	事業内容	事業費
漁港整備事業県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 238 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 《水産生産基盤整備事業》 ・生月漁港 事業費 110,755 千円 市負担額 13,845 千円 -2m物揚場 L=88m、内防波堤 (A) L=30m ・薄香湾漁港 事業費 3,978 千円 市負担額 497 千円 潮の浦護岸改良 1 式 ・宮ノ浦漁港 事業費 86,038 千円 市負担額 10,755 千円 浮栈橋 1 基 《地域自主戦略交付金》 ・前津吉漁港 事業費 16,052 千円 市負担額 2,007 千円 道路 1 式、護岸 (改良) 1 式、内防波堤 (改良) 1 式 《農山漁村交付金》 ・館浦漁港 事業費 31,591 千円 市負担額 3,949 千円 浮栈橋一式 ・度島漁港 事業費 5,000 千円 市負担額 625 千円 船揚場 (滑り材) L=15m	31,677
漁港施設機能強化事業 (建設課) 【事項別明細書 238 頁】	防波堤からの越波により、漁港施設及び漁船への被災を繰り返している状況にあるため、当事業を活用し防災対策工事を実施した。 ・下中野漁港 総事業費 80,000千円 北防波堤 (改良) L=0 (30.23) m うち年度内支出14,900千円 ・志々伎浦漁港 総事業費 100,000千円 西防波堤 (新設) L=0 (30) m うち年度内支出18,800千円 ・事務費 454 千円	34,154
【事項別明細書 240 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 ・下中野漁港 事業費 55,902千円 北防波堤 (改良) L=20.1 (30.21)m、基礎工 N=1.0式 堤体工 L=15.17m、上部工 L=20.1 (30.21)m ・志々伎浦漁港 事業費 14,054千円 測量設計一式、地質調査 5箇所 ・事務費 111千円	70,067

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
	28,000	1,584	2,093	県営漁港の整備を行うことで、漁港用地の有効活用が可能となり、漁船が安全に係留できるなど漁港機能の向上が期待できる。 また、県の単独事業を実施したことにより、施設の機能が充実し、漁業就労環境の改善が期待できる。
22,747	10,200	547	660	漁港施設への被災や、防波堤からの越波による漁船への被災が回避されるなど、漁港機能が充実し、当漁港を安心して利用できる環境が整えられる。
47,182	20,600	1,135	1,150	

【 7 款 商工費 】

本市の商工関連産業に関しては、人口減少や購買力の流出、事業主の高齢化と後継者不足などにより依然として厳しい経営状況が続いている。

企業誘致対策は、地域経済の活性化や人口流出に歯止めをかけるための重要な施策であるが、本市の地理的要因などにより厳しい状況にある。市としては、これまでの地道な企業訪問実績を基に、長崎県産業振興財団や県とも連携を図りながら、誘致活動を継続している。

物産振興においては、農林水産業と観光商工及び物産関連分野との連携による地場産品の地域ブランド化に取り組んだ。これまで主に福岡都市圏をターゲットとしていたが、首都圏も新たな物産戦略のターゲットとして情報発信、販路開拓及び取引拡大などにつなげる事業を展開した。

イベントでは、昨年に引き続き「平戸くunch城下秋まつり」を実施し、食とイベントの融合と商店街の活性化を図る取り組みとして、2日間で県内外から約2万人を誘客した。また、平戸を代表する特産品である「あご」のブランドを確立するため、新名物料理「平戸あごだしちゃんこ鍋」をメインとした「平戸鍋ざんまい喰らいMAX」を開催し、誘客とともに、“平戸のあご”、“平戸の豊富な食材”をPRすることができた。

観光面では、平成25年の観光客数は177万1千人で、前年より約7万人(4.1%)増加した。内訳として、日帰り観光客は138万9千人で、前年より約6万5千人(4.92%)増加となり、宿泊客数も25万4千人で、約4千人(1.4%)増加となった。観光消費額は、105億2千万円で約5億4千万円(6.0%)増加した。

主な要因としては、平戸英国商館設置400周年記念事業をはじめ、映画「あなたへ」の効果が継続したこと、さらには、東アジアからの誘客が期待される鄭成功記念館が開館したほか、平戸瀬戸市場の観光拠点としての定着化も相まって、日帰り観光客が大きく伸びたこともあり、観光客の増加につながった。

宿泊者数については、5月の春行楽シーズンに入り、団体や個人旅行者が増えはじめたことや全国高校総体、福岡の大手進学塾の企画合宿等の開催により夏場までは宿泊客が増加した。9月に入り市内の宿泊施設における火災による休業や相次いだ台風の上陸により宿泊者のキャンセルの影響もあり、低調な宿泊者となった。

一方、外国人観光客は、円安効果をはじめ、平成25年に県内では初の韓国ウォーキング公認コースの九州奥の認定を受けたことやキリスト教紀行の定着化で韓国からの観光客が大きく増加、さらには、平成22年に発足した平戸市・嬉野市・武雄市・雲仙市・福岡市の5市による「東アジア誘客3県都市連携会議」の台湾でのPR効果もあり、台湾からの観光客も増加したと考えられる。

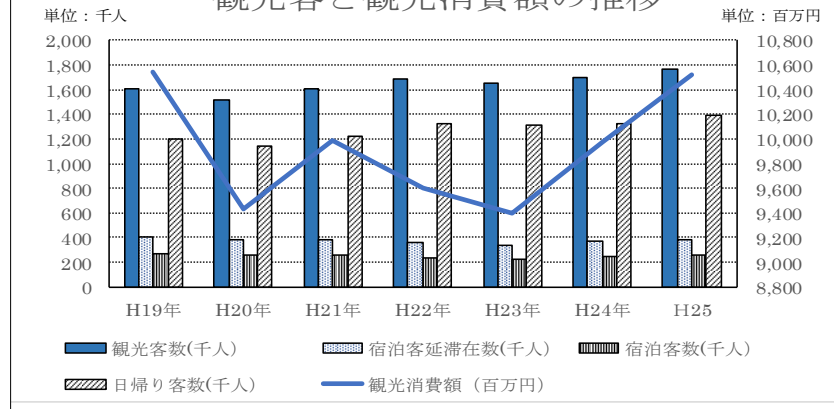
また、各種イベントスタッフや新たな平戸ファンの確保を目指し、平戸観光応援隊を設置した。

その他、平戸検定を実施し、観光ガイド等の育成を図るとともに、市長のトップセールスや一般社団法人まつうら党交流公社へ支援、各種メディアを通じて情報発信を行い観光客の誘客に努めた。

観光客数の推移

	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年
観光客数(千人)	1,602	1,522	1,608	1,681	1,651	1,701	1,771
宿泊客延滞在数(千人)	408	383	384	355	342	376	382
宿泊客数(千人)	272	255	256	237	228	251	254
日帰り客数(千人)	1,194	1,139	1,224	1,326	1,309	1,325	1,389
観光消費額(百万円)	10,543	9,429	9,993	9,604	9,402	9,975	10,518

観光客と観光消費額の推移



(1) 中小企業振興対策

商工会議所及び商工会が実施する事業への支援を通じて、中小企業の育成に取り組むとともに、平戸市中小企業振興資金融資制度を活用し、市内中小企業の経営に必要な資金調達の支援をした。

また、中小企業者の円滑な資金調達を支援するため、平成26年度中小企業振興資金融資制度の改正に向けて、商工団体及び金融機関と協議を行った。

(2) 商工業の振興と活性化

長崎県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業により「ひらどキャラクターまちなか賑わい事業」を実施し、観光協会、商工会議所及び商工会をはじめ地域の商店とも連携し、観光客の商店街誘客を図るなど商店街の賑わいの創出に取り組んだ。

また、平戸市中心市街地の賑わいを創出するため、商店街を舞台とした平戸くunch城下秋まつりを開催し、「食」及び「物産」のPRとともに、商店街活性化にも寄与することができた。津吉地区においては、「平戸市やらんば市民活動モデル事業」を活用し、津吉商店街を中心とした商業者が主体となったイベント事業を展開した。加えて、商工業者支援策として、長崎県産業振興財団、商工会議所及び商工会と共催し、「商品販売戦略セミナー」を開催した。

(3) 企業誘致対策

本市の企業誘致対策は、交通アクセス、通信インフラなどの問題で企業が立地するために必要な条件が十分に整っているとは言えず、非常に厳しい状況にあるものの、継続的な営業訪問を行うとともに、新たな工業団地整備のための適地調査を行い、候補地の選定を行った。

【 7 款 商工費 】

（４）物産の振興

平戸ブランドの確立による地場産業の活性化を目的として、平戸市地域資源ブランド化推進協議会を中心に進めている「平戸ブランド戦略的プロモーション推進事業」において、第二期の「平戸ブランドプロモーション計画」として、これまでの福岡都市圏での事業展開に新たに首都圏をターゲットに加え、平戸製品の情報発信や販路・取引拡大を図るため、直売所との通年取引、ホテルや飲食店などでのフェアや物産展を開催するとともに、メニュー開発、ギフト商品の企画・販売などを行った。

（５）外国人観光誘客の推進

東アジアをターゲットとした外国人観光客の誘客を目的に、平成 22 年に発足した平戸市、雲仙市、嬉野市、武雄市、福岡市の 5 市による「東アジア誘客 3 県都市連携会議」で、台湾からの誘客を図るため、台北での観光説明会開催や JNTO 主催訪日台湾教育旅行現地説明会出席する等、台湾でのセールス活動を行い誘客に努めた。
また、平成 25 年 2 月に平戸が、長崎県内では唯一九州オルレの正式なコースに選定されたことにより、受入のための体制整備を行った。

事 業 名	事 業 内 容	事 業 費
にぎわいづくり 支援事業 (商工物産課) 【事項別明細書242頁】	商工業の振興を図るため、商店街の活性化・新商品の開発・特産品の販路開拓、創業支援などに取り組む団体及び事業者に対して支援を行った。 ①新商品・新技術開発事業 1 件 400千円 ・平戸酒器セットの開発 ②販路開拓事業 1 件 115千円 ・東京板橋区大山商店街「平戸じげもんうまか市」	515
中小企業振興対策 事業 (商工物産課) 【事項別明細書242頁】	○商工金融対策 中小企業者の経営安定による地域経済の活性化を図るため、中小企業者に対する融資制度の利用促進及び負担軽減のための支援を実施した。 ①中小企業振興資金預託金 103,062千円 ②中小企業振興資金保証料差率補填補助金 65千円 ③中小企業緊急対策融資資金助成金 22千円 ④平戸商工会議所補助金 2,860千円 ⑤平戸市商工会運営補助金 8,595千円 ⑥街路灯組合補助金 997千円 ⑦その他の事業経費 501千円	116,102

（６）観光施設の整備

東アジアをはじめ国内外からの誘客を図り、交流人口の拡大と地域の活性化につなげることを目的に、本市で生まれたアジアの英雄「鄭成功」が生まれ過ごした生家を再現し、「鄭成功記念館」として開設した。
また、平戸城の耐震設計を実施し耐震補強工事の準備を行うとともに、その他の各観光施設についても適正な維持管理に努め、利用者の利便性向上と安全確保を図った。

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果																												
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源																													
		515		新商品・新技術の開発、商品販路開拓費用などを補助し、商工業の振興、物産振興につなげることができた。																												
		103,062	13,040	県信用保証協会に対して信用保証料の一部を助成することにより、市内中小企業者が経営に必要な資金の融資を円滑に行うことができ、中小企業者の経営の安定化に寄与した。 ①中小企業振興資金預託金融資実績 (単位：千円) <table><tr><th rowspan="2">金 融 機関名</th><th colspan="2">融 資</th><th rowspan="2">償 還 金 額</th><th colspan="2">残 高</th></tr><tr><th>件数</th><th>金額</th><th>件数</th><th>金額</th></tr><tr><td>親和銀行 平戸支店</td><td>3</td><td>8,100</td><td>9,570</td><td>10</td><td>14,254</td></tr><tr><td>十八銀行 平戸支店</td><td>5</td><td>13,500</td><td>11,029</td><td>6</td><td>10,770</td></tr><tr><td>計</td><td>8</td><td>21,600</td><td>20,599</td><td>16</td><td>25,024</td></tr></table>	金 融 機関名	融 資		償 還 金 額	残 高		件数	金額	件数	金額	親和銀行 平戸支店	3	8,100	9,570	10	14,254	十八銀行 平戸支店	5	13,500	11,029	6	10,770	計	8	21,600	20,599	16	25,024
金 融 機関名	融 資		償 還 金 額	残 高																												
	件数	金額		件数	金額																											
親和銀行 平戸支店	3	8,100	9,570	10	14,254																											
十八銀行 平戸支店	5	13,500	11,029	6	10,770																											
計	8	21,600	20,599	16	25,024																											

事業名	事業内容	事業費
平戸ブランド戦略的プロモーション推進事業 (商工物産課) 【事項別明細書 242 頁】	首都圏を中心に、共同アンテナショップを活用した年間を通じた取引開拓、百貨店での物産展、ホテル等による平戸製品の活用を推進するとともに、料理専門学校とタイアップしたプロモーションを推進することにより、平戸製品の認知度向上と販路（取引量）の拡大を図る事を目的に事業を実施した。 ○事業費 20,000 千円 (市費 10,000 千円、県補助金 10,000 千円) ・直売店舗における平戸製品の通年取引 ・百貨店における物産展開催 ・ギフト商品の開発・販売 ・ホテル・飲食店における平戸製品活用 ・料理専門学校連携平戸製品活用メニュー提供 ・グルメ情報誌への平戸の地域資源掲載 ・「平戸あごだしちゃんこ鍋」の商品普及、イベント開催	10,000
平戸くんち城下秋まつり開催支援事業 (商工物産課) 【事項別明細書 242 頁】	平戸城下旧町地区商店街を会場に「食」「物産」をメインとした“平戸ならではの”の趣向を凝らしたおもてなしをコンセプトに、街歩き（散策）型のイベントを開催した。 ○期日：平成 25 年 10 月 26 日（土）・27 日（日） ○場所：平戸城下旧町地区商店街	11,000
地域資源ブランド化推進事業 (商工物産課) 【事項別明細書 244 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 「平戸市地域資源ブランド化推進協議会」に事業を委託し、平戸市の地域資源を活かした産品を「平戸ブランド」として位置づけ、福岡都市圏をターゲットとした情報発信や販路開拓などのマーケティングを展開した。新規雇用者に対しては、誘客、販売等を行える人材育成にも努めた。	6,192
平戸ブランド定着促進事業 (商工物産課) 【事項別明細書 244 頁】	福岡都市圏において平戸＝食のイメージ醸成、生鮮・加工品における販路拡大のための物産展やフェアの開催、恒常的な産品取引、物産展等への出店を実施した。 ・年間を通じた取引確立 ・百貨店・スーパーにおける物産展開催 ・ホテルフェア開催及びメニュー化 ・インターネットによる情報発信・販売システムの構築 ・平戸ブランドの確立	5,983

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果												
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源													
			10,000	首都圏を中心として、年間を通じて平戸産品が購入できる場所（店舗）、飲食店等を創出した事で、フェアや各種プロモーションによる平戸産品の認知度向上から購入まで連動した事業を展開できた。これらの直接取引は、消費者に“長崎県平戸産”を伝える販売展開を実施しており、平戸市の総合的な情報発信へともつながった。また、料理専門学校と連携した事業を実施したことにより、食を通じたネットワークを活かして“本物思考”の飲食店やホテル、企業など広く平戸産品の普及ができた。併せて、料理業界の著名人と連携したメニュー開発や情報発信、百貨店での「平戸市物産展」開催、「九州展」「長崎展」における“平戸の日”開催など平戸産品のブランド力の向上へつながることができた。												
	11,000			市民や本市を訪れる観光客に対して、平戸の「食」「物産」をPRすることができ、交流人口の拡大にもつながった。 平戸くんち城下秋まつり <table> <tr> <th></th> <th>来場者数（人）</th> <th>売上額（千円）</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>20,000</td> <td>8,402</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>20,000</td> <td>7,666</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>21,000</td> <td>7,680</td> </tr> </table> ※売上額については、チケット売上額		来場者数（人）	売上額（千円）	H23	20,000	8,402	H24	20,000	7,666	H25	21,000	7,680
	来場者数（人）	売上額（千円）														
H23	20,000	8,402														
H24	20,000	7,666														
H25	21,000	7,680														
6,192				本事業の実施にあたり、協議会のスタッフを雇用することによって、事務局の機能が強化され、市内事業者に対する支援や福岡都市圏への情報発信や販路開拓につながった。 ○新規雇用者数 2名												
			5,983	福岡都市圏において平戸産品を活用したフェアや物産展等の開催を実施することにより、顧客獲得や販売チャネルの拡大が図られた。これまで福岡都市圏においてこれらの事業を継続して実施してきたことにより「平戸」の名前が露出する機会が増え、平戸の食に対するイメージアップと平戸産品のブランド力の定着促進につながった。 特に、福岡市民の生活に密着したエリアを中心に、平戸の地名がでた物産展や有名ホテルにおいて平戸産品が露出された事により、平戸ブランドの定着化ができた。												

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費
物産振興イベント 開催支援事業 (商工物産課) 【事項別明細書244頁】	地域の物産振興や特産品の販路拡大につなげるため、生産者や関係団体が主体となり平戸市産業まつりとして、「平戸海道渡海人祭」を実施した。 ・平戸市春の産業まつり「平戸海道渡海人祭」 ○期日：平成25年5月3日～5日 ○場所：平戸大橋公園 ○主な内容 うまかもん物産展、地引き網・魚つかみ大会、タコつかみ大会など	2,000
イカ類の流通・販売体制の改善事業 (商工物産課) 【事項別明細書244頁】	地域で頑張る若手漁業者の収益確保と新たな観光客誘客や宿泊施設、飲食店の販売力アップにつなげるため、活きイカの大量蓄養と搬送の実証実験を実施した。 ○期間：平成25年6月1日～平成26年3月31日 ○場所：志々伎漁協、平戸瀬戸市場	332
みんなで推進「平戸ちゃんこ鍋」事業 (商工物産課) 【事項別明細書244頁】	本市の地域資源を活用し開発された「平戸あごだしちゃんこ鍋」を市内外で開催される各種イベントで販売及び振る舞いを実施した。また、ギフト商品化やスーパー等で販売できる簡易鍋商品等の開発を行った。 ○期間：平成25年5月27日～平成26年3月31日	2,350
ひらどキャラクター 「まちなか賑わい」事業 (商工物産課) 【事項別明細書244頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 市内の事業者に事業を委託し、本市の歴史にゆかりのあるキャラクターに扮したスタッフを、商店街や観光スポットで接客させることにより、観光客や市民を誘客し、商店街の賑わいの創出に取り組んだ。	21,302
工業用地適地調査事業 (商工物産課) 【事項別明細書246頁】	新たな工業団地を整備することにより企業を誘致し雇用創出、産業振興につなげるため、長崎県土地開発公社に業務委託し工業団地整備適地調査を実施した。	963
田平ターミナルビル耐震改修事業（繰越） (商工物産課) 【事項別明細書246頁】	【平成24年度繰越明許費】 耐震化工事を行い、施設の安全・安心な環境を整備した。 整備箇所 田平ターミナルビル	10,803

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果												
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源													
			2, 000	本市の特産品の販売及び集客イベントを実施し、本市を訪れる観光客を始めとして、多くの方々に対する物産PRと交流人口の拡大につながった。 平戸市春の産業まつり「平戸海道渡海人祭」 <table> <tr> <th></th> <th>来場者数（人）</th> <th>売上額（千円）</th> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>44, 128</td> <td>11, 590</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>40, 010</td> <td>9, 851</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>35, 443</td> <td>7, 380</td> </tr> </table>		来場者数（人）	売上額（千円）	H23	44, 128	11, 590	H24	40, 010	9, 851	H25	35, 443	7, 380
	来場者数（人）	売上額（千円）														
H23	44, 128	11, 590														
H24	40, 010	9, 851														
H25	35, 443	7, 380														
			332	大量蓄養水槽による活きイカの生存実証実験は厳しい結果となったが、簡易エアープンプによる店舗等への搬送は特に問題はなかった。 イカの活きづくりは、人気があり比較的に利益率も高く安定した収入源にはなるものの、今後調達方法や大量蓄養技術など安定した供給体制の構築が課題である。												
			2, 350	「平戸あごだしちゃんこ鍋」を、市民が主役となり推進することにより、愛着や親しみのもてる地域に根付いた新名物料理として知名度向上とファン獲得、また、「平戸あごだしちゃんこ鍋フェア」への集客と料理の普及につながり、観光、物産の振興に寄与することができた。												
21, 302				緊急雇用対策事業による雇用の創出と、観光や商店街の魅力をPRすることで、商店街への誘導を図り、まちなかの賑わいの創出につながった。 ○新規雇用者 18 名 ・平戸貿易物語（夏休み企画）参加者：6, 206 人 ・平戸偉人総選挙（冬休み企画）参加者：8, 702 人												
			963	調査では、インフラ整備、交通アクセス等を選定基準に適地6 か所を候補地とし、企業立地推進本部において、田平地区2 か所を選定した。今後は、市議会等の意見を聞きながら計画を立て事業を進めて行くこととする。												
2, 375		1, 188	7, 240	利用者、入居者の安全・安心な環境の確保に寄与することができた												

事業名	事業内容	事業費
企業誘致対策事業 (商工物産課) 【事項別明細書 246 頁】	企業誘致対策として、県(長崎県産業振興財団)と連携した企業への営業訪問や、地場企業支援のため市内企業への訪問を実施した。 ・市外営業訪問 延べ 31 社	1,144
市内周遊型定期観光バス運行事業 (観光課) 【事項別明細書 246 頁】	来平する観光客に本市の魅力を体感させることを目的に、市内の名所、観光施設等を巡る市内周遊定期観光バスツアーを運行。観光客の満足度アップを図った。 平成 25 年 4 月 26 日～平成 25 年 11 月 30 日 (金・土・日・月曜運行) 平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日 (土・日・祝日運行。ただし、GW 期間・お盆期間・年末年始は毎日運行)	3,519
鄭成功記念館整備事業 (観光課) 【事項別明細書 246 頁】	鄭成功記念館の内部の展示に関し、来訪者にわかりやすい説明板のグラフィックデザインの作成や、グラフィック等を用いて記念館及び附帯施設への展示設営を行った。 また、完成した鄭成功記念館と休憩所・便所に隣接した市道及び里道がアスファルト道路及びコンクリート道路となっており、施設全体の整備を行うために参道としての整備を行った。 ・鄭成功記念館展示グラフィックデザイン製作 ・鄭成功記念館展示設営業務 展示の配置、説明板、什器、照明及び附帯施設に関する展示設営 展示に関する展示品の収集及び備品の購入・制作 ・鄭成功記念館街灯設置 ・参道整備 A s 舗装工 68.0 m ² 石張舗装工 60.0 m ² 擁壁工 12.0m 舗装止工 3.5m 排水工 1.0 式 ・鄭成功記念館(生家)外溝排水整備工事 排水溝：W=180m L=39.4m	10,919
鄭成功生家再現整備事業(繰越) (観光課) 【事項別明細書 258 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 平戸川内町で生を受けた東アジアの英雄「鄭成功」を讃え、その偉業を後世に伝えるとともに、この歴史的人物を観光素材に東アジアからの観光客誘客を図り、交流人口の拡大と地域の活性化を図るため、鄭成功居宅後に生家及び休憩所・便所を再現し周辺の環境整備を行った。 木造平屋建て：延べ床面積 60.54 m ² (生家) 木造平屋建て：延べ床面積 63.62 m ² (休憩所及び便所)	68,049

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果																									
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源																										
			1, 144	雇用の場の確保や地元経済の活性化を図るため、本市への立地に関心を示す企業を中心に営業訪問を実施した。立地には企業による多額の設備投資が必要となるため、企業の投資計画の時期等を見据えた粘り強い交渉を続けている。																									
			3, 519	観光PRとあわせて、ボランティアガイドによる案内は好評だが、思うように利用者が増えない状況である。 利用者実績 (単位：人) <table> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H24</th> <th colspan="2">H25</th> </tr> <tr> <th>利用者数</th> <th>乗車数 (平均)</th> <th>利用者数</th> <th>乗車数 (平均)</th> </tr> <tr> <td>生月コース</td> <td>640</td> <td>5. 4</td> <td>610</td> <td>4. 1</td> </tr> <tr> <td>平戸コース</td> <td>995</td> <td>8. 4</td> <td>804</td> <td>5. 3</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1, 635</td> <td>6. 9</td> <td>1, 414</td> <td>4. 7</td> </tr> </table>			H24		H25		利用者数	乗車数 (平均)	利用者数	乗車数 (平均)	生月コース	640	5. 4	610	4. 1	平戸コース	995	8. 4	804	5. 3	計	1, 635	6. 9	1, 414	4. 7
	H24		H25																										
	利用者数	乗車数 (平均)	利用者数	乗車数 (平均)																									
生月コース	640	5. 4	610	4. 1																									
平戸コース	995	8. 4	804	5. 3																									
計	1, 635	6. 9	1, 414	4. 7																									
	3, 500		7, 419	来訪者にわかりやすい基本デザインコンセプトで説明板や展示設営を行ったことにより、「鄭成功」の偉業を顕彰する案内施設とすることができた。 また、記念館の建物周辺の外溝整備や記念館と休憩所・便所に隣接した市道及び里道を参道として整備することで施設の利便性の向上につながった。																									
	64, 600		3, 449	東アジアの英雄「鄭成功」の生誕の地という本市にしかない歴史的遺産を活かし、生家の再現を行い居宅後の周辺地に関連施設の整備を行った。その結果、台湾・中国から観光客誘客事業の新たな展開が図られ、鄭成功関連施設の拠点として地元川内地区の活性化にもつながり、市内観光の周遊につながった。 平成 25 年入館者数 (25. 7. 14～26. 3. 31) 単位：人 <table> <tr> <th>市内</th> <th>県内</th> <th>県外</th> <th>台湾</th> <th>中国</th> <th>その他 海外</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>1, 185</td> <td>1, 208</td> <td>1, 860</td> <td>365</td> <td>30</td> <td>103</td> <td>4, 751</td> </tr> </table>		市内	県内	県外	台湾	中国	その他 海外	合計	1, 185	1, 208	1, 860	365	30	103	4, 751										
市内	県内	県外	台湾	中国	その他 海外	合計																							
1, 185	1, 208	1, 860	365	30	103	4, 751																							

事業名	事業内容	事業費
鄭成功記念館開館記念事業 （観光課） 【事項別明細書 246 頁】 【事項別明細書 248 頁】	鄭成功生誕の地である本市では、毎年、「鄭成功生誕祭」を開催し、その遺徳を偲び長く顕彰してきた。 本年は長年の夢であった川内町の居宅跡地に鄭成功が幼少期を過ごした生家を再現し、生誕祭の日に「鄭成功記念館」として開館し、鄭成功にゆかりの深い来賓を国内外より多数迎え「台南市台日友好交流会との市民交流促進協定締結式・鄭成功生誕祭前夜祭」及び「鄭成功生誕祭・鄭成功記念館記念式典」を開催した。 【台南市台日友好交流会との市民交流促進協定締結式・鄭成功生誕祭前夜祭】 ○日 時 平成 25 年 7 月 13 日（土）18：00～21：00 ○場 所 川内町 鄭成功記念館特設会場 ○集客数 900 名（招待者：293 名 その他：557 名） 【鄭成功生誕祭・鄭成功記念館開館記念式典】 ○日 時 平成 25 年 7 月 14 日（日）9：00～12：00 ○場 所 鄭成功記念館特設会場 ○集客数 504 名（招待者：310 名、その他：194 名） 【歓迎昼食会】 ○日 時 平成 25 年 7 月 14 日（日）12：30～14：00 ○場 所 ホテル蘭風	6,433

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果																																										
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源																																											
1,472			4,961	生誕の日、7月14日に毎年恒例行事として実施している「鄭成功生誕祭」に併せ、鄭成功にゆかりがある国内外の関係者を招き施設の完成と開館を記念して開館記念式典、歓迎昼食会を開催したことで国際交流の促進に寄与することができた。 また、新聞広告掲載やテレビ放映により、広く情報発信できたことで観光地としての魅力の向上につなげた。 *放送実績 <table> <tr> <th>放送日</th> <th>放送局</th> <th>放送時間</th> <th>番組名</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">8月31日</td> <td rowspan="2">BS フジ</td> <td rowspan="2">11:00～11:55</td> <td>「わがまま！気まま！旅気分 東アジアの英雄生誕の地 平戸の旅」</td> </tr> <tr> <td>上記番組中でCM15秒間を4回放送 「鄭成功記念館オープン」</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">9月16日</td> <td rowspan="2">KTN</td> <td rowspan="2">19:00～19:54</td> <td>「わがまま！気まま！旅気分 東アジアの英雄生誕の地 平戸の旅」</td> </tr> <tr> <td>上記番組中でCM15秒間を5回放送 「鄭成功記念館オープン」</td> </tr> <tr> <td>9月19日</td> <td>STS</td> <td>9:50～10:45</td> <td>同 上</td> </tr> <tr> <td>9月20日</td> <td>TKU</td> <td>15:30～16:30</td> <td>同 上</td> </tr> <tr> <td>9月22日</td> <td>TNC</td> <td>26:20～27:15</td> <td>同 上</td> </tr> <tr> <td>9月26日</td> <td>TOS</td> <td>14:58～15:53</td> <td>同 上</td> </tr> <tr> <td>9月30日</td> <td>UMK</td> <td>14:00～14:55</td> <td>同 上</td> </tr> <tr> <td>10月9日</td> <td>OTV</td> <td>25:13～26:13</td> <td>同 上</td> </tr> <tr> <td>10月10日</td> <td>KTS</td> <td>26:55～27:50</td> <td>同 上</td> </tr> </table>	放送日	放送局	放送時間	番組名	8月31日	BS フジ	11:00～11:55	「わがまま！気まま！旅気分 東アジアの英雄生誕の地 平戸の旅」	上記番組中でCM15秒間を4回放送 「鄭成功記念館オープン」	9月16日	KTN	19:00～19:54	「わがまま！気まま！旅気分 東アジアの英雄生誕の地 平戸の旅」	上記番組中でCM15秒間を5回放送 「鄭成功記念館オープン」	9月19日	STS	9:50～10:45	同 上	9月20日	TKU	15:30～16:30	同 上	9月22日	TNC	26:20～27:15	同 上	9月26日	TOS	14:58～15:53	同 上	9月30日	UMK	14:00～14:55	同 上	10月9日	OTV	25:13～26:13	同 上	10月10日	KTS	26:55～27:50	同 上
放送日	放送局	放送時間	番組名																																											
8月31日	BS フジ	11:00～11:55	「わがまま！気まま！旅気分 東アジアの英雄生誕の地 平戸の旅」																																											
			上記番組中でCM15秒間を4回放送 「鄭成功記念館オープン」																																											
9月16日	KTN	19:00～19:54	「わがまま！気まま！旅気分 東アジアの英雄生誕の地 平戸の旅」																																											
			上記番組中でCM15秒間を5回放送 「鄭成功記念館オープン」																																											
9月19日	STS	9:50～10:45	同 上																																											
9月20日	TKU	15:30～16:30	同 上																																											
9月22日	TNC	26:20～27:15	同 上																																											
9月26日	TOS	14:58～15:53	同 上																																											
9月30日	UMK	14:00～14:55	同 上																																											
10月9日	OTV	25:13～26:13	同 上																																											
10月10日	KTS	26:55～27:50	同 上																																											

事業名	事業内容	事業費
鄭成功を活かした中野まちづくり事業 (観光課) 【事項別明細書 248 頁】	東アジアの英雄「鄭成功」の生家再現を機に、生誕地である平戸市中野地域の観光資源をブラッシュアップし、受入体制の整備を行うことで、国内外から訪れる観光客の誘客を図り、また滞在時間を延長するための仕組みづくりに取組んだ。 【鄭成功記念館誘導案内板設置】 - 観光誘導案内板 5 基 【観光案内板整備事業（川内地区）】 - 観光案内板 1 基 【鄭成功を活かした中野まちづくり事業】 - 馬を使った鄭成功ゆかりの地をめぐる実証実験 ○期 間 平成 25 年 7 月 14 日～8 月 31 日 (実稼動日数 11 日間 47 名受入) - 中野地域郷土料理の開発実証実験 (25 品提案、うち 11 品を試食会にて試作・提供) - 子供媽祖行列の開催 (7 月 13 日の鄭成功生誕祭前夜祭にて実施) - 生家周辺通りへのランタン設置 (鄭成功生誕祭前後 2 週間 300 個設置) - 中野地区周辺観光マップ作成 (20,000 部)	3,705
平戸観光応援隊設置運営事業 (観光課) 【事項別明細書 248 頁】	平戸を愛する市民や都市住民に、平戸の魅力をネット発信やイベントに参画する応援隊を設置。登録者は、4 つの部隊にわかれて活動し、活動に応じたポイントにより、協賛するお店で特典をいただく仕組み。 応援隊登録者数：309 人 平戸情報めぐりフェイスブック：400 人 協賛店舗：27 店舗 活動イベント：4 イベントへボランティア派遣	6,455

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
1,853			1,852	「鄭成功記念館」の周辺に誘導案内板 5 箇所の設置及び観光案内板を設置したことにより、観光客のスムーズな誘導案内ができた。 また、鄭成功を活かした中野まちづくり委員会を設置したことで、住民が主体となって鄭成功記念館周辺地域の活性化に取り組むことができた。
			6,455	当初は、500 人の登録者と 30 店舗の協賛店舗を目指スタートしたが、約 300 名と 27 店舗の登録にとどまった。 主な原因として、応援隊の業務を含めた認知不足や登録してもメリットが少ないことから、登録数の増につながらなかった。 さらに、市外登録者の中には、観光情報を定期的に送付してもらいたいとの思いから登録しても、イベントへの参加等に結びつかなかった。 しかし、一部だが登録した学生等の中には、イベントへボランティアとして参加する学生もあり、仕組みの充実と P R の仕方を検討すれば、効果があがるものと思われる。 また、次年度については、動画等を活用した P R 展開を充実し、登録者のみならず視聴者を増やす展開を図ることで、平戸の魅力発信につなげていきたい。

事業名	事業内容	事業費																									
九州オルレ平戸コース整備事業 (観光課) 【事項別明細書 248 頁】	九州オルレと九州観光推進機構が業務協定を結び、九州の魅力的なハイキングコースを「九州オルレ」として選定し、韓国人及び日本人観光客の送客等を行っている。平成 25 年 2 月に平戸コースが、九州オルレの正式なコースに選定されたことにより利用者の増加が見込まれるため、韓国人及び日本人観光客の受け入れにかかる看板設置やマップ作成などの体制整備を行った。 ※オルレとは、韓国済州島の方言で「家に帰る細い道」という意味で、済州島の魅力を高めるために済州オルレが提案したトレッキングコース。	1,633																									
観光ガイド育成事業 (観光課) 【事項別明細書 248 頁】	平戸学を活用しボランティアガイドの育成並びにガイドのレベルアップ、観光客の受入体制を図るため、NPO 法人平戸観光ウェルカムガイドに委託し平戸検定を行うとともに、検定試験後にガイド志望者を募りガイド現地研修会を開催した。 検定講習会 北部会場 平成 26 年 1 月 10 日～2 月 3 日 5 回 延べ受講者 192 人 田平会場 平成 26 年 1 月 14 日～2 月 5 日 5 回 延べ受講者 152 人 検定試験 会 場 平戸市離島開発総合センターほか 開催日 平成 26 年 2 月 16 日 検定結果 <table><tr><th>区分</th><th>受験者(人)</th><th>合格者(人)</th><th>うち市外(人)</th><th>合格率(%)</th></tr><tr><td>初級</td><td>283</td><td>176</td><td>7</td><td>62.2</td></tr><tr><td>中級</td><td>59</td><td>45</td><td>3</td><td>76.3</td></tr><tr><td>上級</td><td>28</td><td>11</td><td>3</td><td>39.3</td></tr><tr><td>合計</td><td>370</td><td>232</td><td>13</td><td>62.7</td></tr></table>	区分	受験者(人)	合格者(人)	うち市外(人)	合格率(%)	初級	283	176	7	62.2	中級	59	45	3	76.3	上級	28	11	3	39.3	合計	370	232	13	62.7	650
区分	受験者(人)	合格者(人)	うち市外(人)	合格率(%)																							
初級	283	176	7	62.2																							
中級	59	45	3	76.3																							
上級	28	11	3	39.3																							
合計	370	232	13	62.7																							
“おもてなし”モデル施設創出事業 (観光課) 【事項別明細書 248 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 平戸市全域における“おもてなし”の向上を図るため、市内全域の観光関連事業所を対象に覆面調査やおもてなし宣言施設の指導のほか、お客様アンケート等を実施するとともに、笑顔とメッセージコンテストを行った。 覆面調査事業所数 32 事業所 おもてなし宣言店募集 5 施設増 (H24 : 16 施設) リーダー研修会 3 回 接遇研修会 67 名参加 お客様アンケート (宣言店満足度調査) 1 回 笑顔とメッセージコンテスト (8/1～31) 78 作品応募 清掃活動実施 51 名参加	5,124																									

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
			1,633	平戸コースは、他のコースにない見どころが多くあり、選定を行った済州オルレ事務局からは歴史的な背景や雄大な自然を感じることが好評であり、韓国人だけでなく日本人観光客数についても増やす事ができた。 H25 訪問者数 韓国人 920 人 日本人 795 人
			650	平戸検定の実施により郷土愛の育成と更にはボランティアガイドの体制整備につなげることができた。そのなかから 3 名のボランティアガイドを育成することできた。 また、平戸高校の生徒が受験するなど、受験者数が飛躍的に増加し、多くの方に郷土を再認識する機会を提供することができた。
5,124				覆面調査及び指導では、各施設とも「おもてなし」の意識は高いものの、お客様に伝わっていないことが多く見受けられた。また、おもてなし宣言店でも同様なことがあり、事業主と従業員との意識の差があり、研修を通して改善を図った。 お客様アンケートでは、前年度は微増だが満足度が向上する対象施設も増えた。特に、観光・交通等の分野では 100%の満足度となった。 この事業を通して、おもてなしに対する意識が向上しており、改善が進んでいる施設もできた。 ○新規雇用者数 2 名

事業名	事業内容	事業費																																										
体験型観光推進事業 (観光課) 【事項別明細書 248 頁】	市内の体験型観光の推進を図るため、5 地区の協議会が加盟している一般社団法人まつうら党交流公社に対して、補助金（職員 1 名分）の支援を行った。	1,693																																										
コンベンション開催事業 (観光課) 【事項別明細書 248 頁】	観光客の誘致と地域の経済効果を創出するため、コンベンションなどを開催する各種団体に対して支援を実施した。 また、本年から新たに勉強合宿に対する補助も行った。 ○コンベンション実績 (単位：千円, 延べ人数) <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th><th>補助金額</th><th>宿泊実績</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 2 回 “平戸ツツジ” グラウンド・ゴルフ大会</td><td>50</td><td>122</td></tr> <tr> <td>長崎県立佐世保北中学校学習合宿 (2 年生)</td><td>150</td><td>364</td></tr> <tr> <td>第 10 回 鄭成功生誕記念 平戸サッカーフェスタ U-10 大会</td><td>50</td><td>105</td></tr> <tr> <td>C A グランロッサ夏休み強化合宿</td><td>100</td><td>237</td></tr> <tr> <td>長崎県立佐世保西高等学校夏合宿 (1 年生)</td><td>500</td><td>1,012</td></tr> <tr> <td>長崎県立佐世保西高等学校夏合宿 (3 年生)</td><td>500</td><td>1,450</td></tr> <tr> <td>英進館夏期小 6 S A 勉強合宿</td><td>1,000</td><td>2,911</td></tr> <tr> <td>青山学院初等部平戸夏合宿 「5 年生」</td><td>250</td><td>800</td></tr> <tr> <td>第 6 回とびうお杯 小学生新人バレーボール親善大会</td><td>100</td><td>263</td></tr> <tr> <td>第 9 回平戸脇川ホテルカップ フレッシュサッカー U10 大会</td><td>50</td><td>125</td></tr> <tr> <td>Noordwijkerhout VVSB CUP in HIRADO 2013 サッカー大会</td><td>150</td><td>355</td></tr> <tr> <td>久留米大学陸上部合宿</td><td>25</td><td>75</td></tr> <tr> <td>計</td><td>2,925</td><td>7,819</td></tr> </tbody> </table>	事業名	補助金額	宿泊実績	第 2 回 “平戸ツツジ” グラウンド・ゴルフ大会	50	122	長崎県立佐世保北中学校学習合宿 (2 年生)	150	364	第 10 回 鄭成功生誕記念 平戸サッカーフェスタ U-10 大会	50	105	C A グランロッサ夏休み強化合宿	100	237	長崎県立佐世保西高等学校夏合宿 (1 年生)	500	1,012	長崎県立佐世保西高等学校夏合宿 (3 年生)	500	1,450	英進館夏期小 6 S A 勉強合宿	1,000	2,911	青山学院初等部平戸夏合宿 「5 年生」	250	800	第 6 回とびうお杯 小学生新人バレーボール親善大会	100	263	第 9 回平戸脇川ホテルカップ フレッシュサッカー U10 大会	50	125	Noordwijkerhout VVSB CUP in HIRADO 2013 サッカー大会	150	355	久留米大学陸上部合宿	25	75	計	2,925	7,819	2,925
事業名	補助金額	宿泊実績																																										
第 2 回 “平戸ツツジ” グラウンド・ゴルフ大会	50	122																																										
長崎県立佐世保北中学校学習合宿 (2 年生)	150	364																																										
第 10 回 鄭成功生誕記念 平戸サッカーフェスタ U-10 大会	50	105																																										
C A グランロッサ夏休み強化合宿	100	237																																										
長崎県立佐世保西高等学校夏合宿 (1 年生)	500	1,012																																										
長崎県立佐世保西高等学校夏合宿 (3 年生)	500	1,450																																										
英進館夏期小 6 S A 勉強合宿	1,000	2,911																																										
青山学院初等部平戸夏合宿 「5 年生」	250	800																																										
第 6 回とびうお杯 小学生新人バレーボール親善大会	100	263																																										
第 9 回平戸脇川ホテルカップ フレッシュサッカー U10 大会	50	125																																										
Noordwijkerhout VVSB CUP in HIRADO 2013 サッカー大会	150	355																																										
久留米大学陸上部合宿	25	75																																										
計	2,925	7,819																																										

財 源 内 訳				事業の成果																														
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源																															
			1,693	一般社団法人まつうら党交流公社では、県外の学校関係者、エージェント等に対し、企画造成及び営業のほか、受入時のアテンド等を行い、まつうら党全体で約 3 万人を受入れることができた。 市内受入（延べ人数）H25 年度 9,229 人 H24 年度 9,157 人																														
		2,925		地域の賑わいにつながるコンベンションの開催に対して支援することにより、地域の活力と魅力を向上させ、観光客の誘致につなげることができた。 また、宿泊者数については、昨年と比べ減少しているが、引き続き進学塾「英進館」の夏季合宿を誘致するなど、多くの宿泊者を受入れることができた。 宿泊者数の推移 (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>H22</th><th>H23</th><th>H24</th><th>H25</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学会・研究会</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>会議・催事</td><td>0</td><td>681</td><td>438</td><td>0</td></tr> <tr> <td>スポーツ競技会・合宿</td><td>733</td><td>704</td><td>1,187</td><td>1,282</td></tr> <tr> <td>勉強合宿</td><td>—</td><td>—</td><td>10,403</td><td>6,537</td></tr> <tr> <td>計</td><td>733</td><td>1,385</td><td>12,028</td><td>7,819</td></tr> </tbody> </table>	区 分	H22	H23	H24	H25	学会・研究会	0	0	0	0	会議・催事	0	681	438	0	スポーツ競技会・合宿	733	704	1,187	1,282	勉強合宿	—	—	10,403	6,537	計	733	1,385	12,028	7,819
区 分	H22	H23	H24	H25																														
学会・研究会	0	0	0	0																														
会議・催事	0	681	438	0																														
スポーツ競技会・合宿	733	704	1,187	1,282																														
勉強合宿	—	—	10,403	6,537																														
計	733	1,385	12,028	7,819																														

事業名	事業内容	事業費
平戸観光振興強化事業 (観光課) 【事項別明細書 250 頁】 【事項別明細書 252 頁】	観光協会が実施する事業及び3名の人件費等の支援と運営強化を図ることで、観光客のさらなる増加に努めた。 1. 観光情報発信強化事業 ①観光客誘致、受入事業 ・平戸イカ・たこまつり 期間：H25. 6. 1～7. 31 参画施設：11 施設 参加人数 3, 741 人 ・平戸和牛フェア 期間：H25. 7. 1～10. 31 参画施設：19 施設 参加人数 5, 458 人 ・平戸あら鍋まつり 期間：H25. 11. 1～12. 30 参画施設：12 施設 参加人数 2, 641 人 ・平戸ひらめまつり 期間：H25. 1. 17～3. 31 参画施設：16 施設 参加人数 14, 375 人 ・(新) 平戸の伝統食・食材を活かした造成 ・(新) スイーツウォーク事業 期間：H25. 12. 1～25 実績：スイーツ販売 132 人、イベント参加 300 人 1COIN スタンプラリー参加者 20 名 ②情報発信・宣伝事業 ・雑誌・新聞等紙媒体活用事業 雑誌掲載 63 件 新聞掲載 5 件 ・テレビ・ラジオ・Web 等電波媒体活用事業 テレビ 14 番組 ラジオ放送 8 番組 Web1 番組 (テレビ：NHK福岡、日テレ、ダイハツCM他) ・旅行会社との連携 5 社 実績 699 人 ・着地型商品での誘客 (市内周遊定期観光バス 実績 1, 414 名) (ガイド付貸切観光タクシープラン 実績 35 名) (平戸焼き体験 実績 68 名) (平戸フットパス 実績 19 名) 2. 観光地形成・組織強化事業 平戸観光協会を一般社団法人化した。 3. 国内・海外旅行誘致強化事業 ・平戸キリンタン紀行事業 実績「平戸サイレントクリスマスツアー」 開催日時：平成 25 年 12 月 24～25 日 ツアー参加者 22 名 一般参加者 15 名 ・国内・海外誘致セールス事業 国内セールス (広島、長崎他) 3 回 関東セールス (東京) 3 回 関西・東海セールス (大阪、愛知他) 4 回 中国・九州セールス (福岡、広島他) 7 回	15, 000

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
			15, 000	1. 観光情報発信強化事業 “食の街・平戸”を長期的にブランディングしていくため、イカ・平戸牛・あら・ひらめ等のイベント告知として、テレビ・ラジオ等を有効活用しながらPRしたことで、前年を上回る結果となった。 さらに、商品開発として鯛を使った“鯛茶漬け”の試作開発に取り組んだことで、次年度以降新たなイベント食材として加えていきたい。 2. 観光地形成・組織強化事業 公益法人制度改革により4月1日から一般社団法人へ移行。さらなる組織強化を図るため、組織内に各部会を立ち上げ、観光のプラットフォームの充実を図った。 3. 国内・海外旅行誘致強化事業 中国・韓国の国際的関係悪化の影響もあり、インバウンド事業を推進しつつも、国内誘致を中心に事業を展開。特に関東及び関西等、大都市圏の旅行会社・メディアを中心にセールスを行った結果、団体旅行客が増加した。 また、世界遺産登録を見据えて、カトリック系の学校訪問セールスを積極的行うことで、ツアー客の誘客につながった。

事業名	事業内容	事業費
テーマパーク観光 プロモーション事業 (観光課) 【事項別明細書252頁】	平戸藩の四季シリーズとして、年間を通じパッケージ化、季節感あるイベントを開催しながら、観光誘客を図った。 また、これまでハガキによるスタンプラリーを行っていたが、新たに EasyNavi「ひらどウェルカモメ」の機能を充実させ、イベントのPR効果を高めた。 さらに、日帰りバスツアー等を企画し、イベントの集客を行った。 「平戸藩の夏めぐり」 13 イベント 期 間：6月1日～8月31日 PR内容：ポスター300枚、チラシ10,000枚 テレビ69本（福岡34本、県内35本） 特別テレビ番組（長崎・熊本・大分） ラジオ25本（福岡） 長崎フェスタ出展 「平戸藩の秋めぐり」 11 イベント 期 間：9月1日～11月31日 PR内容：ポスター300枚、パンフレット10,000枚 テレビ69本（福岡34本、県内35本） NBCテレビ「あっぷる」 ラジオ195本（福岡25本、県内170本） NBCラジオ体験会バス2台（長崎・佐世保） NBC出張DJ KBCラジオ平戸ウィーク 長崎フェスタ出展 「平戸藩の冬めぐり」 12 イベント 期 間：12月1日～2月28日 PR内容：ポスター300枚、パンフレット10,000枚 テレビ42本（福岡17本、県内25本） ラジオ18本（福岡） KBC「For You」 KBCラジオ3番組生出演 「平戸藩の春めぐり」 17 イベント 期 間：3月1日～5月31日 PR内容：ポスター300枚、チラシ10,000枚 テレビ25本（県内25本） ラジオ18本（福岡） KBC「For You」 平戸藩瓦版発行（チラシ） 9回 18,000部 日帰りバスツアー（エビ・かきまつり） バス5台 162名 EaeyNavi ひらどウェルカモメ ダウンロード数 4,197人	11,235

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果																																																
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源																																																	
	10,800		435	各めぐりシリーズ毎に、メディアミックスによる平戸のイメージ戦略や日帰りバスツアーの企画等を行い、各イベントの集客の向上につながった。 「平戸藩の夏めぐり」 (単位：人) <table><tr><td></td><td>H24</td><td>H25</td></tr><tr><td>集客実績</td><td>36,854</td><td>45,083</td></tr><tr><td>宿泊関係</td><td>62,439</td><td>67,427</td></tr><tr><td>施設入場数</td><td>46,933</td><td>44,996</td></tr></table> 「平戸藩の秋めぐり」 (単位：人) <table><tr><td></td><td>H24</td><td>H25</td></tr><tr><td>集客実績</td><td>59,359</td><td>50,864</td></tr><tr><td>宿泊関係</td><td>60,951</td><td>60,641</td></tr><tr><td>施設入場数</td><td>54,920</td><td>57,536</td></tr></table> 「平戸藩の冬めぐり」 (単位：人) <table><tr><td></td><td>H24</td><td>H25</td></tr><tr><td>集客実績</td><td>25,362</td><td>40,235</td></tr><tr><td>宿泊関係</td><td>34,893</td><td>40,429</td></tr><tr><td>施設入場数</td><td>30,881</td><td>32,260</td></tr></table> 「平戸藩の春めぐり」 (単位：人) <table><tr><td></td><td>H24</td><td>H25</td></tr><tr><td>集客実績</td><td>106,298</td><td>97,887</td></tr><tr><td>宿泊関係</td><td>53,679</td><td>56,210</td></tr><tr><td>施設入場数</td><td>55,679</td><td>51,458</td></tr></table>		H24	H25	集客実績	36,854	45,083	宿泊関係	62,439	67,427	施設入場数	46,933	44,996		H24	H25	集客実績	59,359	50,864	宿泊関係	60,951	60,641	施設入場数	54,920	57,536		H24	H25	集客実績	25,362	40,235	宿泊関係	34,893	40,429	施設入場数	30,881	32,260		H24	H25	集客実績	106,298	97,887	宿泊関係	53,679	56,210	施設入場数	55,679	51,458
	H24	H25																																																		
集客実績	36,854	45,083																																																		
宿泊関係	62,439	67,427																																																		
施設入場数	46,933	44,996																																																		
	H24	H25																																																		
集客実績	59,359	50,864																																																		
宿泊関係	60,951	60,641																																																		
施設入場数	54,920	57,536																																																		
	H24	H25																																																		
集客実績	25,362	40,235																																																		
宿泊関係	34,893	40,429																																																		
施設入場数	30,881	32,260																																																		
	H24	H25																																																		
集客実績	106,298	97,887																																																		
宿泊関係	53,679	56,210																																																		
施設入場数	55,679	51,458																																																		

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費
東アジア観光誘客推進事業 (観光課) 【事項別明細書252頁】	台湾を中心とした東アジアからの外国人観光誘客を図るため、平戸市・雲仙市・嬉野市・武雄市・福岡市の5市で構成する「東アジア誘客3県都市連携会議」において、観光説明会の開催や海外誘致セールス等、観光プロモーションを実施のほか、平戸観光協会に業務委託を行うとともに、東アジアからの外国人観光客誘客を行うための、外国人担当職員を雇用した。 【東アジア誘客3県都市連携会議】 ・観光説明会開催（7月18日：台北） ・台湾国際教育旅行連盟理事長面談（7月18日：台北） ・旅行会社セールス（7月19日：高雄） ・JNTO主催 訪日台湾教育旅行現地説明会出席（9月23日～25日、台北、台中、高雄） ・訪日台湾教育旅行関係者招請視察団受入（2月17日～20日、5市） 【外国人観光客誘致事業】（職員雇用：1名）	6,852
平戸城耐震改修事業 (繰越) (観光課) 【事項別明細書260頁】	【平成24年度繰越明許費】 昭和37年に建設された平戸城の本丸と天守閣について、平成24年度に行った平戸市耐震計画に基づく耐震診断の結果、天守閣については、耐震基準を満たしていなかったため、耐震補強設計を行った。 平戸城 天守閣 昭和36年建築 R C造（5階）延べ面積 479.4㎡	2,645

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			6,852	【東アジア誘客3県都市連携会議】 ・観光説明会開催（現地旅行会社マスコミ等34社、46名参加） ・台湾国際教育旅行連盟へセールス（トップセールス） ・JNTO主催 訪日台湾教育旅行現地説明会 9月23日（台北） 参加校66校中、16校と商談 9月24日（台中） 参加校68校中、11校と商談 9月25日（高雄） 参加校72校中、12校と商談 ・高雄会場においての商談会では、本市と関わりのある台南市の学校2校と商談ができた。その内の1校とは姉妹校締結も視野に入れた話ができた。 ・訪日台湾教育旅行招請視察団受入 台湾旅行会社8社の受入を行い、5市の宿泊施設との商談会、意見交換会を行い、接点づくりを行うことができた。 【外国人観光客誘致事業】 現地民間団体等との調整、通訳・翻訳業務、事務補助、現地プロモーションなど多岐にわたり事業実施。特に現地民間団体等との調整においては、中国語が話せるため信頼を得ることができ、調整等がうまくいきスムーズな事業実施に貢献した。
881			1,764	耐震補強設計の結果、工期が3カ月程度かかるため、平戸城の入館者が少ない12月～2月までを閉館し、補強工事を行う予定である。

【 8 款 土木費 】

地域の産業、経済、文化ならびに観光産業の発展、市民の日常生活の向上を図るうえでも道路交通網の整備は不可欠なものであり、建設行政の役割は多大なものがある。近年の厳しい社会情勢の中で、限られた財源を有効に活かしながら、平戸市総合計画に基づき、「安全・安心なまちづくりの推進」「まちを支えるネットワークの充実」の 2 本を柱に建設事業を推進した。

また、河川改良、急傾斜地崩壊対策事業などの緊急的な事業の実施により、市民の生命と財産を災害から守る防災施設の整備も行った。

まちづくり事業では、自然と調和した機能的で美しく、快適に暮らせる環境を目指し、街なみ環境整備事業、まちづくり総合整備事業や都市公園の整備を行い、安全・安心なまちづくり、個性的で魅力ある街なみづくりの整備に努めた。また、本市にふさわしい都市の将来像の実現に向けた指針となる都市計画マスタープランを策定した。

住宅事業では、入居者及び地域の居住環境の整備を図るとともに、老朽化した既存住宅の改修を行い、安全で快適な住環境づくりに努めた。

（１）道路新設改良

実施計画に基づき、交付金事業として山中・紐差線外 5 路線、過疎対策事業として南川原循環線外 5 路線、辺地対策事業として深月線外 2 路線の計 15 路線の改良舗装工事を実施するとともに、県関連事業、その他道路改良工事等を実施し、豊かで住みよい生活環境づくりに努めた。また、平成 24 年 12 月に発生した笹子トンネル事故を踏まえた国土強靱化推進のためのインフラ老朽化対策として、道路インフラの総点検を実施した。

（２）橋りょう整備

今後、老朽化する橋りょうの架け替えや維持・修繕費用の縮減を図るため、平成 23 年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき、橋りょうの修繕を実施し、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することに努めた。

（３）河川改良

河川改良工事においては、猪渡谷川外 14 河川の工事実施により、河川の氾濫及び護岸の崩壊を防止し、住民の安全確保に努めた。

（４）急傾斜地崩壊対策

災害危険箇所指定された地域において、市営事業（県補助）として小川地区（度島町）外 1 地区の工事を実施し、安全・安心なまちづくりに努めた。

（５）港湾整備

船舶の安全性の向上と離島航路利用者の利便性、安全性を確保するため港湾整備を行った。

（６）都市公園整備

市内に設置している都市公園の利便性向上と安全性の確保のため、定期的な点検及び整備を行った。

（７）美しいまちづくり推進事業

平成 15 年度に「歴史を活かした、歩いて楽しいまちづくり」を基本理念とした「平戸港周辺地区景観形成事業基本計画」を策定し、街なみ環境整備事業の整備方針とした。平成 17 年度からは「平戸城下旧町地区街なみ環境整備事業計画」に基づき、修景施設、道路美装化及び電線類地中化等の整備を進めている。

平成 25 年度は、住宅等修景として崎方地区、4 町地区（浦の町・宮の町・木引田町・新町）及び 2 町地区（魚の棚町・職人町）、地区施設整備として、電線類地中化及び道路美装化等の整備を行った。

このほか、景観資産として登録されている亀岡神社（神楽殿）の現状を保存するため改修事業を行った。

また、平成 21 年度に策定した「都市再生整備計画」に基づき、市街地中心部の活性化を図るため、まちづくり交付金を活用した「まちづくり総合整備事業」を行っている。

都市計画道路亀岡循環線の改築事業のほか、平成 26 年 4 月 1 日供用開始を目指し、老朽化していた平戸港湾ターミナルを解体し、新たに平戸市観光交通ターミナルを建設した。

（８）住宅整備

入居者の生活の安全及び住みよい住宅環境の向上を図るため、大膳原住宅 A 棟・上大垣住宅・馬の元団地計 10 棟 60 戸の外壁改修・屋上防水工事を行い、老朽化した既存住宅の居住環境改善を行った。

平成 25 年度からは、建替え事業として沓部浦住宅建設事業に着手し、建設用地である県有地と市有地の交換手続きに取りかかった。

事 業 名	事 業 内 容	事 業 費
活力創出基盤整備 総合交付金事業 （建設課） 【事項別明細書 262 頁】 【事項別明細書 264 頁】	①山中・紐差線 事業費 30,500 千円 （舗装）L=270m W=5.5（9.25）m ②山中・紐差線（橋りょう） 事業費 129,400 千円 うち年度内支出 51,000 千円 （測量・設計）L=420m W=5.5（7.0）m ③堤線 事業費 60,100 千円 （舗装）L=1,513m W=5.5（7.0）m ④神宮坂口線 事業費 158,200 千円 うち年度内支出 22,800 千円 （測量・設計）L=560m W=5.5（9.25）m ⑤大谷線 事業費 27,300 千円 うち年度内支出 11,200 千円 （測量・設計）L=800m W=5.5（9.25）m ⑥釜田線 事業費 20,400 千円 うち年度内支出 6,300 千円 （測量・設計）L=800m W=5.5（9.25）m	181,900
【事項別明細書 268 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 ①山中・紐差線 事業費 51,000 千円 （改良）L=270m W=5.5（9.25）m ②堤線 事業費 325,500 千円 うち年度内支出 238,900 千円 （改良）L=623.5m W=5.5（7.0）m ③道路ストック点検 事業費 20,000 千円 （路面性状調査）L=275.5km （道路構造物等点検）201 箇所 （橋梁点検）25 橋	309,900
過疎対策道路整備 事業 （建設課） 【事項別明細書 264 頁】	①田崎神鳥線 事業費 27,000 千円 うち年度内支出 11,000 千円 （改良）L=500m W=4.0（5.0）m （測量）L=400m W=4.0（5.0）m ②後平梅崎線 事業費 41,200 千円 うち年度内支出 22,400 千円 （改良）L=47.2m W=4.0（5.0）m ③紙漣線 事業費 30,000 千円 うち年度内支出 11,400 千円 （改良）L= 45m W=4.0（5.0）m （舗装）L=210m W=4.0（5.0）m ④山中・紐差線 事業費 38,000 千円 （舗装）L=461m W=5.5（7.0）m ⑤川内清水線 事業費 15,000 千円 うち年度内支出 5,100 千円 （改良）L=145m W=4.0（5.0）m	87,900

財 源 内 訳				事 業 の 成 果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
114,442	65,927		1,531	市民生活に密着した主要市道の整備を重点的に実施するとともに、その他の生活道路についても単独改良及び安全施設の設置等を実施し、流末排水路の整備、急カーブの改良、老朽箇所 の整備により、交通の安全が確保できた。そのなかで、本年度は市道堤線が完了した。 また、県営事業として、県道及び国道の改良、舗装工事が実施され、交通の緩和及び安全性が保たれた。
200,005	101,800		8,095	
	87,900			

事業名	事業内容	事業費
過疎対策道路整備事業 (建設課) 【事項別明細書 266 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 ①田崎神鳥線 事業費 75,000 千円 うち年度内支出 32,700 千円 (改良) L=140m W=4.0 (5.0) m (舗装) L=280m W=4.0 (5.0) m ②後平梅崎線 事業費 40,000 千円 うち年度内支出 5,200 千円 (舗装) L=143m W=4.0 (5.0) m ③紙漣線 事業費 30,000 千円 うち年度内支出 15,600 千円 (改良) L=210m W=4.0 (5.0) m ④山中・紐差線 事業費 53,000 千円 うち年度内支出 14,800 千円 (舗装) L=244m W=5.5 (7.0) m ⑤川内清水線 事業費 10,000 千円 うち年度内支出 8,400 千円 (測量) L=520m W=4.0 (5.0) m	76,700
辺地対策道路整備事業 (建設課) 【事項別明細書 264 頁】	①深月線 事業費 30,000 千円 (改良) L=212m W=4.0 (5.0) m ②山の手線 事業費 16,800 千円 うち年度内支出 5,300 千円 (改良) L= 80m W=4.0 (5.0) m ③神山線 事業費 18,300 千円 (改良) L=112m W=3.0 (4.0) m	53,600
【事項別明細書 266 頁】 【事項別明細書 268 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 ①深月線 事業費 40,000 千円 うち年度内支出 1,100 千円 (用地) 1 式 ②山の手線 事業費 23,000 千円 うち年度内支出 20,500 千円 (測量) L=770m W=4.0 (5.0) m ③神山線 事業費 30,000 千円 うち年度内支出 17,900 千円 (改良) L=124m W=3.0 (4.0) m	39,500

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
	76,700			
	53,600			
	39,500			

事業名	事業内容	事業費
道路整備事業県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 268 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 ①国道 383 号 ・上中津良工区 ＜事業費 45,000 千円＞ 市負担金 6,210 千円 うち年度内支出 192 千円 (改良) L=240m W=6.0 (9.75) m ②国道 204 号 ・田平荻田工区 ＜事業費 45,000 千円＞ 市負担金 6,210 千円 うち年度内支出 2,902 千円 (測量) L=206m W=6.0 (9.75) m ③平戸田平線 ・飯良工区 ＜事業費 45,000 千円＞ 市負担金 6,581 千円 うち年度内支出 1,813 千円 (測量) L=160m W=6.0 (9.75) m ・高越工区 ＜事業費 45,000 千円＞ 市負担金 6,581 千円 うち年度内支出 1,492 千円 (改良) L=420m W=5.5 (7.0) m (舗装) L=420m W=5.5 (7.0) m ④以善田平港線 ・下寺工区 ＜事業費 50,000 千円＞ 市負担金 7,313 千円 うち年度内支出 1,552 千円 (改良) L=290m W=5.5 (9.25) m ・瀬戸工区 ＜事業費 30,000 千円＞ 市負担金 4,388 千円 うち年度内支出 2,742 千円 (改良) L=200m W=5.5 (8.95) m ⑤田の浦平戸港線 ・崎方工区 ＜事業費 20,000 千円＞ 市負担金 1,950 千円 うち年度内支出 788 千円 (改良) L=900m W=4.5 (7.0) m (舗装) L=900m W=4.5 (7.0) m	11,481

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			11,481	

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費
道路単独改良事業 (建設課) 【事項別明細書 266 頁】	①館浦 11 号線 事業費 39,600 千円 うち年度内支出 11,200 千円 (改良) L=210m W=4.0 (5.0) m ②単独改良事業 市道宝亀浦線外 82 路線 54,068 千円 ③安全施設事業 市道臨港線外 26 路線 8,700 千円 ④原材料支給 6,839 千円 その他 (事務費) 922 千円	81,729
【事項別明細書 268 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 ①館浦 11 号線 事業費 10,000 千円 うち年度内支出 9,100 千円 (測量) L=216m W=4.0 (5.0) m	9,100
道路整備事業 (建設課) 【事項別明細書 266 頁】	<地域の元気臨時交付金事業> ① (平戸地区) 市道岩谷線外 9 線 66,000 千円 ② (生月地区) 市道沓部中央線 23,399 千円 ③ (田平地区) 市道大崎線外 2 線 19,548 千円 ④ (大島地区) 市道五条寺線外 2 線 12,997 千円	121,944
橋りょう整備事業 (建設課) 【事項別明細書 268 頁】	橋りょうの傷んだ箇所の補修事業を行った。 ①遠見陸橋橋りょう補修 (大久保町) 567 千円 階段工 1 式 ②久吹橋橋りょう補修 (田平町) 1,291 千円 高欄取替 1 式	1,858
橋りょう長寿命化 事業 (建設課) 【事項別明細書 268 頁】	年次補修・点検計画に基づき、計画的に橋りょうの修繕を行った。 4 橋補修 17,010 千円 (勝尾岳線 1 号橋、遠見陸橋、平戸口跨線橋、太田橋、前田橋)	17,010
【事項別明細書 268 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 1 橋補修 (若宮橋) 5,341 千円	5,341

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
	10,700	34	70,995	
	8,600		500	
120,217			1,727	
			1,858	橋りょう改修工事の施工により、住民の交通の安全が確保された。
11,050			5,960	これまでの壊れたら架け替えるという事後保全的な対応から、予防的な補修を計画的に行う対応に転換したことで、橋りょうの長寿命化と、修繕・架け替えにかかる事業費の増大を回避し、コストを縮減することができた。
3,471			1,870	

事業名	事業内容	事業費
河川改良事業 (建設課) 【事項別明細書 270 頁】	河川の氾濫及び護岸の崩壊防止のため、改修事業を行った。 護岸改修外 14 河川 13,043 千円	13,043
河川整備事業 (建設課) 【事項別明細書 270 頁】	＜地域の元気臨時交付金事業＞ ①普通河川江悟の川 4,998 千円 ②普通河川前田川 4,969 千円	9,967
急傾斜地崩壊対策事業 (建設課) 【事項別明細書 270 頁】	災害危険箇所指定された地域の安全で安心できる生活基盤づくりのため、次の地区の防止事業を行った。 ①潮の浦(2)地区 事業費 21,300 千円 L= 25.0m ②小川地区 事業費 9,300 千円 L= 5.0m うち年度内支出 4,600 千円	25,900
【事項別明細書 270 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 ①潮の浦(2)地区 事業費 16,645 千円 L= 23.0m うち年度内支出 9,845 千円 ②小川地区 事業費 23,955 千円 L= 33.0m うち年度内支出 15,755 千円	25,600
急傾斜地崩壊対策事業県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 270 頁】	県が実施する次の地区の整備事業にかかる県工事負担金 津吉地区 ＜事業費 24,000 千円＞ 市負担金 4,800 千円 L= 34.0m うち年度内支出 2,378 千円	2,378
【事項別明細書 270 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 津吉地区 ＜事業費 25,000 千円＞ 市負担金 5,000 千円 L= 41.0m うち年度内支出 2,970 千円	2,970

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
			13,043	河川改修工事の施工により、河川の氾濫及び護岸の崩壊が防止され、住民生活の安全が確保された。
9,600			367	
12,755	12,200		945	市の災害危険箇所指定された地域の崩壊防止工事の施工により、周辺住民の生命・財産を守ることができる。
12,739	11,000		1,861	
	2,200		178	
			2,970	

事業名	事業内容	事業費
港湾整備事業県工事負担金 (建設課) 【事項別明細書 272 頁】	船舶の安全性の向上と離島航路利用者の利便性、安全性を確保するため、次の港湾整備事業費にかかる県工事負担金 ①平戸港地域自立活性化事業 ＜事業費 65,000 千円＞ 市負担金 8,938 千円 浮桟橋改良（2カ所） うち年度内支出 4,085 千円 ②田平港地域自立活性化事業 ＜事業費 215,540 千円＞ 市負担金 29,637 千円 うち年度内支出 10,831 千円 -2m 物揚場 1 式、道路 1 式、泊地 1 式、船揚場 1 式 ③川内港・古江港海岸自然災害防止事業 ＜事業費 66,661 千円＞ 市負担金 4,666 千円 川内港護岸改良 L=108.7m うち年度内支出 3,685 千円 古江港護岸改良 L=199.4m ④江迎港港湾改修事業 ＜事業費 3,780 千円＞ 市負担金 945 千円 深月地区流木防止フェンス設置 L=47m	19,546
【事項別明細書 272 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 ①平戸港地域自立活性化事業 ＜事業費 29,600 千円＞ 市負担金 21,875 千円 浮桟橋改良（1 箇所） うち年度内支出 1,317 千円 ②大島港港湾統合補助事業 ＜事業費 50,000 千円＞ 市負担金 6,250 千円 道路改良 1 式 ③古江港海岸自然災害防止事業 ＜事業費 15,170 千円＞ 市負担金 1,036 千円 護岸改良 1 式 うち年度内支出 370 千円 ④川内港海岸自然災害防止事業 ＜事業費 5,910 千円＞ 市負担金 404 千円 護岸改良 1 式 うち年度内支出 147 千円	8,084
都市計画マスタープラン策定事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 274 頁】	本市にふさわしい都市の将来像の実現に向けた指針となる都市計画マスタープランの策定を 3 カ年かけて行った。 ・平戸市都市計画マスタープラン策定業務 1 式 2,320 千円 ・その他事務費 94 千円 ・期 間 平成 23 年度～平成 25 年度	2,414
都市下水路整備事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 274 頁】	昭和50年代に整備した都市下水路より上流に家屋が建ち、谷間からの雨水によりたびたび浸水にみまわれたため、地元から、都市下水路の延長要望を受け、下水路整備を 3 カ年かけて行う。 ・都市下水路安全対策工事 84 千円 ・戸石川下水路整備工事 4,915 千円 自由勾配側溝 L=31m 暗渠排水管敷設工 L=24m ・期 間 平成 25 年度～平成 27 年度	4,999

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
	10,300		9,246	港湾整備を行ったことにより、船舶の安全性の向上と離島航路利用者の利便性、安全性が確保される。
			8,084	
			2,414	都市計画マスタープランの全体構想や地域別構想、実現化方策を完成させたことにより、プランに則して事業を展開し都市づくりを進めることができるようになった。
			4,999	都市下水路の整備により、周辺住民の生活環境が一部改善された。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費
街なみ環境整備事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 276 頁】	平戸城下旧町地区街なみ環境整備事業計画の整備方針である、「歴史を活かした歩いて楽しいまちづくり」実現のため、町屋 8 棟の修景補助を行うとともに、公共施設整備として電線地中化、道路美装化及び水路整備を実施した。 ①修景施設整備（崎方地区） 11,994 千円 整備棟数 3 棟 ②修景施設整備（4 町地区） 11,994 千円 整備棟数 3 棟 ③修景施設整備（2 町地区） 7,996 千円 整備棟数 2 棟 ④電線共同溝整備工事（4 町地区） 21,710 千円 L=370m ⑤地区施設整備 24,878 千円 道路美装化工事(崎方) L=34m 道路美装化工事(2 町) L=270m 水路整備工事(2 町) L=356m ⑥その他事務費 586 千円	79,158
【事項別明細書 278 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 ①修景施設整備（4 町地区） 8,811 千円 整備棟数 3 棟 ②修景施設整備（2 町地区） 5,998 千円 整備棟数 2 棟 ③電線共同溝整備工事（4 町地区） 32,970 千円 L=167.5m ④職人町道路美装化測量設計業務委託 2,499 千円 現地測量 2.2ha 路線測量 600m ⑤その他事務費 253 千円	50,531
美しいまちづくり 支援事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 276 頁】 【事項別明細書 278 頁】	特徴的で魅力ある景観資産を後世に残していくことを目的に、長崎県の景観資産に登録されている亀岡神社神楽殿を、経年による老朽化対策のため屋根の葺き替え等を行った。 ・景観資産助成事業 整備棟数 1 件 4,000 千円 亀岡神社「神楽殿」	4,000

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
37,509	22,600	88	18,961	城下旧町地区において、計画の一部である電線類地中化や地区施設を整備するとともに修景施設を整備したことにより、歴史的な趣のある街なみが形成されつつあり、住民の街づくりに対する意識が向上し、城下旧町地区内にまちづくりの気運が高まった。
24,314	17,000		9,217	
2,000			2,000	歴史的価値がある平戸の重要な景観資産の保存継承に寄与した。

事業名	事業内容	事業費
まちづくり総合整備事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 278 頁】	平戸市北部地区の「美しいまちづくり支援地区」及びその周辺地域におけるまちづくりとして、平成 21 年度に策定した「都市再生整備計画」に基づき、都市計画道路亀岡循環線の整備や、平戸市観光交通ターミナルを建設した。 ①亀岡循環線整備 照明設備工事 1 式 埋立竣功業務委託 1 式 ②平戸市観光交通ターミナル 電気設備工事 1 式 機械設備工事 1 式 周辺整備工事 自然石舗装 A＝972 m ² ③その他事務費	86,046 3,308 千円 81,692 千円 1,046 千円
【事項別明細書 278 頁】 【事項別明細書 280 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 ①亀岡循環線整備 改築工事（3 工区）L＝415m 交通安全施設整備工事 転落防護柵 L＝323m 舗装工事 L＝415m ②平戸観光交流ターミナル 管路移設工事 1 式 市港湾ターミナル解体工事 1 式 観光交流センター建設工事 1 式 観光交流センター工事監理業務委託 1 式 仮設待合所改修工事 1 式 仮設待合所家屋賃借 1 式 電線等移設補償費 1 式 備品購入費 1 式 ③その他事務費	324,685 168,364 千円 154,550 千円 1,771 千円
高齢者向け優良賃貸住宅等家賃低廉化事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 280 頁】	居住用住宅を必要とする60歳以上の高齢者向け優良賃貸住宅(希望の里ひかり)へ入居する収入基準以下の高齢者の家賃減額分を助成した。 ・家賃減額補助 対象戸数：10 戸（管理戸数 20 戸中、10 戸ずつを市・県が助成） 延べ 116 月	1,038 1,038 千円
耐震・安心住まいづくり支援事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 280 頁】	昭和 56 年以前に建築された戸建木造住宅の所有者が行う耐震診断・耐震改修計画及び改修工事に係る費用の一部を助成し、地震による人的・経済的被害の軽減を図った。 ・耐震化診断業務委託料（2 件）	60 60 千円

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
30,864	31,800	91	23,291	亀岡循環線の改築工事を行い、道路の供用を開始したことにより、交通の緩和及び安全性が図られた。 また、平戸港湾ターミナルの解体工事を実施し、平戸市観光交通ターミナルが完成したことにより、バスやフェリーの利用者の利便性が向上し、新たな公共交通の利用促進と観光の拠点として、観光振興・地域活性化に寄与することが期待できる。
109,009	164,900		50,776	
463			575	高齢者が安心して居住できる住宅を提供することができるとともに、入居高齢世帯の負担を軽減できた。
45			15	耐震診断をすることで、地震に対する住宅の安定性を判断でき、その後に改修工事を行うことで民間木造住宅の地震による人的・経済的被害の軽減を図り、居住環境を向上させることができた。

事業名	事業内容	事業費
老朽危険空き家除却事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 280 頁】	不良住宅や空き家が住環境の妨げとなっていることから、安全・安心な住環境づくりを促進するため、老朽化した危険な空き家の除却を行う者に対し費用の一部を助成した。 ・老朽空き家除却事業補助金（2件） 502千円	502
住宅性能向上リフォーム支援事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 280 頁】	既存住宅のバリアフリー化、省エネ化・防災化など、一定の性能確保ができる良質な住宅ストックの形成を図ることを目的とし、性能向上リフォーム工事を行なう者に対し費用の一部を助成した。 ・住宅性能向上リフォーム補助金 48件（27名） 8,810千円 (バリアフリー化 21件 省エネ化 17件 防災化 10件) ・その他事務費 234千円	9,044
公営住宅整備事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 282 頁】	【平成24年度繰越明許費】 良質な住宅を供給するとともに、入居者の生活環境の向上を図るため、公営住宅建設の整備を行った。 【社会資本整備総合交付金事業】 ①大膳原住宅A棟外壁・屋上防水改修工事 26,641 千円 ②上大垣住宅A・B棟外壁改修工事 8,135 千円 ③上大垣住宅C棟外壁改修工事 4,129 千円 ④上大垣住宅D棟外壁改修工事 4,632 千円 ⑤馬の元団地A～C棟外壁・屋上防水改修工事 12,643 千円 ⑥馬の元団地D・E棟外壁・屋上防水改修工事 12,391 千円 【単独事業】 ①上大垣住宅A～C棟電気引込改修工事 1,489 千円	70,060
公営住宅改修事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 282 頁】	入居者の生活の安全及び居住環境の向上を図るため、老朽化した既存住宅の外壁改修及び屋上防水等の改善を行った。 【社会資本整備総合交付金事業】 ・下亀団地解体工事2棟4戸 2,006千円 【単独事業】 ・大膳原住宅駐車場整備工事 2,463千円 ・大膳原住宅B棟量水器取替整備工事 1,229千円 ・大膳原住宅B棟No2揚水ポンプ取替工事 472千円 ・大膳原住宅A棟階段ノンスリップ修繕工事 403千円 ・清水川住宅駐車場整備工事 3,793千円 ・中の原住宅フェンス設置・法面補修等工事 191千円 ・中の原住宅法面舗装工事 1,022千円 ・紐差下里住宅側溝蓋補修工事 152千円 ・永田団地駐車場整備工事・電柱移転 8,835千円 ・永田団地駐車場外灯工事 940千円 ・永田団地駐輪場設置工事 652千円	22,158
沓部浦住宅建設事業 (まちづくり課) 【事項別明細書 282 頁】	良質な住宅を供給するとともに、入居者及び地域の生活環境を整備するため、沓部浦住宅建設事業に着手した。 【単独（補助対象外）事業】 ・市有地交換分筆登記業務委託料 377千円 ・期 間 平成25年度～平成27年度	377

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
250			252	住環境の妨げとなっている空き家の除却により、安全・安心な住環境づくりを促進するため、居住環境を向上させることができた。
8,283			761	住宅の性能確保が出来る良質な住宅ストックの形成を図ることができた。
26,699			43,361	良質な住宅が供給され、入居者が安全で快適な生活ができる居住環境を提供することができた。
828			21,330	老朽化した既存住宅の利便性や安全性が改善され、入居者の生活の安全及び居住環境を向上させることができた。
			377	県有地である沓部浦住宅建設用地の交換用地として、市有地の分筆登記を行った。

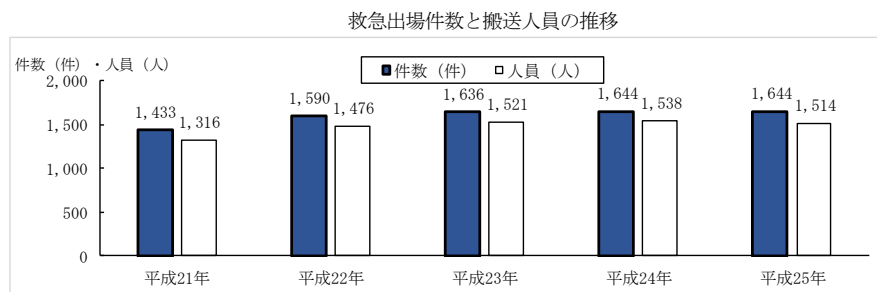
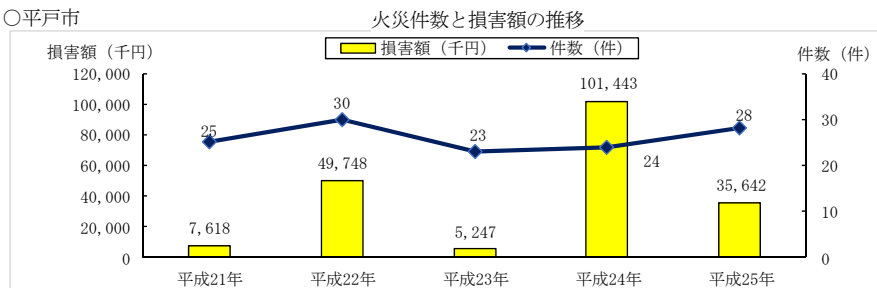
【 9 款 消防費 】

平成 25 年中における本市の火災発生状況は、発生件数 28 件、損害額 35,642 千円で、これを前年と比較すると発生件数は 4 件の増加であるが、損害額は△65,801 千円で大幅に減少している。また、救急活動状況は、出場件数 1,644 件、搬送人員 1,514 人で前年と比較すると、出場件数は同数、搬送人員は△24 人でわずかに減少している。

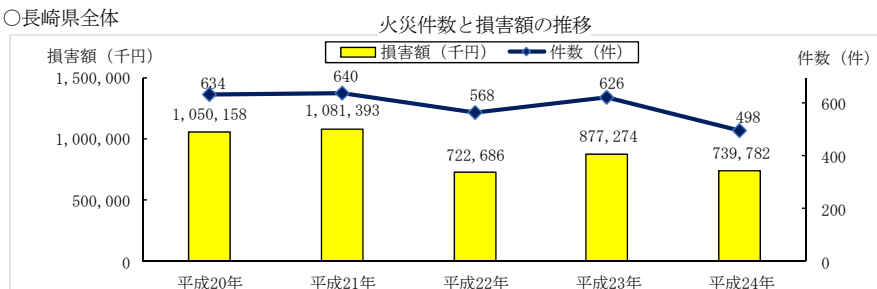
このような状況の中、多種多様化する災害等に対応するために、職員及び団員の研修や訓練などを積極的に行い資質の向上に努めた。また防災拠点となる消防庁舎についてはあらゆる災害に対し迅速かつ的確に対応できる施設としての機能の充実を図っていく。加えて、現場活動の充実強化のため、消防水利、消防車両等の施設・設備の整備を計画的に行った。

(※火災・救急統計は、暦年統計のため平成 25 年中のデータとした。長崎県全体の統計については平成 20 年から 24 年のデータ)

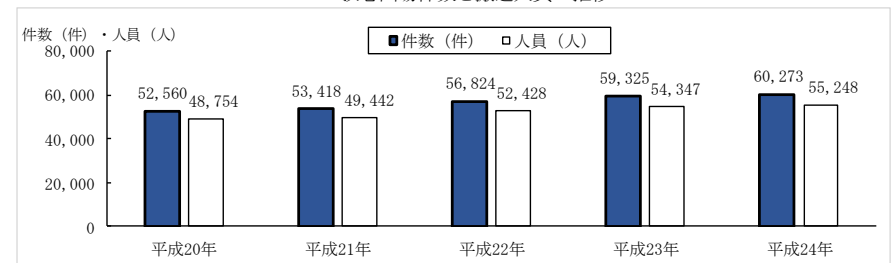
○平戸市



○長崎県全体



救急出場件数と搬送人員の推移



(1) 非常備消防

常備消防と同様、地域住民の生命、身体、財産を守るという重要な役割を担う消防団員の活動を充実するため、消防団員確保とサポート体制の構築を図るための事業に取り組んだ。

(2) 消防施設

防災拠点となる消防庁舎移転新築のため、これに係る敷地造成工事を完了し、平成 27 年 4 月の供用開始に向け工事に着手した。また、老朽化した消防指令台の更新と現在使用中のアナログ式消防救急無線の使用期限が平成 28 年 5 月 31 日までとなったことにより、施設の整備に向けて実施設計の策定業務を行った。

防災施設や設備整備については消防水利の新設・補修を行い、消防施設の充実強化を図るとともに小型ポンプ付積載車等の車両更新により災害現場における消防活動の円滑化を図った。

救急体制については年々増加する救急出場と救急処置の高度化に対応するため、高規格救急車の更新を行い、資機材、装備の充実を図り救急救命士の高度な技術を十分に発揮できる環境を整備した。

(3) 災害対策

自主防災組織を 100%にするため、平成 24 年度から平成 26 年度までの 3 年間で自主防災組織への資機材購入補助及び自主防災組織育成コーディネーターを雇い各地区へ組織結成を積極的に推進した結果、平成 26 年 3 月 31 日現在での自主防災組織率は 70.4%となり、1 年前に比べて 32.6%も上げることができた。また、長崎県の自主防災組織率 49.5% (平成 25 年 10 月 1 日現在) と比べても大幅に上回る結果となった。

設備整備については災害が発生した場合、電力喪失の可能性があるため、コミュニティ助成事業補助金でモバイルソーラーを 41 台購入し、各避難所における通信機器の充電手段を確保した。

事 業 名	事 業 内 容	事 業 費
消防団サポート事業 (消防本部) 【事項別明細書 292 頁】	サポート事業所の PR 用として、事業所名入りのクリアファイルと消防団員募集のマグネットシート(消防車両用)を作製し、啓発活動を行った。 ・マグネットシート (164 枚) 258 千円 ・クリアファイル (1,000 枚) 298 千円	556
消防庁舎整備事業 (消防本部) 【事項別明細書 294 頁】	消防庁舎の移転新築を計画し、敷地造成工事を行い、庁舎建設工事に着手した。 ・消防庁舎敷地造成工事 74,758 千円 ・庁舎建設工事 12,600 千円 ・地中配線(NTT)移転補償費 131 千円 ・事務費 1,037 千円	88,526
【事項別明細書 296 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 消防庁舎建設の用地購入を行った。 ・土地購入費 8,859 千円	8,859
消防防災無線デジタル化整備事業 (消防本部) 【事項別明細書 294 頁】	平成 23 年度に実施した基本設計・電波伝搬調査の結果を踏まえ、新庁舎建設に併せて実施設計策定業務を行った。 ・実施設計策定業務委託 16,275 千円 ・事務費 16 千円	16,291
消防救急体制整備事業 (消防本部) 【事項別明細書 294 頁】	年々増加する救急出場と救急処置の高度化に対応するため、平成 13 年度に購入した高規格救急車の更新を図った。 ・消防特殊車両購入費 26,622 千円	26,622
消防防災施設整備事業 (消防本部) 【事項別明細書 294 頁】	消防水利の充実を図るため防火水槽の新設、補修及び消火栓の改修により消防水利の充実を図るとともに、消防格納庫整備のための設計を行った。また、落雷で被害を受けた無線中継局の修理を行った。 ・耐震性貯水槽新設 40 t 級 4 基 19,380 千円 (木ヶ津・古江・稗田・田平町山内) ・防火水槽補修 2 基(獅子・生月) 469 千円 ・消火栓整備 10 基(改修 9 基・撤去 1 基) 3,703 千円 ・格納庫整備設計業務委託(大志々伎) 670 千円 ・無線中継局電源修理(上床・屏風岳) 335 千円	24,557

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
556				消防車両に消防団員募集のマグネットシートを貼付し、募集活動を行った。また、消防団サポート事業所名入りのクリアファイルを作製し、観光施設、支所等へ配布して活用してもらうことで市民へ PR することができた。
	82,800		5,726	老朽化による庁舎の新築移転のため、庁舎建設の用地購入の手続き及び敷地造成工事を完了し、庁舎建設工事に着手することができた。
	8,400		459	
	15,400		891	消防指令台、消防救急無線のデジタル化整備に向けた実施設計が完了し、整備工事に向けての準備が整った。
	23,600		3,022	車両の更新はもとより、資機材の充実が図られ、高度化する救急処置の対応が可能となり救命率の向上につながる整備ができた。
9,358	9,895	190	5,114	消防水利が乏しく有事の際、消火活動が危惧されていた地区への耐震性貯水槽を新設及び老朽化等に伴う改修を行った。 また、老朽消火栓等の改修を行い、消防水利の充実が図られ消火活動における有効な水利が確保された。 大志々伎の格納庫については、これまで車庫のみで詰所や駆けつけた団員の駐車スペースも無く、消防活動に支障をきたしているため、地区の中心部に新築移転を計画し、整備に向けた準備を整えた。

事業名	事業内容	事業費
消防防災設備整備事業 (消防本部) 【事項別明細書 294 頁】	消防設備整備では、災害現場における消防活動を行ううえで、最も重要な消防車両と隊員の安全確保のための隊員装備の更新整備を行った。 ・小型動力ポンプ付積載車 1 台(大島村大根坂) 4,389 千円 ・小型動力ポンプ付軽積載車 1 台(大島村神浦) 3,276 千円 ・小型動力ポンプ積載車 1 台(生月町御崎) 3,381 千円 ・小型動力ポンプ 1 台(京崎) 1,008 千円 ・事務費 103 千円 ・空気呼吸器 2 基 (田平出張所) 924 千円	13,081
自主防災組織育成事業 (地域協働課) 【事項別明細書 296 頁】	地域住民が自主的に防災活動を行う組織の育成のため、研修会の開催や資機材整備補助の交付により自主防災組織の結成を推進した。 ・研修会 参加者 215 人(94 地区) ・組織率 70.4% (平成 26 年 3 月 31 日現在)	12,754

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
	11,905		1,176	老朽化した消防車両、ポンプ及び資機材を更新した。なかでも今回、大島村神浦地区は、狭あい道路であることから軽自動車積載車を導入し、災害時における機動力の強化ができた。また、空気呼吸器の更新整備を行い、消防活動時の隊員の安全が確保された。
492	10,900		1,362	自主防災組織率が昨年度末に 37.8%であった結成率が平成 26 年 3 月 31 日には 70.4%と増加した。 結成した地区のなかには避難訓練等を行うなど、結成をきっかけとして市民の防災知識の普及や意識の向上につなげることができた。

【 10 款 教育費 】

1 学校教育

本市の教育分野においては、平戸市総合計画に定める基本目標や平戸市教育方針及び平戸市教育努力目標に基づき、「豊かな心」「確かな学力」「たくましい体」の充実を掲げ、「生きる力」の育成を目指してきたところであり、平成 22 年 6 月には、現在の様々な教育的課題に対応すべく今後 5 年間のアクションプランとして、平戸市教育振興基本計画を策定した。

計画実現のため『高い志を持つ人づくり』を重点目標に「基礎学力の向上」「特別支援教育の充実」「主体的な読書活動の推進」「不登校対策の推進」「信頼され尊敬される教師づくり」の重点事項に取り組んだ。

第 1 に、教師の指導法の改善と指導力の向上を目指し、全ての小・中学校を訪問して指導にあたった。

第 2 に、研究指定による指導について平成 24 年度から 2 か年、中部中学校を県及び市教育委員会の研究指定校として、言語活動の充実を図る実践研究を行った。さらに、平成 25 年度から 2 年間、平戸小学校及び生月小学校を市教育委員会の研究指定校として、国語科と算数科の研究に取り組んでいるところである。

第 3 に、学力向上のための計画の作成と実践を行った。全ての小・中学校で「観点別学力到達度診断テスト」を実施するとともに、平成 19 年度から実施された全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、全校がそれぞれに学力向上プランを作成し、指導法の改善を図り、学力の確実な定着を目指している。

第 4 に、外国語の向上を図る取組みを行った。児童生徒が生きた英語に慣れ親しみながら、英語力の向上並びに国際感覚の充実を図るため、5 人の外国語指導助手を招致し、全ての小・中学校で指導を行った。

もう一つの柱は、「心の教育」の充実である。

第 1 に、道徳の指導に力を入れ、校長をはじめ、全職員による道徳教育の充実に努めた。道徳の指導方法の工夫・改善に取り組む一方、保護者や地域に対して道徳の授業を公開した。また、「長崎っ子の心を見つめる教育週間」において命の尊さについて考える校長講話や公開授業を実施して、いのちを大切にすることを育むための指導を行った。

第 2 に、全ての小・中学校において、継続した取り組みとして日課表の中に読書の時間（「朝の読書」など）を設定し、全校一斉の読書活動を実施した。このことは子どもの情操教育に効果的であり、落ち着いた学習態度の定着など良い結果をもたらしている。

第 3 に、県派遣「スクールカウンセラー」を平戸小学校、平戸中学校、生月中学校、南部中学校及び田平中学校の 5 校に配置を行うとともに、平成 24 年度から「スクールソーシャルワーカー」を 1 人配置し、問題を抱える児童生徒がおかれた環境への働きかけを行うほか、関係機関のネットワークの構築、連携・調整を行った。

また、適応指導教室「のぞみ」の活用を図り、不登校生徒 4 人の学校復帰に向けての指導を行った。

第 4 に、「特別支援教育」体制の更なる充実に向け、特別支援教育支援員を増員配置するとともに、研修会、講演会を開催し、個に応じた指導体制の基盤づくりを進めた。

その他、学びを支援する教育環境の整備として、学校施設の老朽化及び今後の児童生徒の推移等を総合的に判断しながら、施設整備計画を策定し、当面、平成 27 年度までに耐震化完了を目指した工事等を主に行っている。

平成 25 年度は、平戸小学校校舎耐震改修工事並びに市内 9 小学校の屋内運動場及び田助小学校校舎の耐震改修に伴う工事設計などを行い、環境整備に努めるとともに、学校施設や設備の軽微な修繕、危険箇所の安全点検や補修及び草木の伐採等には、速やかに対応できる体制を構築し、きめ細かな学校施設の改善に努めている。

情報環境整備については、日々進歩する技術革新を含む情報教育を取り巻く環境などを注視し、今後、機器操作及び情報モラル対策の推進などソフト事業と併せて、情報機器の整備など本市 ICT 教育ビジョンを策定する予定である。

（1）奨学費

平戸市奨学金制度は、品行方正、学業成績が良好でありながら、経済的理由により修学困難な者に学資を貸与し、教育の機会均等を図り、将来、社会の発展に貢献できる人材育成を目的として、高校または大学等に修学する生徒・学生を対象に、高校 4 人、高専 3 人、大学 4 人の全体で 11 人（平成 25 年度新規貸付者：高校 1 人、大学 2 人）について、平戸市奨学資金貸付基金運営委員会の審査により決定し、奨学金の貸与を行った。

（2）小学校・中学校費

○学校管理

学校教育の充実を目的として、児童生徒の健康対策及び保護者の負担軽減を図るなど、児童生徒が安心して学習できる教育環境の整備を行った。

施設の営繕等については、プールの濾過装置補修、校舎や体育館の屋根防水補修、空調機や消防設備の修繕、更には、教室のカーテン・暗幕の取替、黒板張替など施設の維持及びより安全な教育環境の整備を行った

○教育振興

心の教育の充実及び児童生徒の読書活動を推進するため、学校図書館支援員を全ての小・中学校に配置し、読書環境の整備を図るとともに、読書の質の向上を掲げ、情操教育としての読書活動の推進を行った。

就学援助対策として、要保護及び準要保護並びに特別支援学級の児童生徒に対し、援助費及び奨励費の支給や、遠距離通学等をしている児童生徒に対し、補助金の支給を行った。また、適応指導教室「のぞみ」では、不登校生徒 4 人に対し、学校復帰を目指した指導を行い、学校行事や卒業式への参加や高校への進学など改善できた児童生徒がいた。更には、指導員が不登校生徒の家庭を訪問し、生徒及び保護者等が抱える悩みを聞いたり登校等を促すことにより、学校復帰への指導を行った。

○学校建設

学校施設環境の整備については、校舎の増改築や大規模改修、耐震補強、屋内運動場を含む各施設の整備等、年次計画に基づき実施しているところであり、本年度は、先に示した耐震改修等のほか、度島小中学校校舎等屋上防水改修工事及び平戸中学校グラウンド整備工事を実施し、安全で安心な教育環境の整備を図った。

○学校施設の耐震化率の推移（各年度末）

施 設 名	平成 24 年度	平成 25 年度
小 学 校	75.0%	76.9%
中 学 校	100.0%	100.0%
計	84.0%	85.2%

2 幼児教育

幼児教育の充実と円滑な幼稚園運営を図るため、職員研修の実施、施設の維持補修及び備品の購入を行うなど幼児がのびのびと学べる環境の整備に努めた。

また、公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図るため、私立幼稚園の保護者に対し、保育料等を減免する私立幼稚園就園奨励費補助を行った。

保護者等のニーズを考慮し、幼稚園教育の質を確保しながら、7 月から預り保育を実施した。

3 社会教育

(1) 社会教育

平成 19 年 3 月に策定した平戸市生涯学習推進計画に基づき、市民自らの学習意欲を喚起し、学習した成果を生かした協働のまちづくりを推進した。具体的な取り組みとして、市民自らが様々な分野から講師を招聘しての生涯学習講演会の開催をはじめ、生涯学習パスポートの表彰・生涯学習月間の啓発、ながさき県民大学主催講座の実施、市民編を前面に出した「まちづくり出前講座」の実施等、生涯学習の推進に取り組んだ。

長崎県の県民運動である「ココロねっこ運動」を推進する事業や学社融合事業等を実施し、学校と地域、家庭が一体となって青少年の健全育成に取り組む気運を高め、地域や家庭の教育力の向上を図った。また、少年センターでは、専門員や少年センター補導委員による補導活動や環境浄化活動を実施し、青少年の非行防止、保護育成に取り組んだ。

公民館事業については、市内 6 公民館を生涯学習の拠点施設として各種学級・講座等を実施し、市民のニーズや時代に即応した学習の場の提供を行った。また、地域の生涯学習の推進や住民相互の交流を図るうえで必要な地区公民館の修繕補修についても助成を行った。図書館事業については、利用者ニーズにあった資料の購入、読書感想発表大会や読み聞かせ等の読書推進事業、各種講座開催など読書に親しむ機会の提供を行った。

(仮称)総合情報センターの建設にかかる設計業務委託を行うとともに選書作業及び図書の購入を計画的に行い、平成 27 年度開館に向けた準備を行った。

(2) 文化財保護

平成 25 年 10 月 17 日に「棲霞園及び梅ヶ谷津信案園」が国指定名勝、平成 25 年 8 月 1 日に「沖楨介宅跡の大イヌマキ」が市指定天然記念物、平成 25 年 12 月 24 日に「永山家住宅主屋、隠居屋」が国登録文化財となった。

指定・選定文化財について、大島村神浦重要伝統的建造物群保存地区の町家 3 件の修理補助、国指定有形文化財「田平天主堂」司祭館修理補助、県指定史跡「鯨組主益富家居宅跡」御成門の改修補助、県指定天然記念物「平戸石川のハルサザンカ」の保存整備補助、県指定天然記念物「海寺跡のハクモクレン」の保存修理を行い貴重な文化財の保存・保護に努めた。

平戸和蘭商館については、経年劣化による破損が著しい常灯の鼻修復のための整備委員会を開催するとともに、関連遺跡の横島の全体像解明のための発掘調査を継続して行った。

重要文化的景観保護について、適切な保存活用を図っていくため、整備活用計画の策定検討を行った。また、選定区域内の便益施設整備として休憩施設 1 棟を設置したほか、建造物等の修理修景を行い、景観の向上を図った。

世界遺産登録推進について、世界遺産推薦書の平戸地区にかかる個所の修正作業や国や県と世界遺産構成資産の現地確認など推薦書や包括的保存管理計画の内容について協議を行い登録作業の推進を図った。

(3) 文化振興・文化施設

文化振興について、市美術展、文化協会加盟団体による文化まつりを実施し、文化活動団体への活動補助、全国大会出場者への補助を行うなど、市民の文化に対する意識の高揚と、芸術文化の振興に努めた。

また、ながさき音楽祭 2013 コンサート 5 カ所、ひらんコンサート 1 カ所、次代を担う子どもの文化芸術体験事業 6 カ所で開催し、質の高い芸術を鑑賞する機会を提供することができた。

さらに、民俗芸能祭を開催することにより、平戸固有の伝統文化を市内外に周知・啓発するとともに、各保存会の意見交換・交流の場を設けることができた。

文化施設について、大島村ふるさと資料館、田平町里田原歴史民俗資料館、生月町博物館・島の館、平戸オランダ商館の施設の維持管理・運営・公開を行い、郷土の歴史や地域文化の紹介と情報発信、文化財の保存保護に対する周知と啓発を行った。里田原歴史民俗資料館では佐賀県吉野ヶ里管理センターと出土遺物

の交換展示を実施し、里田原遺跡を再認識してもらうことができた。島の館では企画展「キリシタン—海が伝えた信仰文化—」を開催するとともに、世界遺産の動きを見据え、企画展用のパネルを転用した、かくれキリシタンコーナーをリニューアルし、農業コーナーも牛のフィギュアを導入して展示替えを行った。

4 保健体育

(1) 保健体育・体育施設

スポーツ推進については、体育協会を中心としてスポーツ団体の育成と競技力の向上を図った。特に市民体育祭においては合同開会式を皮切りに各種競技の大会を開催し、県大会への出場予選を兼ねるとともに競技力向上と交流の場の提供に寄与することができた。また、各地区の体育振興会を中心に、健康まつりや町村民運動会などを開催し、市民の融和と社会体育の底辺拡大、市民の健康増進を図るため、生涯スポーツの推進に努めた。

スポーツ推進基金を活用して、個人・団体等の九州大会以上の大会への参加費補助やスポーツ教室等の開催に助成を行い、更なる競技力の向上につなげることができた。また、スポーツを通じて青少年の健全育成を図るためスポーツ少年団へ支援を行った。

秋の風物詩として定着したスポーツイベント「第 7 回ひらどツデーウォーク 2013」は市内外からの参加者の健康増進とともに、観光地平戸を大きく P R し、地域の活性化に貢献することができた。

平成 26 年度長崎がんばらんば国体軟式野球の競技会場である平戸市総合運動公園ライフカントリー赤坂野球場と生月町勤労者体育センターを中心として各体育施設改修等を行い、施設の利便性と安全性の確保に努めた。

第 69 回国民体育大会平戸市実行委員会運営事業については、4 月 24 日に平戸市実行委員会常任委員会を、5 月 10 日に第 3 回総会を開催し、その後、4 専門委員会を開催した。先催地の視察・調査（東京都）を行うことにより具体的な内容の把握ができ、平成 26 年度の本大会開催の業務遂行に大いに参考となった。また、関係機関団体等との連絡調整及び放送委員の実践研修を行い、大会開催へ万全を期すため準備を行った。本国体のリハーサル大会として、6 月 29 日から 3 日間「第 35 回西日本軟式野球大会 2 部」を開催し、8 月 25 日には、「第 52 回全国教職員相撲選手権大会」を開催し、本番を見据えた取組みを行い、改善点を見出し、本国体に備えた。大会の啓発活動として各種イベントでの着ぐるみ P R、フェイスブックの更新、ボランティアの募集、本大会のポスター及びスローガンの募集・決定を行った。

全国高等学校総合体育大会平戸市実行委員会運営事業については、4 月 24 日に平戸市実行委員会常任委員会を、5 月 10 日に第 3 回目の総会を開催するとともに、関係機関団体等との連絡調整及び高校生放送部の県内外大会での実践研修を行い、8 月 2 日より 3 日間「相撲競技大会・第 91 回全国高等学校相撲選手権大会」を開催し、全国から 85 校 456 名の選手・監督・コーチを迎え入れ、盛大に大会を開催し、2 月 12 日に第 4 回総会（解散）を開催し、成功裡に終了することができた。

全国高等学校総合体育大会相撲競技選手強化育成事業については、年間を通して遠征合宿及び合同練習を行うことにより選手強化が図られたものの、本市より出場選手を輩出することができなかったが、九州大会及び全国新人大大会出場や国体強化選手指定を受けるなど確実にレベルアップが図られた。

(2) 学校給食

安全安心でおいしい給食を児童生徒に提供するため、講習会等に参加し調理従事者の資質の向上を図った。

また、「おにぎり給食」を 2 回実施し、主食である米の消費拡大と児童生徒の心身の健康保持増進に対する興味及び意欲の向上に努めた。

設備面では、経年劣化により業務に支障をきたしていた食缶類洗浄機（北部）及びスプーン洗浄機付侵漬装置（中南部）の大型厨房機器を更新し、他の給食調理場においても厨房用機械器具を更新し、作業の効率化が図られた。

施設面では、高圧受電装置、ボイラー配管、照明器具等の改修により、円滑な業務遂行のための環境整備がなされ、学校給食衛生管理基準の遵守が図られた。

事 業 名	事 業 内 容	事 業 費																											
奨学資金貸付事業 (教育総務課) 【事項別明細書 302 頁】	経済的理由により修学困難と認められる品行方正、学業成績が良好である者に教育の機会均等を図り、将来の社会発展に貢献できる有為な人材を育成することを目的に学資を貸与した。 平戸市奨学資金貸付基金 平成 25 年度貸付状況 11 人 2,448 千円 内訳 <table><tr><th></th><th>高校</th><th>高専</th><th>専修</th><th>短大</th><th>大学</th><th>計</th></tr><tr><th>区 分</th><th>人</th><th>千円</th><th>人</th><th>千円</th><th>人</th><th>千円</th></tr><tr><td>合 計</td><td>4</td><td>576</td><td>3</td><td>432</td><td>4</td><td>1,440</td></tr><tr><td>うちH25新規</td><td>1</td><td>144</td><td></td><td></td><td>2</td><td>720</td></tr></table> 基金金額		高校	高専	専修	短大	大学	計	区 分	人	千円	人	千円	人	千円	合 計	4	576	3	432	4	1,440	うちH25新規	1	144			2	720
	高校	高専	専修	短大	大学	計																							
区 分	人	千円	人	千円	人	千円																							
合 計	4	576	3	432	4	1,440																							
うちH25新規	1	144			2	720																							

財 源 内 訳				事 業 の 成 果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
		20	111	修学困難とされる者に修学を促し、機会均等に教育環境を提供できるとともに家庭の経済的負担の軽減に寄与することができた。
	15,900	55	6,429	学校統廃合となった地区または公共交通機関が乏しい地域の児童生徒の安全な通学の確保ができた。 また、通学以外での市内各小中学校の学習活動（水泳指導、社会科見学等）への有効活用ができた。

事業名	事業内容	事業費
就学対策事業 (学校教育課) 【事項別明細書 304 頁】 【事項別明細書 310 頁】	就学困難な児童生徒の保護者の負担軽減及び義務教育の円滑な実施等を図るため、就学のために必要な学校用品等の整備及び支援等を行った。 【負担金補助及び交付金】 3,589千円 遠距離等児童・生徒通学費補助金 3,194千円 遠距離等の児童生徒の保護者を対象 (1) 小学校(4 km以上) 24人 326千円 (2) 中学校(6 km以上) 67人 2,496千円 (3) 適応指導教室通級費 4人 251千円 (4) 特別支援教室等通級費 16人 121千円 児童・生徒通学費助成金 395千円 学校統廃合の条件として、生月町御崎地区及び古賀江地区の児童生徒の保護者を対象 (1) 小学校 5人 123千円 (2) 中学校 5人 272千円 【扶助費】 19,669千円 要・準要保護児童生徒援助費 14,441千円 要保護及び準要保護児童生徒の保護者を対象 (1) 小学校 就学 114人 1,772千円 給食 114人 4,503千円 医療 37人 204千円 (2) 中学校 就学 90人 3,706千円 給食 90人 4,168千円 医療 15人 88千円 特別支援学級就学奨励費 5,228千円 特別支援学級に就学する児童生徒の保護者を対象 (1) 小学校 就学 31人 516千円 給食 31人 1,293千円 通学 15人 336千円 (2) 中学校 就学 20人 884千円 給食 20人 978千円 通学 16人 1,221千円	23,258
図書教育充実事業 (学校教育課) 【事項別明細書 306 頁】 【事項別明細書 310 頁】 【事項別明細書 312 頁】	心の教育の充実のために、図書を購入整備し、学校図書館を充実させ、児童生徒の読書活動を推進した。	7,563

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果												
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源													
1,222			22,036	児童生徒の就学環境の改善とともに、保護者の負担軽減及び義務教育が円滑に実施できた。												
			7,563	図書を購入整備することにより、健全な教養を育成する環境に寄与した。また、読書量が増えるとともに休日前に図書を借りて帰るなど読書活動が定着、活発化している。 ○学校図書館標準冊数整備状況 <table> <tr> <td></td> <td>H24. 5. 1</td> <td>H25. 5. 1</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>94. 4%</td> <td>106. 2%</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>71. 2%</td> <td>79. 3%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>85. 0%</td> <td>95. 2%</td> </tr> </table>		H24. 5. 1	H25. 5. 1	小学校	94. 4%	106. 2%	中学校	71. 2%	79. 3%	計	85. 0%	95. 2%
	H24. 5. 1	H25. 5. 1														
小学校	94. 4%	106. 2%														
中学校	71. 2%	79. 3%														
計	85. 0%	95. 2%														

事 業 名	事 業 内 容	事 業 費
学校図書館支援員 配置事業 (学校教育課) 【事項別明細書 306 頁】 【事項別明細書 312 頁】	市内小中学校図書館の活性化を図るため、学校図書館支援員を配置し、学校図書館の様々な取組みを支援した。 また、支援員リーダーを配置し、支援員の資質の向上を図った。 支援員リーダー 2 人 拠点校：平戸小 支援校：平戸中 拠点校：津吉小 支援校：南部中 支援員小学校 2 人 拠点校：中野小 支援校：田助小、中野中、大島小、大島中 拠点校：志々伎小 支援校：堤小、生月小、野子小中、中部中 支援員中学校 2 人 拠点校：田平中 支援校：田平北小、田平南小、田平東小、度島小中 拠点校：生月中 支援校：根獅子小、紐差小、中津良小、山田小	5,788
情報教育環境整備 事業 (教育総務課) 【事項別明細書 306 頁】 【事項別明細書 314 頁】	児童生徒の情報化時代に対応できる能力を養うとともに、効果的効率的な教育の推進を図るため、児童生徒及び教職員等用のパソコンの整備を行った。 児童用 37 台 (入替) 中津良小：5 台 堤小：4 台 生月小：14 台 山田小：14 台 生徒用 93 台 (入替) 中部中：8 台 生月中：33 台 田平中：40 台 大島中：12 台 教頭・養護教諭用 22 台 (入替)	12,090
特別支援教育支援 員配置事業 (学校教育課) 【事項別明細書 306 頁】 【事項別明細書 308 頁】 【事項別明細書 314 頁】 【事項別明細書 316 頁】	心身に障害のある児童生徒が、健常者と平等に楽しく学習が受けられる環境整備を図るため、特別支援教育支援員を配置し、個々の障害に応じた適切な教育の側面から支援を行った。 小学校 14 人 (支援対象児童 168 人) 中学校 5 人 (支援対象生徒 52 人)	17,855

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果												
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源													
1,101		26	4,661	学校図書館環境が格段に良くなり、児童生徒が図書館を積極的に活用するようになり、読書に対する興味意欲の向上につながった。 また、平成 25 年度から、「主体的な読書活動の推進」を重点事項に掲げ、質の向上につながった。 ○児童生徒 1 人あたりの貸出冊数 <table> <tr> <td></td> <td>平成 24 年度</td> <td>平成 25 年度</td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td>169.0 冊</td> <td>161.2 冊</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>20.3 冊</td> <td>22.4 冊</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>110.6 冊</td> <td>108.5 冊</td> </tr> </table>		平成 24 年度	平成 25 年度	小学校	169.0 冊	161.2 冊	中学校	20.3 冊	22.4 冊	計	110.6 冊	108.5 冊
	平成 24 年度	平成 25 年度														
小学校	169.0 冊	161.2 冊														
中学校	20.3 冊	22.4 冊														
計	110.6 冊	108.5 冊														
			12,090	児童生徒の情報化時代に対応できる能力の養成と効果的効率的な教育環境に寄与した。												

| | 16,200 | 87 | 1,568 | 心身に障害のある児童生徒と健常者が平等に学習できる環境を整備したことで、心のふれあいや協調性などを学ぶことができた。 |

事業名	事業内容	事業費
小学校屋内運動場耐震改修事業 (教育総務課) 【事項別明細書 308 頁】	児童の安全安心な教育環境の改善を図るため、平成 27 年度までに学校施設の耐震化完了に向けて取り組んでおり、平成 24 年度耐震診断の結果を受け、耐震改修が必要な屋内運動場について、設計委託を行った。 平戸小学校 鉄骨造 2 階建 860 m² 平成 26 年度に繰越 田助小学校 鉄骨造平屋建 532 m² 1,659 千円 中野小学校 鉄骨造平屋建 532 m² 1,869 千円 中津良小学校 鉄骨造平屋建 532 m² 1,554 千円 生月小学校 鉄骨造 2 階建 1,073 m² 1,344 千円 山田小学校 鉄骨造 2 階建 839 m² 2,468 千円 田平北小学校 鉄骨造 2 階建 680 m² 2,545 千円 田平南小学校 鉄骨造 2 階建 484 m² 2,835 千円 田平東小学校 鉄骨造 2 階建 484 m² 2,232 千円	16,506
学校施設整備事業 (教育総務課) 【事項別明細書 308 頁】 【事項別明細書 316 頁】	〈地域の元気臨時交付金事業〉 児童生徒の安全安心な教育環境の改善を図るため、地域の元気臨時交付金を活用し、度島小中学校の校舎及び屋内運動場の防水改修工事を行った。 度島小中学校 校舎 鉄筋コンクリート造 2 階建 2,800 m² 屋内運動場 鉄筋コンクリート造 1 階建 830 m² 〔小学校〕 21,366 千円 〔中学校〕 28,035 千円	49,401
田助小学校校舎大規模改造事業 (教育総務課) 【事項別明細書 308 頁】	児童の安全安心な教育環境の改善を図るため、耐震診断の結果、耐震性が確認できなかった校舎について、耐震補強工事を施すとともに、建築後 40 年以上経過しており、老朽化の著しい箇所の大規模改造工事を実施するための設計を行った。 鉄筋コンクリート造 3 階建 延べ床面積 2,304 m² 平成 21 年度 耐震診断 平成 25 年度 耐震補強及び大規模改造設計	7,455

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	12,400		4,106	耐震診断の結果、耐震性が無いことが確認された屋内運動場について、平成 26 年度及び平成 27 年度に実施する耐震補強及び大規模改造工事の準備ができた。
48,900			501	経年劣化による雨漏り箇所が改修され、安心・安全な教育環境を提供できた。
	4,400		3,055	耐震補強及び大規模改造工事（平成 26 年度に繰越）の準備ができた。

事業名	事業内容	事業費
平戸小学校校舎大規模改造事業 (教育総務課) 【事項別明細書 308 頁】	【平成 24 年度繰越明許費】 児童の安全安心な教育環境の改善を図るため、耐震診断の結果、耐震性が確認できなかった校舎について、耐震補強工事を施すとともに、建築後 39 年以上経過しており、老朽化の著しい箇所の大規模改造工事を施工した。 平成 21 年度 耐震診断 平成 24 年度 耐震補強及び大規模改造設計 平成 25 年度 耐震補強及び大規模改造工事 【耐震補強工事】 鉄筋コンクリート造 3 階建 延べ床面積 1,692 m² 耐震補強ブレース 8 カ所 袖壁補強 8 カ所 【大規模改造工事】 校舎内部（天井、床、内装、建具類）、校舎外部（屋上防水、外壁塗装）、高圧受電設備の改修及び電気設備改修、浄化槽改修及び機械設備の改修工事	280,225
平戸市算数・数学検定事業 (学校教育課) 【事項別明細書 312 頁】	検定の合格を目指し学力の向上及び家庭と連携し継続的に取り組むことで家庭学習の習慣化を図るため、平戸市中学校教育研究会を中心に検定を行った。（年 2 回開催） また、保護者への呼びかけを通して親子で計算に親しむ環境をつくり、今年度は 4 校で 11 人の希望者が受検を行った。 更には、市内統一の問題集を新 1 年生に配布した。	107
外国語指導助手招致事業 (学校教育課) 【事項別明細書 314 頁】	児童生徒の英語力向上並びに国際感覚を高めるため、生きた英語に慣れ親しむことを目的に、外国語指導助手を招致し、全ての小中学校で指導を行った。 A L T (Assistant Language Teacher) 5 人 国籍：オーストラリア (3 年目…1 人、2 年目…1 人、1 年目…3 人)	22,538
適応指導教室運営事業 (学校教育課) 【事項別明細書 314 頁】	不登校児童生徒の学校復帰及び学校行事への参加促進並びに学習の援助を図るため、適応指導教室を設置している。併せて、指導員を配置し、通級者へ個別の指導や家庭訪問を行った。 平成 25 年度 中学 3 年生 1 人 中学 2 年生 2 人 中学 1 年生 1 人	3,604

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
71,761	208,400		64	耐震性と学校施設の機能確保により児童の安全性の確保及び健全な教育環境が整った。
			107	受験者の 7 割超が合格し合格証を授与することで、生徒の関心も高まり、学力の向上及び家庭学習が習慣化できた。
	6,700	87	15,751	児童生徒一人ひとりが意欲を持って学習に参加できており、英語力の向上並びに国際感覚が豊かになった。
		14	3,590	子どもたちの心のよりどころとして、効果的な学習指導及び精神的ケアが十分に機能したことにより、中学 3 年生が卒業式に参加し高校入試を受験、進学することができた。

事 業 名	事 業 内 容	事 業 費
平戸中学校校舎増 改築事業 (教育総務課) 【事項別明細書 316 頁】	生徒の安全安心な教育環境の改善を図るため、老朽化により授業に 支障をきたしている校舎について、５カ年計画の増改築事業を策定 し、改築工事、既存校舎解体工事、太陽光発電設備設置工事を実施し た。 平成 21 年度 耐力度調査 平成 22 年度 地質調査、実施設計、プール解体工事 平成 23 年度 プール解体工事、本校舎建設工事 平成 24 年度 本校舎建設工事、既存校舎解体工事、太陽光発電設 備設置 平成 25 年度 グラウンド整備工事 【本校舎建設工事】 鉄筋コンクリート造 2 階建 延べ床面積 3,930 ㎡	112,275
	【平成24年度繰越明許費】 グラウンド整備工事	4,465
幼稚園就園奨励事 業 (学校教育課) 【事項別明細書 318 頁】	私立幼稚園に通う園児の保護者の経済的負担軽減を図るため、私立 幼稚園の保育料等を減額又は免除し、公立幼稚園との保護者負担の格 差是正を行った。 私立幼稚園就園奨励費補助金 ３園 (79 人) 9,495 千円	10,335
放課後子ども教室 推進事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 318 頁】	放課後等の子どもたちの安全で安心な活動拠点(居場所)を設け、子 どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを 推進するために公民館及び田平東小学校で子ども教室を開催した。 子ども将棋教室 延べ開催日数・参加者 135 日 899 人 東っ子ふれあい教室 延べ開催日数・参加者 43 日 659 人	732
生涯学習推進事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 318 頁】 【事項別明細書 320 頁】	生涯学習を個人の生きがいや知識の習得のみならず、社会生活の 様々な営みに関わる学習活動と位置づけ、市民の学習成果がまちづく りにつながる環境整備を推進するために講演会開催や生涯学習だより 「まなぶ君」発行による啓発活動をすることで学ぶ意欲づくりを行 った。また、生涯学習パスポート制度、生涯学習まちづくり表彰など を通じて市民の生涯学習を評価し、その成果を生かす機会を拡充し た。 生涯学習講演会 3 回 出前講座開催回数 538 回 出前講座利用者 18,527 人 生涯学習だより「まなぶ君」発行 4 回 (14,500 部) 生涯学習推進会議 2 回 生涯学習視察研修 1 回 生涯学習パスポート奨励証 15 名 まちづくり表彰 (個人 1、団体 2、地域 1) 4 件	2,100

財 源 内 訳				事 業 の 成 果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
20,200	81,800		10,275	生徒の安全性の確保及び健全な教育環境が整った。
728	3,300		437	
2,328			8,007	私立幼稚園に通う園児の保護者の経済的負担が軽減された。
488			244	地域の大人とのふれあいを通して、子どもの健やかな成長を 促進するとともに、子どもの安全で安心な居場所を確保すること ができた。また、子ども将棋教室参加児童が県大会の優勝を 経て、文部科学大臣杯第 9 回小学校将棋団体戦西日本大会に出 場することができた。
			2,100	市民の多様な学習ニーズに対応できるように講演会開催に ついては市民グループを委託先に選定し、「自ら学ぶ意欲づく り」の意識高揚やまちづくりのリーダーとなる人材育成につな げた。 また、出前講座市民編は講師、受講者ともに学習の機会によ り、教える楽しさ、学ぶ楽しさを通して社会で実践できる生涯 学習の基礎を形成できた。 さらに、生涯学習だより「まなぶ君」の発行による情報提供 やまちづくり表彰などの評価体制を通して生涯学習の推進と 生涯学習事業に対する意欲の向上につなげた。 生涯学習講演会 (3 団体に委託) 参加者 610 人 出前講座市民編 (利用団体 42 団体) 参加者 1,502 人 出前講座行政編 (利用団体 496 団体) 参加者 17,025 人

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業費																																
少年の主張大会開催事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 320 頁】	平戸市内の小中学生 26 名 (小学生 17 人、中学生 9 人) が参加し、それぞれ発表を行った。 開催日：平成 25 年 6 月 15 日 (土) 場 所：平戸文化センター 来場者：約 350 人	140																																
自治公民館整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 324 頁】	地域における自治活動の促進と、地域文化の発展を図ることを目的に、地域コミュニティの拠点となる自治公民館の新築・改築・補修に要する事業費の補助を行った。 単位：千円 <table><tr><th>種別</th><th>行政区</th><th>整備事業費</th><th>補助額</th></tr><tr><td>新築</td><td>紐差第 3</td><td>14,644</td><td>7,913</td></tr><tr><td>改築</td><td>高麗町</td><td>565</td><td>150</td></tr><tr><td rowspan="5">補修</td><td>中の原</td><td>1,197</td><td>598</td></tr><tr><td>油 水</td><td>1,458</td><td>729</td></tr><tr><td>主 師</td><td>962</td><td>720</td></tr><tr><td>上中津良</td><td>677</td><td>405</td></tr><tr><td>向 月</td><td>3,179</td><td>1,500</td></tr><tr><td>計</td><td>7 件</td><td>22,682</td><td>12,015</td></tr></table>	種別	行政区	整備事業費	補助額	新築	紐差第 3	14,644	7,913	改築	高麗町	565	150	補修	中の原	1,197	598	油 水	1,458	729	主 師	962	720	上中津良	677	405	向 月	3,179	1,500	計	7 件	22,682	12,015	12,015
種別	行政区	整備事業費	補助額																															
新築	紐差第 3	14,644	7,913																															
改築	高麗町	565	150																															
補修	中の原	1,197	598																															
	油 水	1,458	729																															
	主 師	962	720																															
	上中津良	677	405																															
	向 月	3,179	1,500																															
計	7 件	22,682	12,015																															
公民館講座開催事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 324 頁】 【事項別明細書 326 頁】	①公民館講座開催事業 2,333 千円 学習の場を市民に提供するため、各公民館において、女性、高齢者、成人、青年、少年等を対象に、各種事業講座、教室を開催した。また、スポーツ面においては、地域間の親睦と健康増進やスポーツの普及を図るため、軽スポーツ、新スポーツの教室を開催した。 主催講座数 延べ受講者数 北部公民館 11 講座 1,197 人 中部公民館 8 講座 1,124 人 南部公民館 11 講座 726 人 生月町中央公民館 6 講座 1,667 人 田平町中央公民館 12 講座 1,331 人 大島村公民館 3 講座 270 人 ②公民館大会開催事業 330 千円 『いのちのぬくもりを とともに生きよう 手をとりあつて』を大会テーマとして、市民が集い公民館を拠点に命の大切さを育むため、平戸市公民館大会を開催した。 開催日：平成 26 年 3 月 2 日 (日) 場 所：平戸市多目的研修センター 講 演：金子 真介 氏 演 題：「～今をより豊かに生きるために～」 参加者：約 300 人	3,173																																

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
			140	児童・生徒が日常生活のなかで、感じたことや思っていること、また未来や社会への提言や希望を発表することで、社会の一員であることを自覚し、社会に対する意識の向上や健全な心が育くまれた。
		2,989	9,026	地域住民のコミュニティの拠点としての運用が図られ、生涯学習活動の推進に寄与することができた。
			3,173	①市民の学習意欲の高揚と学習情報を発信できた。また、時代に即応した講座を開催し、市民のニーズにあった学習機会を提供することで、生涯学習への意識が高揚した。 ②急激な高度情報化の中で、地域の人間関係が希薄化する現状を変革し、地域間世代間の交流を深め、豊かな人間関係を作りあげるため、公民館を拠点にいのちの大切さを育み、ともに手を取り合って生きる地域づくりを考える機会となった。

事業名	事業内容	事業費
公民館講座開催事業（つづき） （生涯学習課） 【事項別明細書 324 頁】 【事項別明細書 326 頁】	③北部公民館まつり開催事業 170 千円 地域住民の文化振興と生涯学習活動を推進するため、北部公民館に 関係する団体が一堂に集まり、日頃の学習成果の発表や作品の展 示を行った。 参加者数 1,500 人 学習成果発表 12 団体 作品展示コーナー 8 団体 ④越南まつり開催事業（中部公民館） 170 千円 学びあう仲間が集い、発表と交流により親睦を深め、活動のより 一層の充実と生涯学習の推進及び明るく健康なひとづくり、まちづ くりを進めるため越南まつりを開催した。 参加者数 1,100 人 学習成果発表 19 団体 作品展示コーナー 5 団体、個人 17 人 ⑤奥ひらど文化祭開催事業（南部公民館） 170 千円 日頃の学習成果を発表し、研鑽を深めるとともに仲間づくりや文 化の向上を目的に、奥ひらど文化祭を開催した。 参加者数 766 人 学習成果発表 18 団体 作品展示コーナー 16 団体	
図書購入事業 （生涯学習課） 【事項別明細書 326 頁】 【事項別明細書 328 頁】	利用者のニーズにあった資料の提供を行うために、本をはじめとす る様々な資料を購入すると、図書館機能の充実を図るとともに、利 用者へのサービスの向上を図った。 【購入冊数】 平戸図書館 1,868 冊 永田記念図書館 1,931 冊 南部公民館図書室 449 冊 生月町中央公民館図書室 751 冊 田平町中央公民館図書室 602 冊 大島村公民館図書室 303 冊 計 5,904 冊	8,880
（仮称）総合情報セ ンター開館準備事 業 （生涯学習課） 【事項別明細書 328 頁】	（仮称）総合情報センターにおける新図書館開館準備に向け、選任の 職員を配置し、選書・購入事業を行った。 図書購入費ほか 〔選書・購入事業（2 カ年計画 H25～H26）〕	58,155

(単位：千円)

財 源 内 訳				事 業 の 成 果																											
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源																												
				③関係団体相互の親睦と連携が深まり、地区住民への文化振興と生涯学習の推進に貢献した。また、ふれあい広場では、もちつき等の体験や出店などを通して、参加者や地域住民相互の交流ができた。発表や展示では地区内の学習グループや公民館関係者の学習成果を披露することを通して互いの研鑽と親睦を深めるとともに地域住民への生涯学習の周知と推進を図りつつ芸術文化に親しむ機会の提供を行うことができた。 ④地域住民の団体やサークルによる発表及び作品の展示を通して、公民館利用団体や地域住民との親睦が深まり、公民館活動の一層の充実が図られた。また、呈茶、実演・体験コーナー、バザーコーナー、ちゃんこコーナーなどを通して、地域住民の交流と世代間のふれあいの場を提供した。 ⑤学習グループや公民館関係団体の発表及び作品展示を通して日頃学んだ生涯学習の成果を発表するとともにグループ間の親睦交流や相互研鑽ができた。また、地域住民に対し、芸術文化に親しむ機会を提供することができた。今回は 25 回目の節目の開催で、志々伎町に縁のある掛屋剛志さんのミニコンサートも取り入れ、より深みのある文化祭となった。																											
		261	8,619	図書システムを運用して利用頻度等を調査し、不足する資料を把握したうえで、ニーズに合った図書資料の購入により、利用促進につなげた。 <table><tr><th colspan="2">年間貸出冊数</th><th>単位：冊</th></tr><tr><th>場所</th><th>冊数</th><td></td></tr><tr><td>平戸図書館</td><td>40,835</td><td></td></tr><tr><td>永田記念図書館</td><td>29,989</td><td></td></tr><tr><td>南部公民館図書室</td><td>2,007</td><td></td></tr><tr><td>生月町中央公民館図書室</td><td>11,959</td><td></td></tr><tr><td>田平町中央公民館図書室</td><td>9,391</td><td></td></tr><tr><td>大島村公民館図書室</td><td>694</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td>94,875</td><td></td></tr></table>	年間貸出冊数		単位：冊	場所	冊数		平戸図書館	40,835		永田記念図書館	29,989		南部公民館図書室	2,007		生月町中央公民館図書室	11,959		田平町中央公民館図書室	9,391		大島村公民館図書室	694		計	94,875	
年間貸出冊数		単位：冊																													
場所	冊数																														
平戸図書館	40,835																														
永田記念図書館	29,989																														
南部公民館図書室	2,007																														
生月町中央公民館図書室	11,959																														
田平町中央公民館図書室	9,391																														
大島村公民館図書室	694																														
計	94,875																														
43,849		9,819	4,487	所蔵資料の整備が計画的に行われ、新図書館の開館に向けて計画的に準備を行った。																											

事業名	事業内容	事業費
(仮称)総合情報センター整備事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 328 頁】 【事項別明細書 330 頁】	平戸市離島開発総合センターの老朽化に伴い、公民館・図書館機能を併せ持つ生涯学習の拠点施設として市民の文化活動や、自主的な学習活動を支援するため、平成27年開館を目指した(仮称)総合情報センターの設計業務に取組むとともに、建築確認申請および建築物の構造計算適合性判定審査手続き等を行った。 平成24年度 建設地質調査業務 平成25年度 開発行為許可申請等	471
	【平成24年度繰越明許費】 設計業務委託1式 基本設計及び実施設計	55,500
「平戸学」推進事業 (文化交流課) 【事項別明細書 332 頁】	個人から寄贈された中野焼を中心に県指定史跡中野窯跡の調査成果・出土遺物の成果として「中野焼展」を開催。また、その他歴史関連講座等を開催した。 中野焼展 場所 平戸オランダ商館 期間 平成25年6月15日～7月15日	295

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	471			建築確認申請、建築物の構造計算適合性判定審査、浄化槽置等の手続きをすすめ、開館に向けた建設の準備ができた。
20,631	33,100		1,769	設計業務委託を締結し、建設の準備ができた。
			295	「中野焼展」の開催により、本市の歴史の一端を広く紹介することができた。また、オランダ伝統ゲーム体験、出前講座等の各種講座を開催し、本市の豊かな歴史について学びの場を提供することで「平戸学」に対する興味や関心の向上につながった。 ・中野焼展 期間入館者数 3,456 人

事業名	事業内容	事業費
伝統的建造物群保存地区保存整備事業 (文化交流課) 【事項別明細書 332 頁】	平戸市大島村神浦重要伝統的建造物群保存地区の町家 3 棟の保存修理補助を行った。 ・伝統的建造物群保存修理事業 19,753 千円 ・その他(事務費) 101 千円	19,854
伝統的建造物群保存地区保存整備推進事業 (文化交流課) 【事項別明細書 332 頁】	保存計画に基づき大島村神浦伝統的建造物群としての町並み保存整備推進を行った。保存地区内の未調査建築物などの学術調査及び、痕跡調査を実施し継続的に町家の修理・修景を推進した。 ・修理希望調査の実施 対象 184 人 ・学術・痕跡調査(4 件)	746
指定文化財維持管理事業 (文化交流課) 【事項別明細書 332 頁】 【事項別明細書 334 頁】	指定文化財の保存のため管理・整備・改修などを行った。 ・史跡維持管理事業 402 千円 ・保存整備補助事業(7 件) 761 千円 ・保存管理補助事業(5 件) 115 千円 ・ハクモクレン整備事業 274 千円 ・大島盆踊り開催委託 1,500 千円 ・無形民俗文化財団体運営費補助 1,330 千円 ・事務費 113 千円	4,495
埋蔵文化財発掘調査事業 (文化交流課) 【事項別明細書 334 頁】	各種開発及び範囲確認に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施した。また、里田原遺跡出土の木製品の保存処理を行った。 ・発掘調査事業 2,170 千円 (坊田遺跡・トラベ川遺跡・伝外国人墓地跡・里城跡石塔群) ・出土遺物保存処理委託事業 829 千円	2,999
国指定重要文化財保存調査事業 (文化交流課) 【事項別明細書 334 頁】	「田平天主堂」司祭館外壁が、経年劣化のため板材が腐食し、雨漏り等があることから取替、塗装等に対する補助を行った。	146

(単位：千円)

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
14,016			5,838	町家の修理については 20 年度から行い、徐々にではあるが、町家の保存に寄与することができた。 間接事業 20 年度 1 棟 21 年度 4 棟 22 年度 4 棟 23 年度 4 棟 24 年度 4 棟 25 年度 3 棟
			746	学術調査・痕跡調査により、調査未実施家屋の建築年代と当時の建築構造が解明された。 修理希望調査結果 25 年度修理希望件数 16 件、26 年度以降 4 件 学術調査結果 建築年代推定 明治時代後期 1 件 大正時代 1 棟
137			4,358	指定文化財の維持・管理や修理、伝承や後継者育成等に助成を行うことにより、所有者や管理者・保存会の負担を軽減し、貴重な文化財の保存・保護・継承を促し、指定文化財としてふさわしい体裁等の保全、伝承活動の活性につながった。
1,740			1,259	発掘調査により江戸時代の墓の形態を確認することができ、新たな資料を追加することができた。 里田原遺跡から出土していた、木製品を保存処理することにより、後世に伝えることができるようになった。
			146	補修補助を行ったことにより、国指定文化財としての構造・美観を保持することができた。

事業名	事業内容	事業費
重要文化的景観保護推進事業 (文化交流課) 【事項別明細書 334 頁】	国の重要文化的景観「平戸島の文化的景観」地域において、便益施設の設置や建造物の修理修景事業を実施した。 また、文化的景観推進委員会を開催し、平成 26 年度の整備活用計画策定に向けた検討を行った。 ・調査研究、委員会開催 2,170 千円 ・修理修景事業 18,680 千円 ・飯良地区便益施設設置工事 4,222 千円 ・春日地区道路整備工事 2,578 千円 ・事務事業 250 千円	27,900
県指定文化財保存整備事業 (文化交流課) 【事項別明細書 334 頁】 【事項別明細書 336 頁】	県指定史跡「鯨組主益富家居宅跡」の御成門の改修事業、県指定天然記念物「戸石川のハルサザンカ」の樹勢回復に対する補助を行った。 また、ハルサザンカの説明看板を設置した。 ・県指定史跡「鯨組主益富家居宅跡」 1,900 千円 ・県指定天然記念物「戸石川のハルサザンカ」 590 千円	2,490
常灯の鼻修復調査事業 (文化交流課) 【事項別明細書 336 頁】	「史跡平戸和蘭商館跡」に位置する常灯の鼻は、経年劣化による破損が著しく、危険な状態であり、修復工事を行う必要があることから、整備委員会を県とともに開催した。	630
和蘭商館関連施設発掘調査事業 (文化交流課) 【事項別明細書 336 頁】	和蘭商館関連施設があったとされる、田平町横島で発掘調査を行い、現存する石垣の測量を実施した。 ・発掘調査事業 1,934 千円 ・石垣測量委託事業 1,470 千円 ・自然科学分析委託事業 197 千円	3,602
世界遺産登録推進事業 (文化交流課) 【事項別明細書 336 頁】	「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録を目指し、学術会議や県市町調整会議へ出席するとともに、構成資産の価値証明に関する調査研究を実施した。 また、県事業により、啓発普及事業を実施した。 ・世界遺産登録推進負担金 2,009 千円 ・世界遺産登録に係る調査事業 5,945 千円 (賃金含む) ・事務事業 367 千円	8,321

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
19,530		5,604	2,766	選定地区内の 4 件を対象に屋根替え等の修理工事を行ったほか、便益施設 (休憩所) を 1 棟設置した。 また、専門家や文化庁などを交えた文化的景観推進委員会を開催し、整備活用計画の検討を行った。
210			2,280	県指定文化財及び県指定天然記念物の保存継承が可能となった。
			630	国指定史跡地内の整備として、解体範囲や工法について文化的財的な判断と、今後の方向性を検討することができた。
2,088			1,514	リンバーンと呼ばれる航海用ロープ製作場の柱穴跡を確認するなど、商館関連の新たな資料を加えることができた。
		18	8,303	世界遺産推薦書や包括的保存管理計画の平戸地区にかかる修正作業を行ったほか、国や県など関係者と構成資産の現地確認を行うなど、ユネスコへの推薦書提出に向けた準備作業を行った。 また、イコモス対策として、構成資産の価値証明について専門家と協議を行った。

事業名	事業内容	事業費
民俗芸能公開事業 (文化交流課) 【事項別明細書 340 頁】	第 7 回ひらどツアーウォークにあわせて平戸民俗芸能祭を開催し、国指定重要無形民俗文化財「平戸のジャンガラ（中野地区）」、市指定無形民俗文化財「生月勇魚捕唄」「獅子の須古踊り」「的山流儀」の披露に加え、特別ゲストとして長崎市野母町より国選択無形民俗文化財「野母の盆踊り」を招いて、平戸文化センターに特設ステージを設けて行った。 民俗芸能祭 開催日 平成 25 年 9 月 21 日 出演団体 5 団体（市内 4 団体、市外 1 団体）	1, 179
文化公演開催事業 (文化交流課) 【事項別明細書 340 頁】	ながさき音楽祭 2013 コンサート 5 公演、次代を担う子どもの文化芸術体験事業【巡回事業、派遣事業】 6 公演、ひらんコンサートを開催した。 ・ながさき音楽祭 2013 コンサート 神浦伝建交流拠点施設、平戸オランダ商館、熊沢三郎記念館、平戸文化センター、福満寺（迎紐差町） ・次代を担う子どもの文化芸術体験事業 【巡回事業】 大島小、田平中 【派遣事業】 生月中、田平北小、津吉小、度島小中 ・ひらんコンサート 浄隆寺（上中津良町）	1, 747
市民体育祭開催事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 342 頁】 【事項別明細書 344 頁】	市民各層のスポーツ振興、普及発展及び競技力の向上を図り、併せて市民の健康と体力の保持増進を目指し市民体育祭を開催した。 競技部大会 (開 催 日) 平成 25 年 9 月 1 日～10 月 3 日 (競 技 数) 18 競技 (参 加 者) 1,997 人 健康まつり (開 催 日) 平成 25 年 10 月 6 日 (開催地区) 3 地区(北部、中部、南部) (参加者数) 1,246 人	1, 166
サバイバル体験交流事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 344 頁】	平戸市の資源である島を活用し、子ども達のたくましい身体と精神を育成するため、市内小学生 4 年生から 6 年生までを対象に平戸高島を舞台として野外体験学習を開催した。 開催日 平成 25 年 7 月 24 日～26 日 場 所 旧野子小中学校高島分校 参加者 31 名	561

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
			1, 179	各民俗芸能保存会が一堂に会することで市民及び参加団体の交流及び保存・伝承活動の推進ができた。また平戸が誇る地域の優れた伝統文化として再認識することができた。 ・民俗芸能祭 入場者 450 人
			1, 747	各種コンサート、合唱、能、狂言など本物の舞台芸術に触れることができ、市民の文化芸術に対する感性が育まれた。 ・ながさき音楽祭 2013 コンサート 入場者 862 人 ・次代を担う子どもの文化芸術体験事業 参加者 1, 127 人 ・ひらんコンサート 入場者 100 人
			1, 166	競技部大会については、県民体育大会の出場をかけた予選大会として開催することで、競技力が向上し、県民体育大会において、相撲競技団体優勝など、優秀な成績を納めることができた。 また、健康まつりについては、地域の実情に合わせ、ウォーキングやレクリエーション大会を行うことで、市民の健康増進と体力保持に寄与することができた。
			561	島の魅力を生かした様々な体験や共同生活を通して、心身ともに鍛錬することにより、参加した児童の健全育成に寄与することができた。

事業名	事業内容	事業費
スポーツ推進事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 344 頁】	①平戸ツーデーウォーク大会開催補助金 1,991 千円 開催日：平成 25 年 9 月 21 日～22 日 開催地区：平戸・田平地区（1 日目）、生月地区（2 日目） 参加者数：レギュラーコース 延べ 1,802 人 エコ・トレッキングコース 延べ 104 人 ②社会体育推進事業補助金 4,476 千円 健康で活力のある地域づくり及び各地域の生涯スポーツの推進のため、体育振興会へ補助金を交付した。 体育振興会 6 団体 4,476 千円 ③スポーツ推進事業補助金 3,641 千円 市民自らが健康で活力ある生活を目指して、スポーツの振興と競技力の向上を図るため、各スポーツ団体等へ補助金を交付した。 競技大会参加（九州大会等への参加） 30 件 1,755 千円 県民体育大会参加事業 2 件 1,886 千円 ④スポーツ少年団活動事業補助金 575 千円 少年スポーツを通して、健全育成及び競技力の向上に資する活動に対し、補助金を交付した。 団体育成事業 30 件 515 千円 スポーツ交流事業 2 件 60 千円 ⑤体育協会補助金 1,300 千円 本市における社会体育の普及・振興及び競技力向上を図るため、体育協会に対して助成した。 競技部 19 団体 ⑥平戸縦断駅伝大会開催事業 350 千円 駅伝を通して、陸上競技力の向上及び市民の健康づくりのため、第 44 回駅伝大会を体育協会に委託し開催した。 開催日：平成 26 年 1 月 20 日 コース：宮の浦～平戸文化センター 42.1Km 7 区間 参加数：一般（フリー）の部 9 チーム 一般（市内）の部 7 チーム 高校の部 8 チーム ⑦県下一周駅伝大会参加補助金 230 千円 県下 42 区間を 3 日間で競う駅伝大会に、市陸上競技協会を中心とした平戸チームに補助金を交付した。	16,739

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		3,647	13,092	(単位：千円) ①誰でも気軽に参加できるウォークイベントを開催することで、健康増進の機運づくりに寄与できた。また、市外参加者に対するおもてなしを行うために集まった関係団体のボランティアスタッフ同士の交流により、活力のある地域づくりにも寄与できた。更には、映画のロケ地めぐりや九州オルレ認定コースなど新設したことで、参加者が増加した。 ②各地区の体育振興会へ補助金を交付することで、地域の特性に応じた生涯スポーツの推進による健康で活力のある地域づくりに寄与した。 ③県の大会等を勝ち抜き九州大会以上の競技参加に補助金を支援することで個々の競技力が向上した。併せて、県民体育大会の参加選手にも支援することで、参加しやすい環境整備を行い、各種スポーツの競技力が向上した。 ④少年スポーツ団体の活動に対し、補助金を交付することでスポーツによる健全育成の推進を図るとともに、本市スポーツの底辺拡大に寄与した。 ⑤体育協会に加盟する競技部の強化を行うため、協会へ補助金を交付することで、各競技部の競技力が向上し、県民体育大会等において、優秀な成績を収めることができた。 (県民体育大会成績) 優 勝：〔団体〕相撲（成年） 〔個人〕相撲（成年） 水泳（一般女子 50m 自由形） (50 歳以上男子 50m バタフライ) 準優勝：〔団体〕ソフトボール（壮年男子 SP） 〔個人〕相撲（成年） 水泳（50 歳以上男子 50m バタフライ） (50 歳以上男子 50m 平泳ぎ） (60 歳以上男子 50m 平泳ぎ） 空手（一般女子） 3 位：〔団体〕ソフトボール（一般男子 FP） サッカー（50 歳以上男子） 〔個人〕陸上（30 歳未満男子走り幅跳び） 水泳（一般女子 100m 自由形） 相撲（成年） ⑥運営を体育協会に委託し、陸上競技の普及啓発、競技力の向上及び底辺拡大に寄与した。 優 勝：一般の部（市内）：平戸市消防署 A 一般の部（フリー）：陸自大村 4 施大 高校の部：松浦高校 B ⑦県下一周駅伝参加に対し補助金を交付することで、平戸チームの参加負担が軽減され、当日のレースに専念し、大会最長区間で区間賞を獲得することができた。 大会結果：男子総合 10 位（全 11 チーム中） 大会 3 日目 1 区区間賞獲得 女子総合 6 位（全 11 チーム中）

事業名	事業内容	事業費
第69回国民体育大会平戸市実行委員会運営事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 344 頁】	実行委員会総会等、各種会議を開催した。また、本大会の準備としてリハーサル大会の開催や先催地視察や啓発活動を行った。 【総会・委員会等】 平成 25 年 4 月 24 日：第 3 回常任委員会 平成 25 年 5 月 10 日：平戸市実行委員会第 3 回総会 平成 26 年 2 月：4 専門委員会 【リハーサル大会開催】 ①軟式野球：第 35 回西日本軟式野球大会 2 部 ・会 期：平成 25 年 6 月 29～7 月 1 日 ・会 場：赤坂野球場、生月町勤労者体育センター ・参加者：26 チーム（うち平戸市 11 チーム） ②相撲：第 52 回全国教職員相撲選手権大会 ・会 期：平成 25 年 8 月 25 日 ・会 場：平戸文化センター ・参加者：15 チーム 【先催地の視察・調査】 平成 25 年 9 月 29～10 月 7 日：東京都大島町ほか 第 68 回国民体育大会（相撲、軟式野球） その他、第 68 回国民体育大会事業概要説明会 【啓発活動】 横断幕、看板設置、のぼり旗設置、市内イベントでの着ぐるみ P R、フェイスブック更新等	45,532
全国高等学校総合体育大会平戸市実行委員会運営事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 346 頁】	実行委員会総会等、各種会議を開催した。また、平成 25 年度全国高等学校総合体育大会相撲競技大会・第 91 回全国高等学校相撲選手権大会を開催した。 【総会・委員会等】 平成 25 年 5 月 10 日：平戸市実行委員会第 3 回総会 平成 26 年 2 月 12 日：平戸市実行委員会第 4 回総会 平成 25 年 4 月 24 日：第 2 回常任委員会 【大会開催】 ・会 期：平成 25 年 8 月 2 日～4 日 ・会 場：平戸文化センター ・参加者：85 校参加、選手 343 名、監督 85 名、引率 28 名、計 456 名 ・競技・運営／役員・補助員：役員 168 名、補助員 143 名 ・観客数：延べ 7,500 名	13,803
全国高等学校総合体育大会相撲競技選手強化育成事業 (生涯学習課) 【事項別明細書 346 頁】	本市高校相撲部の選手強化のため、遠征合宿・交流合宿等に係る費用の補助金を交付した。	500

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
12,398			33,134	関係機関・団体等との連絡調整を図りながら、本大会のリハーサル大会の開催や先催地の視察・調査（東京都）を行うことにより、具体的及び詳細な内容の把握ができ、本大会へ向けた円滑な運営の準備等の確認ができた。
			13,803	関係機関・団体等との連絡調整を図り、全国から集まった選手・監督・大会関係者を迎え、円滑な大会開催を実施することができ、大会を成功裡に終了することができた
		500		遠征合宿及び合同練習を行うことにより、選手の技術力が向上したものの、本市より出場選手を輩出するまで至らなかったが、九州大会、全国新人大大会出場及び国体強化選手指定を受けるなど選手強化につながった。

事業名	事業内容	事業費
廃校跡地活用事業 (教育総務課) 【事項別明細書 346 頁】	学校統廃合に伴う旧校舎の活用策について、地元との協議会において模索してきたが、各地区共に協議が整ったので、協議結果をもとに施設整備を行った。 旧獅子小：旧校舎前グラウンド跡地を町民公園として整備 旧宝亀小：旧校舎前グラウンド跡地及び体育館周辺を駐車場として整備	14,816
学校給食設備整備事業 (教育総務課) 【事項別明細書 350 頁】	安全安心な給食を提供するため、老朽化した設備機器及び厨房用機械器具の更新を行った。 食缶類洗浄機（北部） スプーン洗浄機付浸漬装置（中南部） 器具消毒保管機（北部） 蓄冷剤凍結庫（北部） 自動手指洗浄消毒器（度島） 冷凍庫（田平） 高圧開閉器（北部・生月）	19,905

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			14,816	地域住民の交流、憩いの場の拠点施設としての活用が見込まれる。
	18,900		1,005	各調理場において、作業の効率化と衛生面が大幅に改善し、児童生徒等に安全安心でおいしい給食を提供できるようになった。

(単位：千円)

【 11 款 災害復旧費 】

農地・漁港等並びに公共土木施設の機能回復及び保全、地域の安全性の向上及び経営の安定を図るため、平成 24 年 6 月の台風 4 号及び梅雨前線豪雨、7 月の梅雨前線豪雨、9 月の豪雨、平成 25 年 6 月の梅雨前線豪雨、8 月の豪雨及び台風による農地及び農業用施設並びに漁港、道路・河川、学校等施設等の被災した箇所の災害復旧工事を実施した。

事 業 名	事 業 内 容	事 業 費
農地等災害復旧事業 (建設課) 【事項別明細書 352 頁】 【事項別明細書 354 頁】	25 年災（現年災） 〔補助災害〕 農 地 10 カ所 74,074 千円 農業用施設 9 カ所 7,341 千円 そ の 他（事務費） 60,732 千円 〔単独災害〕 復旧工事 6,001 千円 測量設計等業務委託 3 カ所 64,132 千円 そ の 他（事務費） 380 カ所 2,035 千円 60,937 千円 1,160 千円	138,206
	24 年災（過年災） 農 地 104 カ所 122,818 千円 農業用施設 23 カ所 39,709 千円 そ の 他（事務費） 3,146 千円	165,673
	【平成 24 年度繰越明許費】 24 年災（現年災） 農 地 29 カ所 31,096 千円 農業用施設 18 カ所 29,597 千円 そ の 他（事務費） 310 千円	61,003
	25 年災（現年災） 〔単独災害〕 宝亀漁港 P 護岸測量業務委託 A=600 m ² 277 千円	277
	【平成24年度繰越明許費】 24年災（現年災） 御崎漁港水の浦 B 護岸 L=20.5m 5,581千円 宝亀漁港 P 護岸 L=60.4m 2,399千円 宝亀漁港 I 護岸 L=16.84m 1,769千円	9,749

【被災箇所数】

農地等災害復旧事業

平成 25 年度発生件数 農地 269 カ所 農業用施設 171 カ所 計 440 カ所
平成 24 年度発生件数 農地 136 カ所 農業用施設 43 カ所 計 179 カ所

公共土木施設災害復旧事業

平成 25 年度発生件数 道路 73 カ所 河川 34 カ所 計 107 カ所
平成 24 年度発生件数 道路 10 カ所 河川 10 カ所 海岸 1 カ所 計 21 カ所

（単位：千円）

財 源 内 訳				事 業 の 成 果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
57,912	26,700	106	53,488	被災箇所の復旧工事を行ったことにより、農地等の機能が回復し、農地（国土）の保全、農業生産力の維持及び農業経営の安定化に寄与することができた。
149,685	11,700	2,632	1,656	
42,593	2,500	782	15,128	
			277	被災箇所の復旧工事を行ったことにより、漁港施設の機能が回復され、漁業活動の安全が確保された。
6,000	2,900		849	

事業名	事業内容	事業費
公共土木施設災害 復旧事業 (建設課) 【事項別明細書 354 頁】	25年災（現年災） [補助災害] 70,300千円 道路 15カ所（うち離島3カ所） 46,634千円 河川 5カ所 21,202千円 その他（事務費） 2,464千円 [単独災害] 36,104千円 道路 40カ所（うち離島3カ所） 19,912千円 河川 13カ所（うち離島1カ所） 5,442千円 測量設計委託 6カ所 3,675千円 崩土除去等 6,860千円 その他（事務費） 215千円	106,404
	【平成24年度繰越明許費】 24年災（現年災） [補助災害] 1,780千円 河川 1カ所 1,748千円 その他（事務費） 32千円	1,780
公立学校施設災害 復旧事業 (教育総務課) 【事項別明細書 356 頁】	25年災（現年災） 田平南小学校敷地法面 L=20.2m [補助災害] その他（事務費） 54千円 [単独災害] 測量設計委託 1,039千円	1,093
	【平成24年度繰越明許費】 24年災（現年災） 大島中学校敷地法面 L=16.5m 9,508千円	9,508
その他施設災害復 旧事業 (教育総務課) 【事項別明細書 356 頁】 (商工物産課) 【事項別明細書 356 頁】	25年災（現年災） 旧大川原小学校災害復旧事業 旧大川原小学校施設法面 L=30.5m 3,098千円	3,098
	25年災（現年災） 迎紐差工業団地災害復旧事業 迎紐差工業団地敷地法面 L=7.0m 948千円	948

(単位：千円)

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源	
48,500	21,800		36,104	風雨における災害箇所への復旧工事により、河川及び道路の機能が回復し、河川流域住民の安全が保たれ、道路の交通安全が確保された。
1,166	600		14	
28			1,065	災害箇所の復旧工事により学校施設としての機能が回復され、学校生活における児童、生徒の安全が確保された。
7,330	1,800		378	
			3,098	この復旧工事により、隣地の農地及び施設が回復し、農業生産力の維持確保がなされた。
			948	この復旧工事により、工業団地施設としての機能が回復され、安全が確保された。

【 12 款 公債費 】

1 市債繰上償還

平成 22 年度から、健全な財政運営に資するため、民間資金（銀行引受資金）に係る市債繰上償還を実施している。このことにより償還額が借入額を上回り、起債残高の減少につながっている。（図 1、図 2 参照）

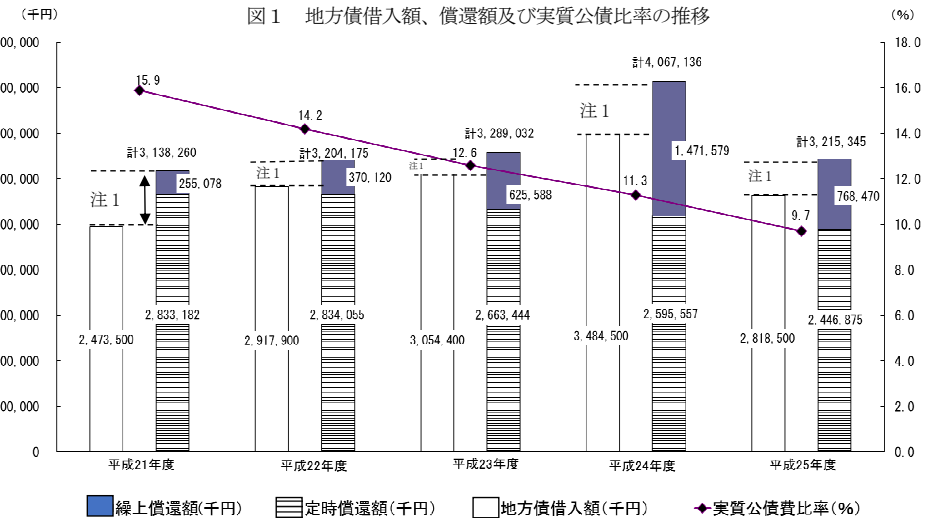
平成 25 年度においても財政健全化計画（第 2 次計画）に基づき、公債費負担の適正な管理運営のため起債発行の抑制と併せて繰上償還を行うことで起債残高を減少することができた。また、実質公債費比率（昨年度比△1.6）及び将来負担比率（昨年度比△32.5）についても減少したことにより将来の地方債負担の軽減を図ることができた。

表 1 繰上償還額及び利子影響額（一般会計）

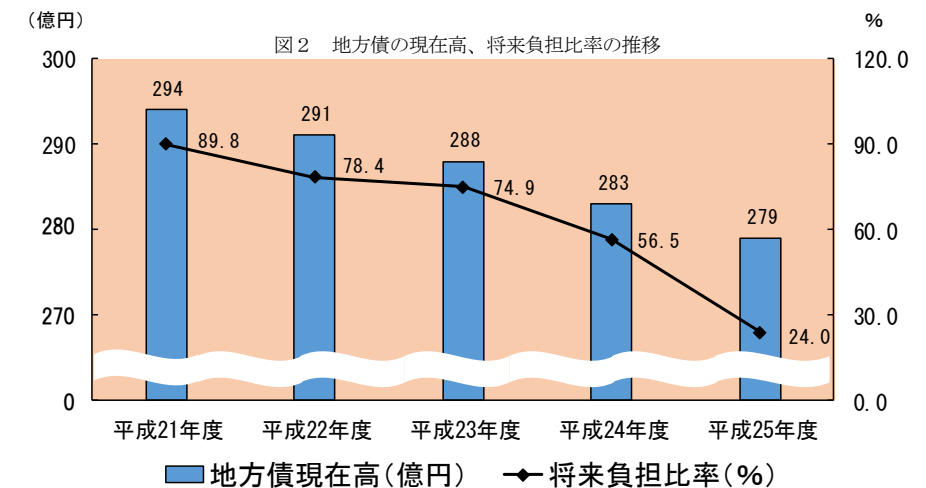
（単位：千円）

年 度	対象債利率	繰上償還額	利子影響額	備 考
H25	1.10%～1.12%	768,470	44,660	任意の繰上償還（銀行引受分）
H24	1.20%～1.40%	1,471,579	125,046	任意の繰上償還（銀行引受分）
H23	1.40%～1.80%	625,588	35,046	任意の繰上償還（銀行引受分）
H22	1.70%～2.20%	378,247	20,132	任意の繰上償還（銀行引受分） 370,120 獅子小・野子小高島分校（簡保資金） 8,127
H21	5.50%～6.70%	255,078	46,638	補償金免除（財政融資、簡保） 255,078
H20	5.00%～7.10%	353,156	68,607	補償金免除（財政融資、簡保、金融公庫） 326,001 たびらんど（年金資金） 27,155
H19	7.10%	17,368	1,044	補償金免除（財政融資） 16,468 津吉小学校（簡保資金） 900
H18		2,734		野子中高島分校（簡保資金）
計		3,872,220	341,173	

※成 19 年度から 21 年度までは財政健全化計画（第 1 次計画）及び公営企業経営健全化計画に基づき、年利 5 % 以下の公的資金（財政融資資金、簡保資金、公営公庫資金）に係る残債について繰上償還を行った。



※注 1 任意の繰上償還額を実施したことにより、償還額が借入額を上回り地方債借入総額の減少につながる。



※図 1、2 の地方債借入額、元金(繰上)償還額及び現在高は、一般会計分のみを計上。

※21 年度における電気事業特別会計の新設により、図 2 の 21 年度以降の現在高には、電気事業分の起債現在高（21 年度 38,245 千円、22 年度 30,912 千円、23 年度 23,424 千円）は含まない。

別記 地域経済活性化事業・雇用対策事業

1 地域経済活性化事業

地域経済の活性化及び雇用の創出が図られるよう、市道改良や公的施設の改修など生活基盤のインフラ整備を行った。

(1) 地域の元気臨時交付金（地域経済活性化・雇用創出臨時交付金）

本事業は国の平成 24 年度補正予算で創設された交付金を活用し、日本経済再生に向けた緊急経済対策の要旨に沿ったインフラ整備事業を実施し、地域活性化等に取り組むことができた。

○地域の元気臨時交付金事業一覧			(単位：千円)
事業名	担当課	事項別明細書	事業費
農道整備事業	建設課	216 頁	10, 100
農業施設整備事業	農林水産課	216 頁	7, 700
林道整備事業	農林水産課	222 頁	5, 800
漁港施設整備事業	建設課	236 頁	23, 400
道路整備事業	建設課	266 頁	120, 217
河川整備事業	建設課	270 頁	9, 600
学校施設整備事業	教育総務課	308 頁 316 頁	48, 900
社会体育施設整備事業	生涯学習課	346 頁	6, 000
ひらど生き活きまちづくり基金	地域協働課	116 頁	135, 000
合計			366, 717

※上記事業費については、全体事業費のうち当該事業の対象経費を計上。

2 雇用対策事業

平成 21 年度から深刻な雇用失業情勢を踏まえ、国の交付金を財源として県に創設された「緊急雇用創出事業臨時特例基金事業」の助成を受け、雇用機会の創出に取り組んだ。

(1) 緊急雇用創出事業臨時特例基金事業

本事業は市が直接実施または民間企業等へ委託して、離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までをつなぐ短期の雇用・就業機会を創出・提供する事業で、6 事業を実施し 36 人の新規雇用を創出した。

○緊急雇用創出事業臨時特例基金事業一覧

(単位：千円)

事業名	担当課	事項別明細書	事業費	労働者数（人）		実施方法
					うち新規雇用者数	
平戸英国商館設置 400 周年推進事業	文化交流課	118 頁	1, 159	1	1	直接
農援隊設置事業	農林水産課	204 頁	13, 415	11	11	委託
林道環境整備事業	農林水産課	222 頁	7, 245	3	2	委託
地域資源ブランド化推進事業	商工物産課	244 頁	6, 192	2	2	委託
ひらどキャラクターまちなか賑わい事業	商工物産課	244 頁	21, 302	23	18	委託
“おもてなし” モデル施設創出事業	観光課	248 頁	5, 124	2	2	委託
合計			54, 437	42	36	

※上記事業費については、全体事業費のうち当該事業の対象経費を計上。